

貧困プロフィール

パキスタン

2012 年度版

独立行政法人 国際協力機構（JICA）

当資料は政府・国際機関の報告書・統計・資料からの抜粋を邦訳し、執務参考資料として取り纏めたものであり、JICA の見解を示すものではありません。転載・引用に際しては、直接、出典元から行い、当資料からの転載・引用は行わないでください。

目次

I. 貧困状況の概観.....	1
II. パキスタンの貧困削減のための政策枠組み.....	3
1. 貧困削減戦略・目標の有無と現状.....	3
2. パキスタンの貧困地域.....	16
III. 所得貧困による分析.....	17
1. 貧困線とデータ.....	17
2. 貧困状況.....	19
IV. 所得貧困以外による分析.....	27
1. 概況とトレンド、地域・国際比較.....	27
2. MDG 達成状況（2005/06 年、2008/09 年と目標値の比較）.....	28
3. 食糧安全保障・脆弱性による分析.....	34
V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析.....	37
1. 社会的に排除されているグループの存在と貧困指標との関連.....	37
2. その他の要因と貧困との関連.....	46
VI. 貧困に影響を与えている国内外の要因.....	56
1. 特に貧困層・社会的弱者に影響を与えている短期的・長期的要因、リスクとショック.....	56
VII. 重点支援分野と貧困の関わり.....	67
1. 経済基盤の改善.....	67
2. 国境地帯などの安定・バランスの取れた発展.....	79
添付 1. 参考文献リスト.....	81
添付 2. 主要な情報源リスト.....	88

図表・地図目次

図表 1 主要指標一覧（2000-2010 年）.....	i
図表 2 パキスタン政府による基本指標（2001/02, 2005/06 年）（単位：％）.....	iii
図表 3 ジニ係数と所得五分位階級別の消費の割合（2001/02-2007/08 年）（単位：％）	iv
図表 4 貧困率・貧困ギャップ率の推移（2001/02-2005/06 年）（単位：％）.....	iv
図表 5 HDI 指標（1980-2010 年）.....	v
図表 6 パキスタンにおける HDI の推移（1980-2011 年）.....	v
図表 7 MDG 指標達成状況（2000/01, 2005/06, 2008/09 年）.....	vi
図表 8 パキスタンにおける 1 人あたり実質国民総所得（2002-2011 年）（単位：米ドル）	1
図表 9 貧困率・貧困ギャップ率の推移（1998/99-2005/06 年）（単位：％）（再掲）2	

図表 10	Vision 2030 における合意 15 項目要約.....	4
図表 11	パキスタンミレニアム開発目標.....	5
図表 12	実施された PRSP-II プロジェクトの出資額の推移 (2008-2011 年)	10
図表 13	セクター及び州ごとの PRSP-II 支出の変化 (2008-2011 年)	11
図表 14	Pro Poor セクターへの歳出の推移	12
図表 15	マイクロクレジットの受益者とローン.....	13
図表 16	社会保障プログラム一覧.....	14
図表 17	EOBI の受給者数と給付額の推移 (2010/11 年-2011/12 年)	15
図表 18	パキスタンにおける貧困線の推移 (1998/99-2005/06 年)	18
図表 19	貧困線を基準とした各層で生活する人口比率 (2001/02-2005/06 年) (単位 : %)	18
図表 20	貧困率・貧困ギャップ率の推移 (1998/99-2005/06 年) (単位 : %) (再掲)	19
図表 21	所得 5 分位階級別消費額の推移 (2007/08, 2010/11 年) (単位 : PKR) ...	20
図表 22	ジニ係数と所得 5 分位階級別の消費の割合 (2001/02-2007/08 年) (単位 : %) (再掲)	21
図表 23	パンジャブ州における貧困率の推移 (2001/02-2008/09 年) (単位 : %)	22
図表 24	パンジャブ州一覧 (アルファベット順)	24
図表 25	ハイバル・パフトゥンハー州における貧困率の推移 (2001/02-2008/09 年) (単位 : %)	24
図表 26	バローチスターン州における貧困率の推移 (2001/02-2008/09 年) (単位 : %)	25
図表 27	シンド州の県名一覧 (アルファベット順)	26
図表 28	パキスタンにおける HDI の動向 (1980-2010 年)	27
図表 29	パキスタンにおける HDI の推移 (1980-2011 年) (再掲)	28
図表 30	パキスタンの州別 HDI (1998, 2005 年)	28
図表 31	世帯における料理の熱源 2008/09 年 (単位 : %)	31
図表 32	MDG 指標達成状況 (2000/01 年-2008/09 年) (再掲)	31
図表 33	地域別食糧非安全保障指数 (2009 年) (単位 : %)	35
図表 34	食糧安全保障に係る指標 (1990-92-2006-08 年)	36
図表 35	地域別 10 歳以上の男女識字率 (2008/09-2010/11 年) (単位 : %)	37
図表 36	農業／非農業セクターでの男女別就業率 (2001 年) (単位 : %)	38
図表 37	地域別就業状況 (2010/11 年年) (単位 : %)	39
図表 38	非農業セクターにおける女性賃金労働者率の推移 (1990-2009 年)	40
図表 39	女性の国会議員数とその割合の推移 (1990-2009 年)	40
図表 40	農村部から都市部への移動者の割合 (2009/10, 2010/11 年)	41

図表 41	移動の理由 (2009/10, 2010/11 年)	41
図表 42	移民及び非移民世帯の貧困率 (単位: %)	42
図表 43	1976 年から 2008 年の海外からの送金額と対 GDP 比の推移	43
図表 44	2004/05 年から 2008/09 年のパキスタンへの送金もとの国と金額 (単位: 百万米ドル)	44
図表 45	送金先別海外からの送金の分配の推移 (1996/97 年-2007/08 年 単位: %)	44
図表 46	地域別 (都市部/農村部) 送金の分配推移 (2001/02 年-2007/08 年 単位: %)	45
図表 47	貧困層の疾病時の状況 (2001 年)	47
図表 48	所得別医療機関の利用状況 (2001 年) (単位: %)	47
図表 49	1,000 人あたりの乳幼児に対する死亡者数の推移 (1990-2009 年) (単位: 人)	48
図表 50	5 歳未満の低体重児の割合の推移 (1990-2009 年) (単位: %)	48
図表 51	地域別乳幼児の予防接種普及率と下痢発生率の推移 (2004/05-2008/09 年) (単位: %)	49
図表 52	所得別主な労働者の職業 (2001 年) (単位: %)	50
図表 53	主要産業別平均賃金 (2009/10, 2010/11 年) (単位: PKR/月)	51
図表 54	所得別土地保有状況 (2001 年) (単位: エーカー)	51
図表 55	所得別土地の売買状況 (2001 年) (単位: %)	52
図表 56	貧困農民に対する地主による融資及び労働搾取状況 (2001 年) (単位: %)	53
図表 57	農村部における世帯のタイプ	54
図表 58	農村部の農地所有の割合 (単位: %)	54
図表 59	貧困率・貧困ギャップ率の推移 (2001/02-2005/06 年) (単位: %) (再掲)	55
図表 60	パキスタンで頻繁に起こる自然災害	56
図表 61	2010 年の洪水と主な世界での自然災害の比較	56
図表 62	2010 年の洪水によるセクター別の被害とその被害額	57
図表 63	洪水による所得減少の要因	59
図表 64	主要農作物の収穫高 (2009/10, 2010/11 年)	60
図表 65	洪水被害への支援内訳	61
図表 66	2010 年・2011 年の洪水を経験した家庭の割合	62
図表 67	2010 年・2011 年の洪水後村を去った世帯の割合 (単位: %)	63
図表 68	2010 年・2011 年の洪水後食料へのアクセスに問題があった世帯の割合 (単位: %)	64

図表 69	2010年・2011年の洪水後に水へのアクセスに問題があった家庭の割合（単位：％）	64
図表 70	土地所有と貧困の関係（2001年）	66
図表 71	電気へのアクセス率（2005年）	67
図表 72	州別電力消費量	68
図表 73	世帯における照明の熱源 2008/09年（単位：％）	69
図表 74	パキスタン農村部における交通アクセス状況（2001/02年）	70
図表 75	所得5分位階級別農村部における道路へのアクセスがない人口割合（2001/02年）（単位：％）	70
図表 76	農村部の道路の整備状況	71
図表 77	農村部における主要な交通手段（2007年・2012年 単位：％）	72
図表 78	農村外の最も近い保健施設までの距離（単位：km）	72
図表 79	農村外の最も近い金融施設までの距離（単位：km）	73
図表 80	主要産業別平均賃金（2009/10, 2010/11年）（単位：PKR／月）（再掲）	73
図表 81	家庭内就業者の教育レベルと貧困の関係（2001年）（単位：％）	75
図表 82	農村部における非農業賃金労働の内訳	76
図表 83	農村部における農業以外の経済活動の割合（単位：％）	77
図表 84	農村部における過去5年間の農業以外の経済活動環境の変化	78
図表 85	農村部でのビジネス展開を行う上での主な課題	78
図表 86	パキスタンにおける戦争とテロによる支出の推移（2004/05-2008/09年）（単位：十億 PKR）	79
図表 87	パキスタンの IDPs の概要	80
地図 1	パキスタン全土地図	ix
地図 2	地域別貧困率（2001年）	x
地図 3	地域別貧困率（2001年）（再掲）	16
地図 4	パンジャブ州地図	23
地図 5	シンド州地図	25
地図 6	パキスタンにおける食糧供給の不安定な地域（2009年）	35
地図 7	パキスタンにおける IDPs の分布状況	46
地図 8	パキスタンにおける洪水被害地域（2010, 2011, 2012年）	58

貧困関連用語解説¹

(1) 貧困指標

用語	解説
絶対的貧困 Absolute Poverty	ある最低必要条件の基準が満たされていない状態を示す。一般的には、人間として生存するために最低限必要とされる食糧と食糧以外のものが購入できるだけの所得または支出水準(=貧困線)に達していない状態を絶対的貧困と定義する。
相対的貧困 Relative Poverty	ある地域社会の大多数よりも貧しい状態を示す。例えば所得が地域内の下位10%に属する人は、衣食住が満たされていても相対的貧困者となる。また中所得国以上では、人間の生存の為に最低限必要な食糧と食糧以外の日常品ではなく、その社会で一般的な生活を送るために必要な収入・支出水準を元に相対的貧困線を設定する国もある。OECD などでは中位可処分所得の50%の水準を高所得国の相対的貧困線と定義している。
貧困線 Poverty Line	所得または支出水準が最低限の必要を満たす水準が貧困線であり、それに達しない層(=貧困者)が全人口に占める割合を貧困率・または指数として示す。これにより表される貧困を経済的貧困、所得貧困とも言う。
国際貧困線 International Poverty Line	MDGsを機に、国際的な絶対的貧困線として「1日1ドル未満」が設定された。国際貧困線以下の人口が世界の絶対的貧困者の数であり、その割合が国際貧困率として算出される。 1993年購買力平価での最貧15か国の貧困線の平均が月32.74米ドル(一日1.08米ドル)であったことから、MDGs指標として一日1ドルの指標が採用された。最貧国の国別貧困線の各国の物価は異なり、同じ1ドルで購入できるものには大差があるため、購買力平価(Purchasing Power Parity: PPP)を用いて、米国での1ドルの購買力に相当するように調整されている。2005年以降の貧困線は物価上昇などを加味し、2008年購買力平価における最貧15か国の貧困線の平均から、一日1.25ドルが国際比較のための絶対貧困線とされている ² 。
国別貧困線 National Poverty Line	国ごとの実情を反映し、各国政府が家計調査のデータなどに基づいて独自に設定したのが国別貧困線である。国内における物価の差異に対応するため、都市、地方、あるいは地域ごとに設定された異なる貧困線を元に、統計的に国家貧困線を算出する場合もある。多くの発展途上国では、下記のベーシックニーズ貧困線が国別貧困線とされている ³ 。下記の食糧貧困線とベーシックニーズ貧困線は、国によりUpper/Lower Poverty Lineや、Poverty Line/Extreme Poverty Lineなど様々な表現があるため、定義によっていずれであるかを判断する必要がある。
食糧貧困線 Food Poverty Line	人間が生存していく上で、最低限必要なエネルギーを摂取できる支出レベルを算出したもの。摂取エネルギーは、FAOが提唱する成人の一日に必要なカロリー(2100カロリー)を基準に、国ごとに設定される場合が多い。そのカロリーを摂取するための基本的な食糧の種類や構成は国ごとに設定され、都市・地方、あるいは地域の差異も配慮される場合がある。
ベーシックニーズ貧困線	ベーシックニーズ費用手法(The Cost of Basic Needs Method: CBN)を用い、食

¹ 主に国際協力総合研修所 2008年3月『指標から国を見る～マクロ経済指標、貧困指標、ガバナンス指標の見方～』

(http://jica-ri.jica.go.jp/IFIC_and_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jica/field/pdf/200803_aid02.pdf)、世界銀行(2009) Measuring Poverty and Inequality (<http://go.worldbank.org/4WJH9JQ350>) を元に作成。

² World Bank (2008) Dollar a Day Revisited (<http://go.worldbank.org/SMQ2FCW4J0>)

³ World Bank (2012) Poverty Measurement Methodology by Country (<http://go.worldbank.org/OP02MEZ880>)

用語	解説
CBN/Basic Needs Poverty Line	糧食貧困線に非食糧、すなわち衣類、住居、医療などのための最低限の支出金額を足して算出される。
非食糧貧困線 Non Food Poverty Line	非食糧ニーズの種類や構成は国ごとに設定され、都市・地方、あるいは地域の差異も配慮される場合も多い。また、所得貧困 (Income Poverty) という表現がされることが多いが、途上国での貧困率の算出に使用されるのはほとんどの場合支出に関するデータである。
貧困ギャップ率・指数 Poverty Gap Ratio・Index、P ₁	貧困率が貧困の発生頻度を表すのに対し、貧困ギャップ率は貧困の平均的「深さ (depth)」を表すために用いられる。通常、国別貧困率を元に算出される。貧困ギャップ率は、国民の収入または支出が貧困線に対して何パーセント下回っているか(乖離しているか)を、貧困線以上の人々の乖離率をゼロとして計算した数値である ⁴ 。貧困ギャップ率に貧困線と人口を乗じた数字が、貧困削減のための最低限の必要な費用であるとされ、政策上の目安となる。
二乗貧困ギャップ率・指数 Squared Poverty Gap Ratio・Index / Poverty Severity Ratio・Index、P ₂	貧困の極端な「深刻さ (severity)」を表すために用いられる。通常国別貧困率を元に算出される。二乗貧困ギャップ率は、貧困線からの乖離率を二乗したもので、乖離率が高ければ(貧困の深刻度が高い)、より大きく数値に反映される。

(2) 不平等指数

用語	解説
ジニ係数・指数 Gini Coefficient, Gini Index	国や地域の所得(または消費)の平等・不平等度を示す指標。完全に平等な社会では0になり、完全に不平等な社会では1となる。なお、世界銀行の統計などではパーセンテージ表示のジニ指数 (Gini Index) を用いており、完全に不平等な社会を100で表す。通常30から50の範囲になることが多く、40を超えると社会が不安定になると一般的に言われている。
所得階層別の所得シェア Percentage Share of Income or Consumption	ジニ係数を算出する基礎となるもの。人口を所得水準で階層分類し(五分位または十分位)、国全体の所得のうちそれぞれの階層が占める割合を%で表示。一般的に、五分位の最下層20%が全体の6-10%の消費を行い、最上位20%が全体の35-50%の消費を行っている場合が多い。

(3) 開発指数

用語	解説
人間開発指数 Human Development Index: HDI ⁵	人間開発の3つの基本的側面(①寿命、②知識、③生活水準)を総合して、各国の達成度を測定、比較するための指数。経済指標のみでは表せない国の開発の度合いを表す尺度として、UNDPが1990年に刊行した『人間開発報告 (Human Development Report)』の中で用い各国のランキングを行ったことに始まる。算出方法は、①平均寿命指数、②教育指数(成人識字率と初等・中等・高等教育総就学率)、③GDP指数(1人当たり実質GDP (PPP))について、それぞれの最大値を1、最小値を0として算出し、3つの平均値をとる。 2010年よりHDIの派生指標として不平等調整済みHDI (IHDI) が導入されている。また、それまで発表されていたジェンダー開発指数 (GDI) とジェンダーエンパワメ

⁴ World Bank (2009). Handbook on poverty and inequality (<http://issuu.com/world.bank.publications/docs/9780821376133>.)

⁵ HDIの詳細についてはUNDP HDI公式ウェブサイト (<http://hdr.undp.org/en/data/about/>)。一部の情報はUNDP東京事務所から日本語でも入手可能。 <http://www.undp.or.jp/hdr/global/>

用語	解説
	ント指数 (GEM) に代わってジェンダー不平等指数 (GII) が、人間貧困指数 (HPI) に代わって多次元貧困指数 (MPI) が導入された。

(4) 他

用語	解説
ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals:MDGs) ⁶	2000年9月、ニューヨークの国連本部で開催された国連ミレニアム・サミットに参加した147の国家元首を含む189の国連加盟国代表は、21世紀の国際社会の目標として「国連ミレニアム宣言」を採択した。この宣言と1990年代に開催された主要な国際会議やサミットでの開発目標をまとめたものがMDGsである。MDGsは国際社会の課題に対して、2015年までの達成を目指す期限付きの8つの目標、21のターゲット、60の指標を掲げている。貧困に関する様々な経済的・非経済的指標が取り上げられているが、その第1目標が、「一日1.0ドルの未満(2005年以降は1.25ドル)の絶対的貧困線以下の人口を半減する」という目標である。
脆弱度分析と地図化 (Vulnerability Analysis and Mapping: VAM) ⁷	食糧安全保障の観点から、「人々が最低限の厚生水準を維持できないほど、食糧へのアクセスや食糧消費が急速に低下する可能性」を「脆弱性」と定義し、地域別の脆弱度を地図化したものがVAMである。WFPが緊急食糧援助を行う際、援助を最も必要とする人々や地域を選定し、効果的な支援を行うために開発した。VAMは、包括的食糧安全保障・脆弱度分析(CFSVA)、食糧安全保障モニタリング・システム、GISデータを用いた空間分析と地図化の3つの活動からなる。CFSVAでは、社会政治環境、地理・気象条件、マクロ経済、教育・保健水準、農業、環境などの観点から食糧安全保障と脆弱性に影響を与える要素を包括的に分析する。既存のデータに加え、家計調査や市場価格調査などを組み合わせ、「どのような社会グループ(生計活動や食糧入手手段)が影響を受けやすいか」などの分析も行う。

⁶ MDGについては国連MDG公式ウェブサイト。<http://unstats.un.org/unsd/mdg/default.aspx> 一部の情報については国連広報センター(東京)からも入手可能。<http://unic.or.jp/mdg/index.html>

⁷ VAMに関してはWFP VAMウェブサイト <http://www.wfp.org/food-security>

略語表

略語	正式名称	日本語
ADB	Asia Development Bank	アジア開発銀行
CPRSDP	Centre for Poverty Reduction and Social Development Policy	貧困削減・社会開発政策センター
CRPRID	Centre for Research on Poverty Reduction and Income Distribution	貧困削減・所得分配研究センター
FAO	Food and Agriculture Organization	国連食糧農業機関
FATA	Federally Administrated Tribal Areas	連邦直轄部族地域
GDP	Gross Domestic Product	国内総生産
GNI	Gross National Income	国民総所得
HDI	Human Development Index	人間開発指標
IDPs	Internal Displaced Persons	国内避難民
IMF	International Monetary Fund	国際通貨基金
JBIC	Japan Bank for International Cooperation	国際協力銀行
MDG	Millenium Development Goals	ミレニアム開発目標
MTDF	Medium Term Development Framework	中期開発フレームワーク
NWFP	North-West Frontier Province	北西辺境州
OCHA	Office for Coordination of Humaniterian Affairs	国連人道調整局
PIHS	Pakistan Integrated Household Survey	パキスタン総合世帯調査
PRSP	Poverty Reduction Strategy Paper	貧困削減戦略
Rs.	Pakistani rupee	パキスタンルピー (PKR)
UN	United Nations	国際連合 (国連)
UNDP	United Nations Development Programme	国連開発計画
VAM	Valunerability Analaysis and Mapping	脆弱性分析・地図
WB	World Bank	世界銀行 (世銀)

図表 1 主要指標一覧 (2000-2010年) ⁸

2012年11月版

🇵🇰 主要指標一覧 【パキスタン】

	指標項目	2000年	2008年	2009年	2010年	2010年の 地域平均値
社会 指標 等	地表面積(1000km ²)	796	796	796	796	n.a.
	人口(百万人)	144.5	167.4	170.5	173.6	1,632.9
	人口増加率(%)	2.3	1.8	1.8	1.8	1.4
	出生時平均余命(歳)	63	65	65	65	65
	妊産婦死亡率(/10万人)	380	n.a.	n.a.	260	220
	乳児死亡率(/1000人)	75.9	63.6	61.9	60.4	49.7
	一人当たりカロリー摂取量(kcal/1日) ^{*1}	2,374	2,415	2,423	n.a.	n.a.
	初等教育総就学率(男)(%)	83.9	97.8	100.6	104.2	107.4
	初等教育総就学率(女)(%)	56.4	79.6	82.7	85.3	105.0
	中等教育総就学率(男)(%)	n.a.	38.2	37.7	38.9	60.6
	中等教育総就学率(女)(%)	n.a.	28.6	29.3	29.4	55.3
	高等教育総就学率(%)	n.a.	5.4	n.a.	n.a.	15.3
	成人識字率(15歳以上の人口の内:%)	n.a.	55.5	n.a.	n.a.	61.6
	絶対的貧困水準(1日1.25\$以下の人口比:%)	n.a.	21.0	n.a.	n.a.	n.a.
失業率(%)	7.2	5.0	n.a.	n.a.	n.a.	
経済 指標	GDP(百万USドル)	73,952	163,892	161,819	176,870	2,047,966
	一人当たりGNI(USドル)	470	940	990	1,050	1,167
	実質GDP成長率(%)	4.3	1.6	3.6	4.1	8.7
	産業構造(対GDP比:%)					
	農業	25.9	20.3	21.6	21.2	18.3
	工業	23.3	26.8	24.7	25.4	27.0
	サービス業	50.7	52.9	53.7	53.4	54.8
	産業別成長率(%)					
	農業	6.1	1.0	4.0	0.6	5.9
	工業	1.3	1.4	-0.1	8.3	7.2
	サービス業	4.2	6.0	1.7	2.9	8.5
	総資本形成率(対GDP比:%)	17.2	22.1	18.2	15.4	31.8
	貯蓄率(対GDP比:%)	16.0	11.0	10.7	10.2	27.3
	消費者物価上昇率(インフレ:%)	4.4	20.3	13.6	13.9	7.6
	財政収支(対GDP比:%)	-4.1	-7.4	-4.8	-5.0	-3.9
	中央政府債務残高(対GDP比:%)	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.
	貿易収支(対GDP比:%)	-1.2	-11.0	-7.5	-5.2	-5.1
	経常収支(対GDP比:%)	-0.1	-9.6	-2.5	-0.8	n.a.
	外国直接投資純流入額(百万ドル)	308	5,438	2,338	2,018	27,919
	対外債務残高(対GNI比:%)	44.8	29.3	32.8	31.3	19.2
DSR(対外債務返済比率:%)	27.9	11.3	15.2	15.2	6.4	
総外貨準備高(輸入支払い可能月数)	1.7	2.0	4.1	4.7	7.4	
総外貨準備高(百万ドル)	2,087	9,024	13,606	17,256	345,560	
名目対ドル為替レート ^{*2} (Rupees per US Dollar: Period Average)	53.65	70.41	81.71	85.19	n.a.	
政治 指標	政治体制: 共和制 憲法: 1973年4月10日公布 元首: 大統領。アシフ・アリ・サルタリ(Asif Ali ZARDARI)。間接選挙制。任期5年。2008年9月9日就任 議会: 二院制。上院(100議席、次回選挙から104議席、任期6年)と下院(国民議会、342議席、任期5年) 内閣: 首相は下院で投票により選出。首相 ラージャ・ハルヴェース・アシュラフ(Raja Pervez Ashraf)					

出典 World Development Indicators Online (September 2012) World Bank

*1 FAO Food Balance Sheets (June 2012) FAOSTAT Homepage

*2 International Financial Statistics Online (October 2012) IMF

*3 世界年鑑 2012 共同通信社、各国・地域情勢 2012年7月 外務省Homepage

注 ●地域平均値は南アジアの数値(地域分類は別添参照)

●「人口」、「GDP」、「外国直接投資純流入額」及び「総外貨準備高」の「2010年の地域平均値」においては、地域の総数を示す

●妊産婦死亡率の数値はWHO・ユニセフ・国連人口基金(UNFPA)の評価を反映した推定値

●総就学率は、学齢人口に占める就学者総数(年齢を問わない)の割合であるため、数値が100を超えることがある

⁸ JICA 研究所にて年3回改定。<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html> (2012/10/04 アクセス)

中央政府歳入・歳出【パキスタン】

	2009年	2010年	2011年	2011年		対ドルレート
	(百万ルピー)	(百万ルピー)	(百万ルピー)	(百万US\$)*	対GDP比**	
歳入	1,803,228	2,179,712	2,270,993	26,302	12.6%	86.34
租税収入	1,180,462	1,483,046	1,679,363	19,450	9.3%	
社会保障	0	0	0	0	0.0%	
贈与受取	19,625	127,768	35,104	407	0.2%	
その他	603,141	568,898	556,526	6,445	3.1%	
歳出	2,137,424	2,601,777	3,219,215	37,284	17.9%	GDP(現地通貨)
人件費	75,412	92,116	123,122	1,426	0.7%	18,032,871
財貨・サービス	465,153	584,863	634,983	7,354	3.5%	
固定資本減耗	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	n.a.	
利払い	751,593	814,603	855,464	9,908	4.7%	
補助金	220,352	228,992	395,801	4,584	2.2%	
贈与支払	166,949	341,084	299,976	3,474	1.7%	
扶助費	72,094	92,170	102,884	1,192	0.6%	
その他	385,871	447,949	806,985	9,346	4.5%	
非金融資産の純増	271,380	319,687	220,685	2,556	1.2%	
財政収支	-605,576	-741,752	-1,168,907	-13,538	-6.5%	

総支出内訳(目的別分類)【パキスタン】

	2009年	2010年	2011年		2011年	
	(百万ルピー)	(百万ルピー)	(百万ルピー)	内訳	(百万US\$)*	対GDP比**
総支出	2,408,803	2,921,464	3,439,900	100.0%	39,840	19.1%
一般サービス	1,757,749	2,234,510	2,736,740	79.6%	31,696	15.2%
国防	311,303	378,135	444,640	12.9%	5,150	2.5%
公安	29,461	39,562	60,084	1.7%	696	0.3%
経済関連	229,131	172,980	107,505	3.1%	1,245	0.6%
農林水産業	105,936	89,380	35,561	-	412	0.2%
エネルギー	668	736	11,414	-	132	0.1%
鉱工業・建設業	6,148	5,159	3,185	-	37	0.0%
運輸	12,506	23,031	14,203	-	164	0.1%
通信	8,924	10,102	1,835	-	21	0.0%
環境保全	210	415	448	0.0%	5	0.0%
住宅・生活関連施設	5,449	4,665	3,566	0.1%	41	0.0%
保健・医療	18,761	25,467	23,607	0.7%	273	0.1%
レクリエーション・文化	4,955	4,865	4,421	0.1%	51	0.0%
教育	45,383	55,656	55,182	1.6%	639	0.3%
社会保障・福祉	6,401	5,209	3,707	0.1%	43	0.0%

注: 総支出内訳における総支出には非金融資産の純増を含む

会計年度は7月~6月

*: 対ドル換算レートはMarket Rate, Period Average 出典はInternational Financial Statistics (Online) June 2012 IMF

** : GDPの出典はThe World Economic Outlook October 2012 IMF Homepage

出典: Government Finance Statistics (Online) September 2012 IMF

対パキスタンJICA事業実績

(単位: 億円)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	累計
円借款(承諾額)	479.43	233.00	197.00	49.93	7,985.20
(実行額)	49.71	26.10	127.59	131.00	
無償資金協力	4.22	9.36	28.53	33.58	
技術協力	11.79	19.00	24.34	19.28	464.49
(うち機材供与)	0.35	1.19	0.68	1.09	39.82

対パキスタンJICA技術協力人数実績

(単位: 人)

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	累計
研修員受入	167	193	172	175	5,417
専門家派遣	39	112	156	82	1,478
調査団派遣	68	94	268	272	3,897
協力隊派遣	3	0	0	0	167
その他ボランティア	11	0	0	0	54

注: 年の区切りは日本の会計年度(4月~3月)。無償は当年度供与限度額(JICA実施要綱案件)

出典: JICA事業実績

対パキスタンODA実績

《我が国》

(支出総額、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等	無償資金協力	技術協力	合計
2006年	110.42	95.47	19.12	255.02
2007年	-15.60	49.59	19.25	53.24
2008年	-6.30	26.88	13.66	34.24
2009年	-0.34	116.15	15.62	131.43
2010年	2.70	180.33	24.85	207.89
累計	3,727.35	1,739.28	422.47	5,889.12

《DAC諸国・国際機関》

(支出総額、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	うち日本	合計
2007年	米国 433.57	英国 197.84	ドイツ 62.43	日本 53.24	フランス 52.44	53.24	979.91
2008年	米国 350.63	英国 260.32	ドイツ 89.03	カナダ 41.56	日本 34.24	34.24	918.46
2009年	米国 613.04	英国 217.51	日本 131.43	ドイツ 107.45	ノルウェー 46.57	131.43	1,330.64

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2007年	IDA 870.04	ADB 290.31	EU Ins. 67.86	GAVI 31.85	Arab Agencies 22.70	-50.26	1,232.50
2008年	ADB 440.03	GAVI 87.63	EU 62.67	IDA 37.98	UNICEF 20.96	-111.70	537.57
2009年	IDA 988.79	ADB 229.52	EU Ins. 97.63	GAVI 41.48	UNICEF 19.83	-146.65	1,230.60

注:年の区切りは1月~12月の暦年。DAC累計ベース
 出典:ODA国別データブック 2011 外務省

(出所) JICA 研究所 (2012) 国別主要指標パキスタン

<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html>

図表 2 パキスタン政府による基本指標 (2001/02, 2005/06 年) (単位: %)

Table 3.1: Decline in the poverty headcount FY 2001/02 – FY 2005/06

Region	FY 2001/02	FY 2005/06	Percent decline
Overall	34.5	22.3	35.4
Urban	22.7	13.1	42.3
Rural	39.3	27.0	31.3

Source: Finance Division, Economic Adviser's Wing, Economic Survey, FY 2007/08, Government of Pakistan.

(出所) Ministry of Finance, Government of Pakistan (2007) Poverty Reduction Strategy Paper (PRSP) – II ,
 p. 43 <http://www.finance.gov.pk/poverty/PRSP-II.pdf> (2012/10/16 アクセス)

図表 3 ジニ係数と所得五分位階級別の消費の割合（2001/02-2007/08年）（単位：％）

Table 13.4: Gini-Coefficient and Consumption Shares by Quintiles

	PIHS 2001-02			HIES 2004-05			PSLM 2005-06			PSLM 2007-08		
	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan
Gini Coefficient	0.32	0.23	0.27	0.33	0.25	0.29	0.34	0.24	0.30	0.32	0.25	0.29
Consumption share by Quintile (%)												
Quintile 1	5.3	12.8	10.1	4.8	12.6	9.5	4.5	13.5	9.6	5.0	13.1	9.9
Quintile 2	8.1	16.9	13.7	7.6	17.1	13.2	8.2	16.8	13.1	9.1	16.1	13.3
Quintile 3	12.1	1	16.8	11.6	19.7	16.4	11.1	20.1	16.2	11.7	19.6	16.4
Quintile 4	19.4	22.4	21.3	18.3	23	21.4	17.8	23	20.8	19.6	22.1	21.1
Quintile 5	55.1	28.4	38	57.7	27.6	39.4	58.4	26.6	40.3	54.6	29.1	39.3
Ratio of Highest to Lowest Quintiles	10.4	2.22	3.76	12.0	2.19	4.15	13.0	1.97	4.2	10.9	2.2	4.0

Source: Calculations based on the data of PIHS 2001-02; HIES 2004-05; PSLM 2005-06, 2007-08

(出所) Ministry of Finance, Government of Pakistan (2011) Pakistan Economic Survey 2010-11, 13
Poverty, p. 168 http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_11/13-Poverty.pdf (2012/10/30 アクセス)

図表 4 貧困率・貧困ギャップ率の推移（2001/02-2005/06年）（単位：％）

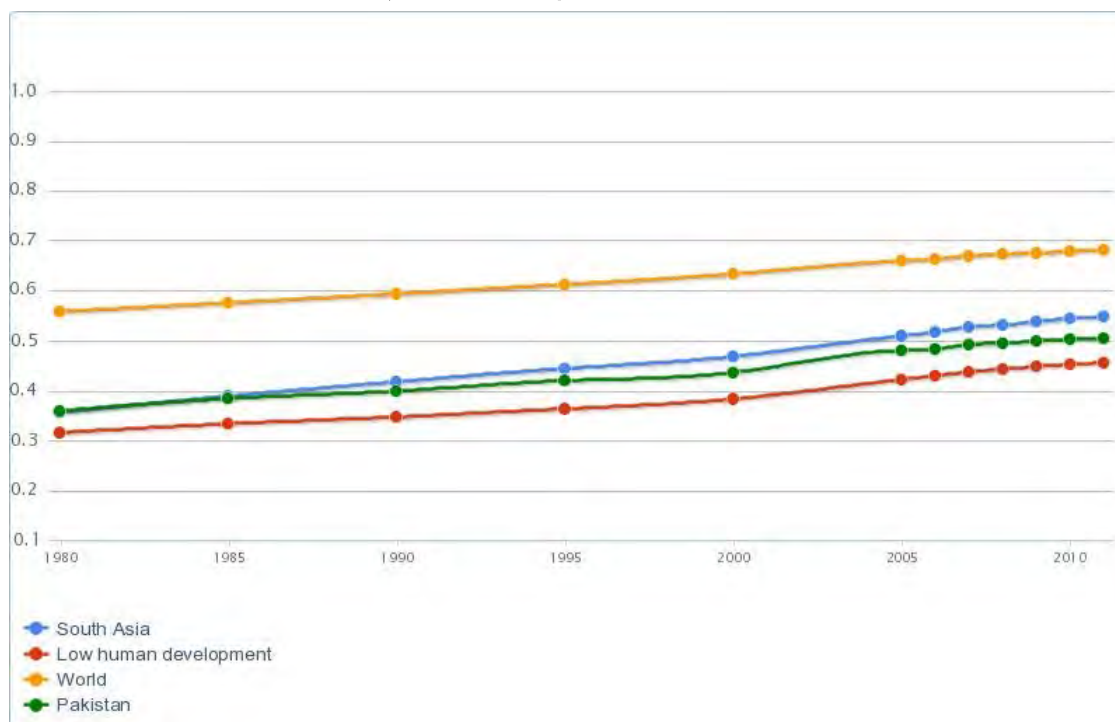
Table 2.4: Trends in Poverty Indicators

Quintile	Headcount			Poverty Gap			Severity of poverty		
	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan
1998-99	20.9	34.7	30.6	4.3	7.6	6.4	1.3	2.4	2.0
2001-02	22.7	39.3	34.5	4.6	8.0	7.0	1.4	2.4	2.1
2004-05	14.9	28.1	23.9	2.9	5.6	4.8	0.8	1.8	1.5
2005-06	13.0	27.0	22.3	2.1	5.0	4.0	0.5	1.4	1.1

Source: PSLM (various issues)

(出所) CRPRID (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 20
<http://www.undp.org.pk/images/publications/mdgr2010.pdf> (2012/10/10 アクセス)

図表 5 HDI 指標 (1980-2010 年)



(出所) UNDP Website <http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/PAK.html> (2012/10/15 アクセス)

図表 6 パキスタンにおける HDI の推移 (1980-2011 年)

Table A: Pakistan's HDI trends based on consistent time series data, new component indicators and new methodology

	Life expectancy at birth	Expected years of schooling	Means years of schooling	GNI per capita (2005 PPP\$)	HDI value
1980	57.9	5.7	1.8	1,288	0.359
1985	59.4	5.7	2.1	1,581	0.384
1990	60.7	5.7	2.3	1,758	0.399
1995	62.0	5.7	2.8	1,888	0.420
2000	63.1	5.7	3.3	1,920	0.436
2005	64.1	6.4	4.5	2,230	0.480
2010	65.2	6.9	4.9	2,523	0.503
2011	65.4	6.9	4.9	2,550	0.504

(出所) UNDP (2011) Human Development Report 2011, Explanatory note on 2011 HDR composite indices, Pakistan, p. 2 <http://hdrstats.undp.org/images/explanations/PAK.pdf> (2012/10/16 アクセス)

図表 7 MDG 指標達成状況 (2000/01, 2005/06, 2008/09 年)

目標とターゲット	指標	実績			MTDF 目標値	MDG 目標値
ゴール 1: 極度の貧困と飢餓の撲滅		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット 1 2015 年までに 1 日 1 ドル未満で生活する人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる。	カロリー消費量及び非食糧消費量で算定した貧困線以下の人口の占める比率。1998-99 年価格で月額 673.54PKR が公的貧困線の水準。これは大人が一日に 2,350 カロリーを消費できるだけの金額。	34.5%	22.3%	n/a	21%	13%
ターゲット 2 2015年までに飢餓に苦しむ人口の割合を1990年の水準の半数に減少させる。	平均体重を下回る 5 歳未満の子どもの割合	41.5%	38%	28%	28%	<20%
	カロリー消費が必要最低限のレベル (2,350cal/日) 未満の人口の割合	30%	n/a	15%	15%	13%
ゴール 2: 初等教育の完全普及の達成		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット 3 2015 年までに、全ての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする。	初等教育における純就学率	42%	53%	57%	77%	100%
	第 1 学年に就学した生徒が第 5 学年まで到達する割合	57.3% (女:64.3%)	72.1% (女:72.8%)	54.6% (女: 54.6%)	80%	100%
	15~24 歳の識字率	45% (女:35%)	54% (女:42%)	57% (女: 45%)	77% (女:66%)	88% (女:87%)
ゴール 3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット 4 可能な限り 2005 年までに、初等・中等教育における男女格差を解消し、2015 年までに全ての教育レベル	初等・中等・高等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率	初:0.82 中:0.75	初:0.85 中:0.84	初: 0.84 中: 0.8	初:0.94 中:0.90	初:1.00 中:0.94
	15~24 歳の男性識字率に対する女性識字率	0.64	0.74	0.78	0.80	1.00
	非農業部門における女性賃金労働者の割合	9.7%	10.9%	10.6%	12%	14%
	国会における女性議員の割合	n/a	下:21% 上:17%	下: 22.2% 上: 17%	-	-

目標とターゲット	指標	実績			MTDF 目標値	MDG 目標値
における男女格差を解消する。						
ゴール 4：乳幼児死亡率の削減		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット 5 2015 年までに 5 歳児未満の死亡率を 1990 年の水準の 3 分の 1 に削減する。	5 歳児未満の死亡率（千人あたり）	n/a	n/a	n/a	77	52
	1 歳児未満の乳児死亡率（千人あたり）	77	76	n/a	65	40
	予防接種拡大計画（EPI）の予防接種を完全に受けた 1 歳児の割合	53%	71%	78%	90%	>90%
	はしかの予防接種を受けた 1 歳児の割合	57%	76%	79%	90%	>90%
	過去 30 日以内に下痢をした 5 歳児未満の割合	12%	12%	10%	16%	<10%
ゴール 5：妊産婦の健康の改善		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット 6 2015 年までに妊産婦の死亡率を 1990 年の水準の 4 分の 1 に削減する。	妊産婦死亡率（出産件数 10 万件あたり）	350	380	n/a	300	140
	医師・助産師の立ち会いによる出産の割合	40%	35%	41%	60%	>90%
	家族計画のために何らかの避妊具を使用する男女の割合	28%	n/a	78%	51%	55%
	出産適齢期の女性の平均出産人数	n/a	n/a	3.75%	2.7%	2.1%
	過去 3 年間、妊娠中に何らかの母子保健サービスを受けた 15 歳から 49 歳までの女性の割合	35%	52%	58%	70%	100%
ゴール 6：HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット 7 HIV／エイズの蔓延を 2015 年までに食い止め、その後減少させる。	15～24 歳の妊婦の HIV 感染率	n/a	n/a	<0.1	-	50%の削減
	危険性の高い集団（例：売春婦）の HIV 感染率	n/a	IDU=10.8% FSW=<0.05% MSW=0.4% HSW=2.1%	IDU=20.8% FSW=- MSW=0.9% HSW=6.4%	-	50%の削減
ターゲット 8 マラリア及びその他の主要な疾病の発生を 2015 年までに食い止め、その後	マラリアに感染しやすい地域において、有効なマラリア予防及び治療処置を受けている人口の割合	20%	25%	30%	50%	75%
	結核の有病率及び結核による死亡率（10 万人あたり）	181	181	181	130	45
	DOTS（短期科学療	79%	85%	85%	80%	85%

目標とターゲット	指標	実績			MTDF 目標値	MDG 目標値
発生率を減少させる。	法を用いた直接監視下治療)の下で発見され、治療された結核患者の割合					
ゴール7：環境の持続可能性確保		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット9 持続可能な開発の原則を国家政策及びプログラムに反映させ、環境資源の損失を減少させる。	森林面積の割合	4.8%	5.02%	5.02%	5.2%	6.0%
	地表面積に対する、生物多様性の維持のための保護区域の面積の割合	11.25%	11.3%	11.5%	11.6%	12.0%
	石油及び同等燃料 1トンあたりの付加価値額 (1980/81 年固定価格 PKR)	27,047	27,300	26,543	27,600	28,000
	圧縮天然ガス (CNG) を利用する車両数	280	1,250	2,200	800	920
	高速ディーゼルエンジン車両に用いられる燃料内の硫黄の割合 (重量費)	1.0%	1.0%	1.0%	0.5%	0.5-0.25%
ターゲット10 2015年までに、安全な飲料水及び衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する。	浄化された水源を継続して利用できる人口の割合 (都市部及び農村部)	64%	66%	65%	76%	93%
	適切な衛生施設を利用できる人口の割合	45%	60%	63%	70%	90%
ターゲット11 2020 年までに、少なくとも 1 億人のスラム居住者の生活を大幅に改善する。	土地及び住居への安定したアクセスを有する世帯の割合	n/a	n/a	n/a	75%	95%

(注 1) 指標のうち網掛け部はパキスタンミレニアム目標に取り入れられた独自指標。

(注 2) ゴール8の「開発のためのグローバルなパートナーシップの推進」と付随するターゲットについては触れられていないため、本表ではターゲット 11 までの指標と実績のみを提示している。

(出所) CRPRID (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 20 及び JBIC (2007) 「貧困プロファイル—パキスタン・イスラム共和国」、p.10 を基に、MURC 作成。

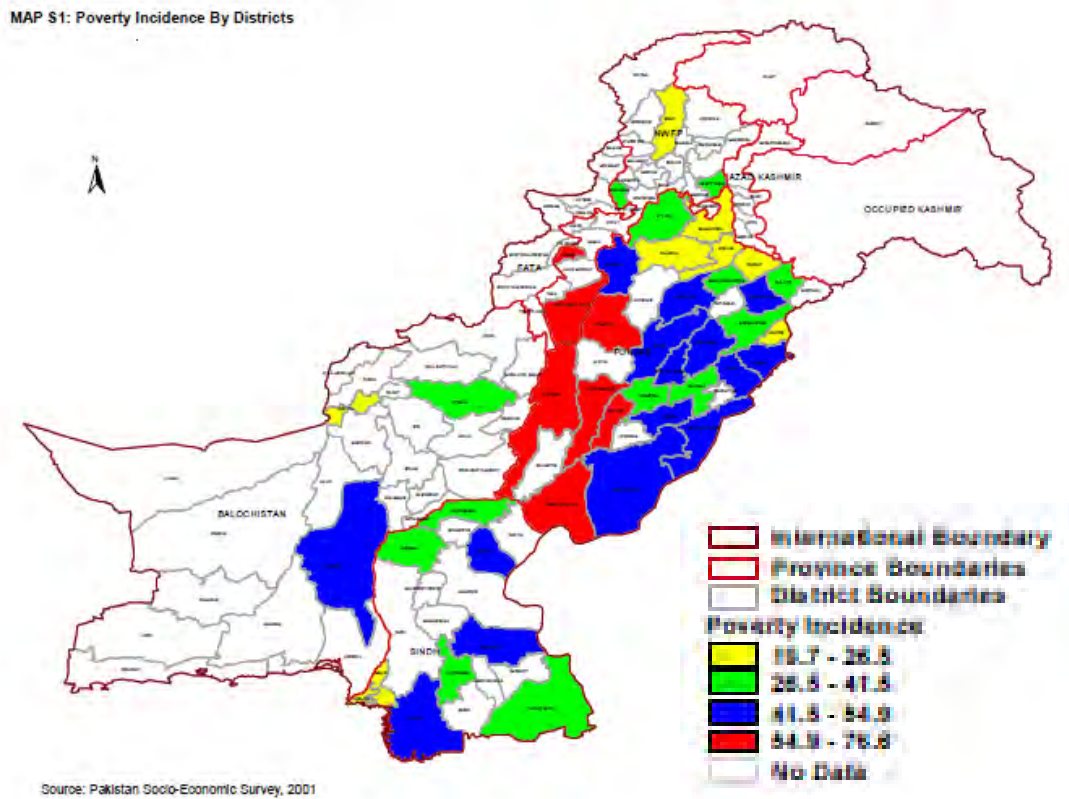
地図 1 パキスタン全土地図



(出所) The University of Texas at Austin (2002) Country maps, Pakistan

http://www.lib.utexas.edu/maps/middle_east_and_asia/pakistan_pol_2002.pdf (2012/10/18 アクセス)

地図 2 地域別貧困率 (2001 年)



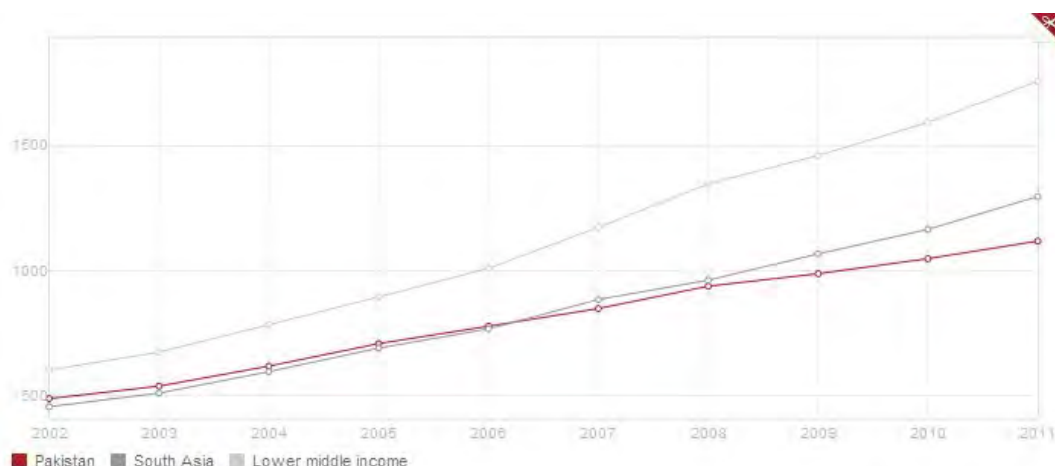
(注) 貧困率：黄色：18.7 以上-26.5%未満、緑：26.5 以上-41.5%未満、青：41.5 以上-54.9%未満、赤：54.9 以上-76.6%未満、白：データなし

(出所) ADB (2005) GIS of poverty mapping analysis for Pakistan, Poverty Incidence by Districts
http://milute.mcgill.ca/Research/Senior/GIS_PIDE.pdf (2012/10/16 アクセス)

I. 貧困状況の概観

パキスタン・イスラム共和国（以下パキスタン）の経済は、政治面での混乱等を背景に、1990年代半ばから低迷を続け、1998年の核実験により日本を含む諸外国による経済制裁により、更に苦境に陥った。しかし、2000年代は製造業や通信業、金融業での急速な成長により⁹、GDP成長率7.7%に達している（2005年）¹⁰。その結果、図表8に示した通り、一人当たりGNIは着実に増加し、2008年に940ドル、2011年には1,120ドルに達している。

図表8 パキスタンにおける1人当たり実質国民総所得(2002-2011年)(単位:米ドル)



(出所) WB Website (a)

しかし2005年の燃料の高騰や、地震、2007年以降は国際的な食糧・燃料の高騰、2010年-2012年の度重なる洪水の被害といった国内外の要因によって、貧困問題ははまだ解決されておらず、多くの人々が貧困状態にある。また、後述の通り、社会的、経済的排他が未だ根強いこともその原因といわれている¹¹。図表9は、2001/02年から2005/06年までのパキスタンの貧困率・貧困ギャップ率の推移を表している。貧困線以下で暮らす人口の割合(貧困率)は、1998/99年から2005/06年の間に、2001/02年で一度増加するものの、30.6%から22.3%と減少している。しかし、農村部では依然、人口の27%が貧困線以下で暮らしており、この割合は1990年代後半の都市部より多く、都市部と農村部の経済格差が大きな問題となっている。

⁹ ADB (2006) Pakistan Poverty Assessment Update, Background Paper 1: Poverty, Economic Growth, and Inequality: A Review of Pakistan's Poverty Literature <http://www2.adb.org/Documents/Reports/Consultant/37717-PAK/37717-PAK-TACR-BG1.pdf> (2012/10/16 アクセス)

¹⁰ World Bank ウェブサイト

¹¹ Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, 1 Growth and Stabilization, pp. 165-166 http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_12/01-GrowthAndStabilization.pdf (2012/10/30 アクセス)

図表 9 貧困率・貧困ギャップ率の推移（1998/99-2005/06年）（単位：％）（再掲）

Table 2.4: Trends in Poverty Indicators

Quintile	Headcount			Poverty Gap			Severity of poverty		
	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan
1998-99	20.9	34.7	30.6	4.3	7.6	6.4	1.3	2.4	2.0
2001-02	22.7	39.3	34.5	4.6	8.0	7.0	1.4	2.4	2.1
2004-05	14.9	28.1	23.9	2.9	5.6	4.8	0.8	1.8	1.5
2005-06	13.0	27.0	22.3	2.1	5.0	4.0	0.5	1.4	1.1

Source: PSLM (various issues)

（出所） CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 20

II. パキスタンの貧困削減のための政策枠組み

1. 貧困削減戦略・目標の有無と現状

(1) 国家開発計画・戦略 有無・概要と貧困削減の位置づけ

パキスタン政府の策定した国家開発計画・戦略は、以下 4 つの文書によって示されている。

- ・ Vision 2030（最長期、2005-2030 年）
- ・ パキスタンミレニアム開発目標（Pakistan Millennium Development Goals : MDG）（長期、2000-2015 年）
- ・ 中期開発フレームワーク（Medium Term Development Framework : MTF）（中期、2005-2010 年）
- ・ 貧困削減戦略文書（Poverty Reduction Strategy Paper: PRSP）（中期計画実現のための戦略、2001, 03, 07 年）
- ・ 経済成長フレームワーク（Framework for Economic Growth）（21 世紀の経済成長政策、2011 年）

最も長期的な視野で、パキスタンの将来像を描いているのは Vision 2030 であり、2005 年から 2030 年の 25 年間に、目標とすべき国のあり方や方針が示されている¹²。ミレニアム開発目標もこれと同様、2000 年から 2015 年までの 15 年という長期の展望を示している¹³。これら 2 つの計画戦略を達成するための中期計画が、2005 年に策定された MTF である¹⁴。また、この中期計画を実現するための戦略として、PRSP が策定されている。PRSP は、MTF より先に策定されているが、2007 年に発表された PRSP – II は、特に MTF との整合性が重視されている¹⁵。

またその他にも、労働力を吸収する雇用機会を提供するために、年間 7% の経済成長を目標に掲げる経済成長フレームワークにおいて、公共投資や市場育成、イノベーションや投資を促進するための規制緩和、生産性向上の重要性が示されている¹⁶。

¹² Planning Commission, Government of Pakistan (2007) Vision 2030
<http://www.pc.gov.pk/vision2030/Pak21stcentury/vision%202030-Full.pdf> (2012/10/16 アクセス)

¹³ UNDP Website

¹⁴ Planning and Development Department, Government of Pakistan (2005) M. T. D. F., Poverty Reduction, <http://www.pndajk.gov.pk/Planning%20Documents/MTDF/5-Poverty%20Reduction.pdf> (2012/10/29 アクセス) パキスタン政府は、MTF に次ぐ中期開発計画（第 10 期 5 年計画 2010～15（2010/11 年度～2015/16 年度））を策定中であり、同計画のアプローチペーパーの中で、過去の開発戦略に基づく経済成長は、消費主導・輸入依存型であり持続性がなかったとしている。今後は、投資・輸出型への移行、約 6% の実質 GDP 成長率の維持、過去の経済成長から取り残された低開発州・地域への支援の必要性を挙げている。

¹⁵ IMF (2010) Pakistan: Poverty Reduction Strategy Paper – Joint Staff Advisory Note, p. 3
<http://www.imf.org/external/pubs/ft/scr/2010/cr10182.pdf> (2012/10/29 アクセス)

¹⁶ "Framework for Economic Growth" <http://www.pc.gov.pk/> (2012/11/18 アクセス)

(i) Vision 2030

Vision 2030 は、2005 年 5 月に、当時の首相が議長を勤める国家経済評議会（National Economic Council）にて承認された、国家の発展構想である。2006 年 2 月には、Vision 2030 を実現するための戦略文書「Approach Paper: Strategic Directions to Achieve Vision 2030」が計画委員会によって発表された¹⁷。図表 10 は、Vision 2030 の描く将来像として、実現すべき 15 の合意内容を示している。

図表 10 Vision 2030 における合意 15 項目要約

項目	概要
i)	全ての国民、特に国の発展から疎外されがちな社会的弱者の生活の質の向上を伴う成長を実現する。
ii)	経済社会的に発展し、内外的な平和と安全を実現することで、成熟し、寛容な民主社会に生まれ変わる。
iii)	公平と正義を確保した法に基づいた社会・経済・政治のシステムを確立する。
iv)	貧困削減や生活の質向上のためにも、2030 年まで最低でも平均 6-7%の経済成長率を維持し、開発目標を達成する。
v)	経済及び社会政策において、雇用の創出を主要テーマとする。
vi)	全ての国民へ質の高い基礎サービスを提供することが最も重要であることを再認識する。
vii)	国の構造と政府組織を再編する。
viii)	知識と技術を活用し、迅速かつ持続可能な成長を実現する。
ix)	グローバル化に効率的に対応した経済活動を行い、世界での影響力を強める。
x)	学術発展への取り組みを強化する（特に科学技術分野）。
xi)	高齢化社会への対応のための準備をする。
xii)	持続可能な発展のため、枯渇する資源・エネルギーの管理を強化する。
xiii)	温暖化対策を行う。
xiv)	資源の浪費を最小限にするための取り組みを行う。
xv)	都市集中化防止対策を行う。

（出所）Government of Pakistan (2007) Pakistan in the 21st Century, pp. 3-4 を基に、MURC 作成。

(ii) パキスタンミレニアム開発目標

パキスタン政府は、2000 年 9 月の国連ミレニアム・サミットにおいて国連ミレニアム宣言を採択し、2015 年までにミレニアム開発目標の達成に強い意志を示している。ミレニアム開発目標の指標には、定義が曖昧なものや、必ずしも各国に適さないものがあるため、パキスタン政府は、それらを自国の社会経済環境に適合させるために修正を加えて、独自のパキスタンミレニアム開発目標を策定した。図表 11 の指標のうち、網掛けで表されているものが、パキスタン独自の指標となっている。

これらの目標を達成するため、計画委員会は、UNDPの資金協力を受けて、達成状況をモニタリングする機関である、貧困削減・所得分配研究センター（Centre for Research on Poverty Reduction and Income Distribution: CRPRID）を 2002 年に設立した¹⁸。本組織は、

¹⁷ Planning Commission, Government of Pakistan (2006) Approach Paper: Strategic Directions to Achieve Vision 2030, p. iv <http://www.pc.gov.pk/vision2030/approach%20paper/Approach%20Paper.pdf> (2012/10/30 アクセス)

¹⁸ GDN Net Website http://cloud2.gdnet.org/cms.php?id=organization_details&organization_id=4365

2007年に改組され、貧困削減・社会開発センター（Centre for Poverty Reduction and Social Development Policy : CPRSDP）と改名された¹⁹。CPRSDPは2004年から現在まで、4回に渡って「パキスタンミレニアム開発目標報告書」を作成し、達成状況を報告している²⁰。

図表 11 パキスタンミレニアム開発目標

目標とターゲット	指標
ゴール 1：極度の貧困と飢餓の撲滅	
ターゲット 1 2015年までに1日1ドル未満で生活する人口の割合を1990年の水準の半数に減少させる。	カロリー消費量及び非食糧消費量で算定した貧困線以下の人口の占める比率。1998-99年価格で月額673.54PKRが公的貧困線の水準。これは大人が一日に2,350カロリーを消費できるだけの金額。
ターゲット 2 2015年までに飢餓に苦しむ人口の割合を1990年の水準の半数に減少させる。	平均体重を下回る5歳未満の子どもの割合 カロリー消費が必要最低限のレベル（2,350cal/日）未満の人口の割合
ゴール 2：初等教育の完全普及の達成	
ターゲット 3 2015年までに、全ての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする。	初等教育における純就学率 第1学年に就学した生徒が第5学年まで到達する割合 15～24歳の識字率
ゴール 3：ジェンダー平等推進と女性の地位向上	
ターゲット 4 可能な限り2005年までに、初等・中等教育における男女格差を解消し、2015年までに全ての教育レベルにおける男女格差を解消する。	初等・中等・高等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率 15～24歳の男性識字率に対する女性識字率 非農業部門における女性賃金労働者の割合 国会における女性議員の割合
ゴール 4：乳幼児死亡率の削減	
ターゲット 5 2015年までに5歳児未満の死亡率を1990年の水準の3分の1に削減する。	5歳児未満の死亡率 1歳児未満の乳児死亡率 予防接種拡大計画（EPI）の予防接種を完全に受けた1歳児の割合 はしかの予防接種を受けた1歳児の割合 過去30日以内に下痢をした5歳児未満の割合
ゴール 5：妊産婦の健康の改善	
ターゲット 6 2015年までに妊産婦の死亡率を1990年の水準の4分の1に削減する。	妊産婦死亡率（出産件数10万件あたり） 医師・助産師の立ち会いによる出産の割合 家族計画のために何らかの避妊具を使用する男女の割合 出産適齢期の女性の平均出産人数 過去三年間、妊娠中に何らかの母子保健サービスを受けた15歳から49歳までの女性の割合
ゴール 6：HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止	
ターゲット 7 HIV／エイズの蔓延を2015年までに食い止め、その後減少させる。	15～24歳の妊婦のHIV感染率 危険性の高い集団（例：売春婦）のHIV感染率
ターゲット 8 マラリア及びその他の主要な疾病の発生を2015年までに食い止め、その後発生率を減少させる。	マラリアに感染しやすい地域において、有効なマラリア予防及び治療処置を受けている人口の割合 結核の有病率及び結核による死亡率（10万人あたり）

(2012/10/30 アクセス)

¹⁹ JBIC (2007) 「貧困プロファイル—パキスタン・イスラム共和国」

http://www.jica.go.jp/activities/issues/poverty/profile/pdf/pakistan_fr.pdf (2012/10/16 アクセス)

²⁰ CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010

目標とターゲット	指標
	DOTS（短期科学療法を用いた直接監視下治療）の下で発見され、治療された結核患者の割合
ゴール 7：環境の持続可能性確保	
ターゲット 9 持続可能な開発の原則を国家政策及びプログラムに反映させ、環境資源の損失を減少させる。	森林面積の割合
	地表面積に対する、生物多様性の維持のための保護区域の面積の割合
	石油及び同等燃料 1 トンあたりの付加価値額（1980/81 年固定価格ルピー）
	圧縮天然ガス（CNG）を利用する車両数
ターゲット 10 2015 年までに、安全な飲料水及び衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する。	高速ディーゼルエンジン車両に用いられる燃料内の硫黄の割合（重量費）
	浄化された水源を継続して利用できる人口の割合（都市部及び農村部） 適切な衛生施設を利用できる人口の割合
ターゲット 11 2020 年までに、少なくとも 1 億人のスラム居住者の生活を大幅に改善する。	土地及び住居への安定したアクセスを有する世帯の割合

（注 1）指標のうち網掛け部はパキスタンミレニアム目標に取り入れられた独自指標。

（注 2）ゴール 8 の「開発のためのグローバルなパートナーシップの推進」と付随するターゲットについては触れられていないため、本表ではターゲット 11 までの指標のみを提示している。

（出所）CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 20 及び JBIC (2007) 「貧困プロファイル—パキスタン・イスラム共和国」を基に、MURC 作成。

(iii) MTDF

MTDFは、Vision 2030 とパキスタンミレニアム開発目標を達成するための重要な枠組みと位置づけられ、下記の 6 分野から構成されている²¹。

Part I：マクロ経済枠組み（財政金融政策、公共部門開発など）

Part II：ミレニアム開発目標の達成（貧困削減戦略、基礎教育、保健、給水公衆衛生など）

Part III：均衡の取れた開発（雇用創出、農村・都市開発、ガバナンスなど）

Part IV：成長の促進（農業開発、工業開発、中小企業育成、輸出促進など）

Part V：インフラ整備（水資源、エネルギー、運輸など）

Part VI：民間セクター支援（職業訓練、品質基準、官民連携（PPP）、法的枠組整備、資本市場など）

政府の貧困削減への取り組みは、Part IIの 5 「貧困削減戦略」²²に示されている。MTDFの貧困削減戦略は、「Pro-poorな高成長」、「社会開発」、「グッド・ガバナンス」、「脆弱な人々

²¹ Planning Commission, Government of Pakistan (2008) Mid Term Review of Medium Term Development Framework 2005-2010, <http://www.pc.gov.pk/MTDF%20Review%202007-08/MTR.pdf> (2012/10/16 アクセス)

²² Planning Commission, Government of Pakistan (2005) Medium Term Development Framework 2005-10, 5 Poverty Reduction Strategy <http://www.pc.gov.pk/mtdf/5-Poverty%20Reduction%20Strategy/5-Poverty%20Reduction.pdf> (2012/10/29 アクセス)

の保護」の4つの指針に基づいており、以下8つの戦略によって構成されている²³。MTDFの中で具体的に示されている貧困削減戦略についても、8つの戦略に沿って合わせて説明する²⁴。

1. 雇用創出効果の大きい分野における貧困削減と経済成長
2. 貧困層に雇用を提供することのできるセクターの振興（農業、中小企業、住宅産業、建設業）

政策1と2についてMTDFでは主に以下の3つの支援を挙げている。

- ・農業支援

人口の67%が従事する農業では、多くの雇用の創出を見込めるとし、特に灌漑利用の拡大と、生産量の引き上げにより、労働集約性を増加させる。また、畜産業や農作物の加工業によって、農業以外の分野での雇用創出を図る。

- ・中小企業支援

中小企業は、外的影響を受けにくく、急速に変化する技術やグローバル化にも適応しやすいという特徴から、次の世代の雇用を担うと考えられている。そのため農産物加工業、マーケティングや輸送・ロジスティクス分野において、民間セクター成長の機会を増加し、特に農村での雇用創出を目指す。

- ・住宅産業・建設業支援

住宅・建設業は、前方・後方連関効果が極めて大きいため、生産性の高い経済活動とされているが、財政難によって、成長が阻害されてきた。需要に供給が追いつかず、1998年に未完成の住宅は4.3百万戸であったが、2004年には6百万戸に増加した。MTDFでは、2010年までに増加し続ける需要に応え、さらにローンを充実させるなど、貧困層への支援も行っていく。

3. 収入創出プログラムに対する公的支援（Khushal Pakistan 事業など）

MTDFは、貧困削減には、公共事業実施が重要な介入であるとし、労働提供型公共事業を実施している。Khushal Pakistan 事業は、下院選挙区で提供される公共事業で、地方自治体によって実施されている。

4. 農業と中小企業部門に対するマイクロクレジット

2005年時、マイクロクレジットの受益者は非常に少なかった。教育支援と共に実施されるマイクロクレジットへの支援は、貧困層の自立的な生活を促すとされ、全国でおよそ6百万人が融資を必要としていると推測されている。Zarai Taraqati Bank (ZTBL)

²³ Planning Commission, Government of Pakistan (2005) Medium Term Development Framework 2005-10, The MTDF 2005-10: An Overview
<http://www.pc.gov.pk/mtdf/Foreword.%20Preface%20and%20President%20Message/Overview.pdf>
(2012/10/29 アクセス)

²⁴ Planning Commission, Government of Pakistan (2005) Medium Term Development Framework 2005-10, 5 Poverty Reduction Strategy

が政府と実施した農村支援プログラムである **National and Provisional Rural Support Programmes (NRSP & PRSPs)** では、農村部の貧困層が従事する家畜セクターへの融資事業拡大が進められた。ZTBL は、95 の地域で活動し、2003-04 年に約 3,300 万 PKR の小額融資を 140 万の農村受益者に支払っている。

その他にも、中小企業、特に女性起業家への融資も行われ、例えば **Pakistan Poverty Alleviation Fund (PPAF)** は、2004 年末までに 47 のパートナー組織と 95 の地域で、50 万以上の融資プログラムを実施し、そのうち約 45% は女性向けであった。また、金融及び非金融関連サービスも供給し、その直接的、間接的受益者は、全国で 650 万人にも及ぶと推測されている。

5. 災害対策

2004 年 12 月の津波によって大きな被害を受けたことにより、UNDP の支援の下、パキスタン政府は災害危機削減のための 5 ヶ年プログラムを策定した。これは、政府機関や市民社会の災害への備えやマネジメント力を包括的に見直すことや、災害対策に関する国家政策や規制、計画の確立を目的とし、15.5 百万米ドルの予算が組まれている。

6. 社会保障

MTDF は、社会保障を、貧困層のキャパシティの強化や危機回避、脆弱性の緩和の有効な手段として位置付けている。また、社会保障は貧困削減のための雇用創出においても、重要な役割を果たすとしている²⁵。

7. 人的資源開発

MTDF は、人的資源開発は、慢性的貧困や収入の不平等を削減するために最も効果的な手段であると位置付けている。ここでは主に 2 分野での貧困削減政策を挙げる。

・教育

パキスタン政府は、教育を受けた人々のスキルの低さを問題視し、博士課程の発展や IT 機関の質の向上、その他の学位プログラムのカリキュラムの改善に力を入れている。また、技術教育や連邦政府レベルの職業訓練局の設立も予定している。

・保健医療

保健医療に関しては、国家保健政策 (**National Health Policy**) の下で様々なプログラムが実行されている。流行性の病気の負担を減らすこと、特に回避可能な病気を削減することを目的としている。

8. その他の政府支援（土地なし貧困層への国有地の配分）

²⁵社会保障プログラムの内容については、II.1(2)で後述する。

パキスタン政府は、国有地（およそ 2.7 百万エーカー）を土地なし貧困層に分配し、彼らの生活向上を目的としたプログラムを策定した。

(iv) 経済成長フレームワーク（Framework for Economic Growth : FEG）

現在のパキスタン経済は、不十分な市場開発と、市場志向経済促進のための効率的な公共セクターの欠如が経済成長の足かせとなっているとの問題意識から、政府と市場の両方を強化することで、経済成長を促すことを示した成長戦略が、経済成長フレームワーク（Framework for Economic Growth : FEG）である。パキスタンの人口の 68%は、30 歳未満の若年層であり、彼らを労働力として取り込むためには、年間平均で 7-8%の GDP 成長率が必要となる。そのため短期的には年間 5-6%の GDP 成長率を目標とし、公共セクターでのより持続可能な改革を実施することによって、最終的に年間 7%の成長率を実現することを掲げている²⁶。この目標実現のために、以下 7 つの項目を重要項目として挙げている²⁷。

- ・ 生産性の向上
- ・ よりよい政府の確立
- ・ 市場開放
- ・ 競争力のある市場の確立
- ・ 都市部の改革（外資誘致、低エネルギー都市開発等）
- ・ 競争力向上のための政府と民間の連携
- ・ 若者とコミュニティへの注力（高等教育の提供）

(2) PRSP の有無・概要とその他の国家開発計画との関連性

パキスタンでは、これまで以下 3 つの PRSP が発表されている。各 PRSP では、マクロ経済運営、貧困状況の分析、文書策定のプロセスなどが記されている。中心の内容は貧困削減戦略であり、それぞれ核となる戦略を項目立て、提示している。また、PRSP-II は、PRSP-I からの課題が反映されている。

- ・ 暫定 PRSP (I-PRSP) : Interim Poverty Reduction Strategy Paper (I-PRSP), November 2001
- ・ 第一版 (PRSP) : Poverty Reduction Strategy Paper – Accelerating Economic Growth and Reducing Poverty: The Road Ahead, December 2003
- ・ 第二版 (PRSP-II) : Poverty Reduction Strategy Paper (PRSP) - II, January 2009

前述の通り、パキスタンの長期的な将来像を描いた枠組みが Vision 2030 及びミレニアム開発目標、その 2 つの戦略を反映した中期計画が MTFD、そして 3 つの PRSP が MTFD を実

²⁶ Planning Commission, Government of Pakistan (2011) Pakistan: Framework for Economic Growth, p. 11, http://www.pc.gov.pk/hot%20links/growth_document_english_version.pdf (2012/12/21 アクセス)

²⁷ Planning Commission, Government of Pakistan (2011) pp. 12-14

現するための短期的な戦略となっている²⁸。

図表 12 実施された PRSP-II プロジェクトの出資額の推移 (2008-2011 年)

Sector	Expenditure (Rs. millions)			Percentage Change	
	FY 2008/09	FY 2009-10	FY 2010-11	FY 2009/10 over FY 2008/09	FY 2010/11 over FY 2009/10
Market Access and Community Services	121,817	123,915	128,073	1.72	3.36
Roads, Highways, & Bridges	99,613	98,456	99,567	-1.16	1.13
Environment/Water Supply & Sanitation	22,204	25,459	28,506	14.66	11.97
Human Development	329,437	360,972	433,212	9.57	20.01
Education	240,378	259,525	322,334	7.97	24.20
Health	83,714	94,399	106,017	12.76	12.31
Population Planning	5,345	7,048	4,861	31.86	-31.03
Rural Development	139,341	167,367	164,638	20.11	-1.63
Agriculture	88,912	104,815	115,511	17.89	10.20
Land Reclamation	2,738	1,990	3,669	-27.32	84.37
Rural Development	16,362	20,391	19,109	24.62	-6.29
People's Works Programme-I	3,329	8,417	5,049	152.84	-40.01
People's Works Programme-II	28,000	31,754	21,300	13.41	-32.92
Safety Nets	272,782	303,873	335,604	11.40	10.44
Subsidies	220,567	234,926	230,945*	6.51	-1.69
Social Security & Welfare	13,957	20,278	17,617	45.29	-13.12
Benazir Income Support Programme	14003	32,032	34,330	128.75	7.17
Pakistan Bait-ul-Maal	1169	2,261	3,224	93.41	42.59
Food Support Programme	12,420	0	0	-100.00	0.00
Natural Calamities & Other Disasters	10,083	12,548	49,115	24.45	291.42
Low Cost Housing	583	1,828	373	213.55	-79.60
Governance	113,851	154,635	184,014	35.82	19.00
Justice Admin	9,193	10,996	14,223	19.61	29.35
Law and Order	104,658	143,639	169,791	37.25	18.21
GRAND TOTAL	977,228	1,110,762	1,245,541	13.66	12.13
GDP (Rs. Billions)**	13095	14,668	18,063		
Expenditure as %age of GDP	7.46	7.57	6.90		

Source: Civil Accounts provided by Accountant General's Office

* Food Subsidies of Account-II for Khyber Pakhtunkhwa (KP) are not included in the total PRSP expenditures.

** GDP at market prices----- Source: Economic Advisor's Wing

(出所) Ministry of Finance, Government of Pakistan (2011) PRSP – II Period Progress Report FY 2008/09 – 2010/11, p. 35

http://www.prsm.gov.pk/Documents/PRSP_II_ProgressReport_2008_09_2010_11.pdf (2012/10/29 アクセス)

²⁸ Ministry of Finance Website, http://www.finance.gov.pk/poverty_main.html (2012/10/24 アクセス)

図表 13 セクター及び州ごとの PRSP-II 支出の変化 (2008-2011 年)

Table 4.6: Percentage Change in PRSP Budgetary Expenditures by Sector and Province

Sector	FY 2009/10 over FY 2008/09						FY 2010/11 over FY 2009/10					
	Fed	Pun	Sindh	KP	Bal	Pak	Fed	Pun	Sindh	KP	Bal	Pak
Roads, Highways, & Bridges	-23.34	-2.28	-12.45	16.05	66.46	-1.16	4.77	-14.22	-12.98	47.71	85.9	1.13
Environment/Water Supply & Sanitation	125.00	7.58	15.34	17.87	38.91	14.66	97.92	22.86	-27.91	-10.49	63.91	11.97
Education	4.58	3.21	8.35	21.53	25.85	7.97	28.81	33.71	36.52	-34.19	66.15	24.2
Health	37.89	6.55	7.43	-1.73	25.71	12.76	-1.68	13.26	17.82	9.49	62.92	12.31
Population Planning	42.00	14.27	33.43	18.06	47.77	31.86	-76.94	10.67	17.51	12.24	50.41	-31.03
Social Security & Welfare	120.19	-3.31	56.85	7.31	-4.25	87.34	2.75	-29.08	-18.14	80.65	220.56	-13.12
Benazir Income Support Programme	128.75	-	-	-	-	128.75	7.17	-	-	-	-	7.17
Pakistan Bait-ul-Maal	93.41	-	-	-	-	93.41	42.59	-	-	-	-	42.59
Natural Calamities & Other Disasters	-15.55	-12.25	880.12	311.74	-98.07	24.45	402.01	319.45	529.5	47.51	8140	291.42
Agriculture	10.17	12.63	29.35	19.48	37.67	17.89	-9.89	-1.73	30.15	45.03	35.28	10.2
Land Reclamation	0.00	0.00	-29.24	0.00	0.00	-27.32	0.00	61.67	86.63	0.00	0.00	84.37
Rural Development	22.07	16.89	25.77	57.21	-17.54	24.62	-38.89	-16.87	19.51	-17.96	62.28	-6.29
Law and Order	53.54	24.60	16.76	114.81	-5.88	37.25	29.14	7.53	24.22	-7.06	73.17	18.21
Low Cost Housing	0.00	33.45	35,033.33	0.00	0.00	213.55	0.00	-53.88	-98.48	0.00	0.00	-79.6
Justice Admin	27.21	9.58	26.33	36.76	21.07	19.61	7.22	36.46	24.65	40.91	36.07	29.35
Subsidies	8.33	-75.40	261.41	-71.31	0.00	6.51	-5.81	1931.72	-33.19	33.33	0.00	-1.69
Food Support Programme	-100.00	-100.00	0.00	0.00	0.00	-100	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
People's Works Programme-I	152.84	0.00	0.00	0.00	0.00	152.84	-40.01	0.00	0.00	0.00	0.00	-40.01
People's Works Programme-II	13.41	0.00	0.00	0.00	0.00	13.41	-32.92	0.00	0.00	0.00	0.00	-32.92
GRAND TOTAL	17.81	2.61	14.61	28.35	21.14	13.66	2.62	18.35	21.13	-4.49	67.7	12.13

Source: Strengthening PRS Monitoring, Finance Division, Islamabad.

(出所) Ministry of Finance, Government of Pakistan (2011) PRSP – II Period Progress Report FY 2008/09 – 2010/11, p. 24

図表 13 は、2008/09 年から 2010/11 年にかけてのセクター及び州ごとの PRSP-II の支出の変化を示している。パンジャブ及びシンド州では、土地開拓への支出が増加したのに対し、低コスト住宅への支出が大幅に減少している。これは、洪水被害に対する復旧事業を促進するために、低コスト住宅の優先順位が下げられたと考えられる。災害に関する支出は、どの州でも大幅に増加されている。支出の増加に関して最も大きな変化が見られたのはバローチスターン州のインフラ、環境・衛生、社会保護・保障や農村開発の分野である。パンジャブ州を除き、全州で公共支出の増加が見られ、パキスタン全体で 10.2% 農業分野への支出の増加が見られる。同様に、法と秩序の分野でも、パキスタン全体で著しい増加が見られる²⁹。

(3) MTFD 及び PRSP の主な成果・進捗

MTFD 及び PRSP-II では 17 の Pro Poor セクター (図表 14 参照) において GDP の最低でも 4.5% を貧困削減対策 (Pro Poor) に歳出することを掲げていた。2004/05 年は GDP の 5.1%、2005/06 年は 5.6%、2006/07 年は 5.8%、2007/08 年は 5.57%³⁰、2008/09 年は 7.46%、

²⁹ Ministry of Finance, Government of Pakistan (2011) PRSP – II Period Progress Report FY 2008/09 – 2010/11, p. 25

³⁰ Planning Commission, Government of Pakistan (2008) Mid Term Review of Medium Term Development Framework 2005-2010

2009/10 年は 7.57%、2010/11 年は 6.9%と 2004/05 年から 2010/11 年まで 4.5%以上を貧困削減に対応する予算を配分することができた³¹。

図表 14 Pro Poor セクターへの歳出の推移

(2007/08-2011/12 年 単位:Rs 百万)

Table 15.5: Budgetary Poverty Related Expenditures by Sectors					(Rs. Million)
Sectors	2007-08	2008/09	2009-10	2010-11	2011-12*
Roads, Highways & Bridges	84,825	99,613	98,456	99,567	30,367
Water Supply and Sanitation	19,817	22,204	25,459	28,506	11,788
Education	182,646	240,378	259,525	322,334	156,990
Health	61,127	83,714	94,399	106,017	46,842
Population Planning	13,322	5,345	7,048	4,861	2,247
Social Security & Welfare	18,942	29,129	54,571	55,171	24,934
Natural Calamities	7,728	10,083	12,548	49,115	27,510
Agriculture	83,493	88,912	104,815	115,511	41,732
Land Reclamation	3,130	2,738	1,990	3,669	1,616
Rural Development	23,334	16,362	20,391	19,109	12,724
Subsidies	54,872	220,567	234,926	230,945	463,091
Food Support Programme	4,370	12,420	0	0	0
People's Works Programme-I	1,420	3,329	8,417	5,049	2,222
People's Works Programme-II	2,748	28,000	31,754	21,300	2,902
Low Cost Housing	597	583	1,828	373	101
Justice Administration	7820	9,193	10,996	14,223	7,151
Law and Order	2,429	104,658	143,639	169,791	87,347
Total	572,620	977,228	1,110,762	1,245,541	919,564
Total as % age of GDP	5.57	7.46	7.57	6.9	-

Source: Ministry of Finance
* July-December

(出所) Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, Chapter 15 Social Safety Nets, p. 225

マイクロファイナンス・イニシアティブは Microfinance Banks (MFBs)、Microfinance Institutions (MFIs)、Rural Support Programmes (RSPs)、Commercial Financial Institutions (CFIs)、NGOs 等によって実施され、2011 年 12 月時点で、これらの融資機関からの借り手が約 197 万人に達した。

<http://www.pc.gov.pk/MTDF%20Review%202007-08/MTR.pdf> (2012/10/16 アクセス)

³¹ Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, Chapter 15 Social Safety Nets, p. 225

図表 15 マイクロクレジットの受益者とローン

Table 15.7:				
MFP	Active Borrowers	Outstanding Loans portfolio (PKR) Million	Number of Loans disbursed	Disbursements (PKR) Million
Total for Pakistan MF sector (year ended December 31, 2011)	1969,236	26,741.14	1800,262	36.72
MFBs				
First Microfinance Bank Limited	139,435	2,625.52	152,683	3,601.61
Khushhali Bank	440,461	4,823.72	374,633	5,279.69
Kashf Microfinance Bank	19,912	694.67	20,942	626.21
Pak Oman Microfinance Bank	11,917	128.23	6601	150.08
Tameer Bank	132,728	5,070.42	150,747	6,881.06
Total for MFBs	744,453	13,342.56	705,606	16,538.64
MFIs				
AKHUWAT	42,069	355.16	43,307	569.43
ASA – Pakistan	142,814	1,580.14	149,224	2,809.73
ASASAH	14,975	170.81	10,080	184.73
Community Support Concern	13,184	160.47	12,862	315.14
Centre for Women's Cooperative Development	7,214	127.51	4,107	214.08
DAMEN	21,036	459.31	24,591	605.31
Kashf Foundation	265,825	2,645.16	150,555	3,306.42
Orangi Charitable Trust	39,289	482.49	25,595	439.52
SAFWCO	31,117	309.07	28,219	467.45
Total for MFIs	587,523	6,290.42	448,540	8,911.82
RSPs				
National Rural Support programme	329,975	3,704.93	326,718	5,674.51
Punjab Rural Support programme	61,446	675.55	53,895	916.40
Sindh Rural Support Organization	38,236	521.85	62,369	979.41
Sarhad Rural Support Programme	2802	19.44	3020	43.51
Thardeep Rural Support programme	44,317	407.08	46,725	669.60
Total for RSPs	476,776	5,328.85	492,727	8,283.43
Others				
BRAC	97,547	979.86	96,186	1,653.09
Jinnah Welfare Society	15,825	231.02	15,735	380.87
Narowal Rural Development programme	2443	26.67	1949	137.89
Orix Leasing	16,022	179.18	12,010	260.03
Organization for Participatory Development	20,907	301.98	799	17.29
Rural Community Development society	7049	47.95	19,982	446.54
Sungi Development Foundation	672	11.68	6641	86.37
Swabi WWS	19	0.96	87	6.95
Total for Other	160,484	1,779.30	153,383	2,989.03

(出所) Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, Chapter 15 Social Safety Nets, p. 232

(4) 社会保障政策

図表 16は、パキスタン政府によって実施されている社会保障プログラムを示している。パキスタンの社会保障プログラムでは、貧困層、特に貧困者や女性や子ども、老人などの社会的弱者とされるグループを対象としている。マイクロファイナンスやPeople's Rozgar

Programmesは、貧困層が収入を得るための支援として融資を行っている。またPeople's Works Programmesでは農村部の貧困者を対象として、電力やガス、農場から市場までの道路、水等の基礎インフラを提供している³²。

図表 16 社会保障プログラム一覧

Box-2
Social Protection Programs in Pakistan

S. No.	Program	Financing	Type of Benefit	Target Group	Geographical Coverage	Managed By
1.	Benazir Income Support Program (BISP)	Public Funds	Cash as Income Support	Married females belonging to ultra poor households	Nationwide	Federal Government
2.	Microfinance	Donor Funded	Cash as loan for establishing business	Provide financial services, credit to the poor for self employment and move them out of poverty	Nationwide	RSPs/MFIs
3.	Pakistan Bait-ul-Mal	Public Funds	Cash as income support grant for daughters' weddings, food supplement in education	Disabled persons, invalids, widows, orphans and household living below the poverty line	Nationwide	Federal Government
4.	People's Works Program	Public Funds	Cash for Work	Provision of electricity, gas, farm to market roads, good, water supply and other facilities to the rural poor	Nationwide	Federal Government
5.	People's Rozgar Scheme	Commercial Bank Financed	Financing for Selected businesses*	Unemployed educated persons	Nationwide	National Bank of Pakistan
6.	Subsidy on Wheat, Sugar & Fertilizer	Public Funds	In kind as social welfare	Poor people of the country	Nationwide	Federal Government
7.	Utility Stores	Public Funds	In kind as social welfare	Poor people of the country	Nationwide	Federal Government
8.	Zakat & Ushr	Special levy on bank balances & agricultural output	Cash	"Deserving/ Needy" among Muslims	Nationwide	Government & Zakat & Ushr Committees
9.	Child Labour and Children in Bondage	Public Funds	Protection survival development and rehabilitation services	Working children facing abuse and exploitation	Nationwide	Federal & Provincial Government, FATA, GB
10.	Employees Old-Age Benefit Scheme	Contributory (Employers)	Cash	Formal Sector Employees	Nationwide	Federal Government
11.	Social Health Insurance	Contributory (individuals)	Cash	General Population	Nationwide	Federal Government
12.	Workers Welfare Fund	Contributory (Employers)	Housing, schools, health facilities	Formal Sector employees	Nationwide	Federal Government

*: Community Transport, Community Utility Stores, Community Mobile Utility Stores and PCO/Tele-Centers with a maximum of Rs 200,000/- three new products including Commercial Vehicle, Shopkeepers and Primary Healthcare Equipments to Medical Graduates, Science Graduates and B-Pharmacy qualified individuals. The maximum limit ranges from Rs 500,000/- to Rs 700,000/-

(出所) Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, Chapter 15 Social Safety Nets, p. 226

Benazir Income Support Programme (BISP)³³は、貧困層の既婚女性を対象に、食糧及び燃料価格の高騰の影響を和らげる目的で設立された収入支援のための現金給付プログラムである。2008年の開始以降、BISPは洪水や爆風の被害者を受益者とし、2012年3月までに1,220億パキスタン・ルピー (PKR)³⁴を拠出し、受益者は今後700万人にまで増加する見込みである。さらにBISPでは、スマートカード、携帯電話バンキング、郵便為替等の給付方法を実施している³⁵。

³² Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, Chapter 15 Social Safety Nets, p. 226

³³ 詳細は BISP ウェブサイト <http://www.bisp.gov.pk/> を参照。

³⁴ 1パキスタンルピー (PKR) = 0.84円 (2012年9月 JICA レートより)

³⁵ Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, Chapter 15 Social Safety Nets, pp. 228-229

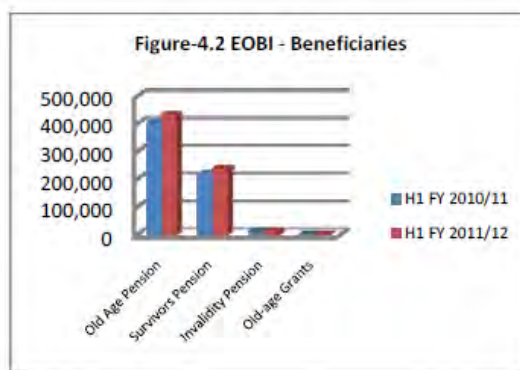
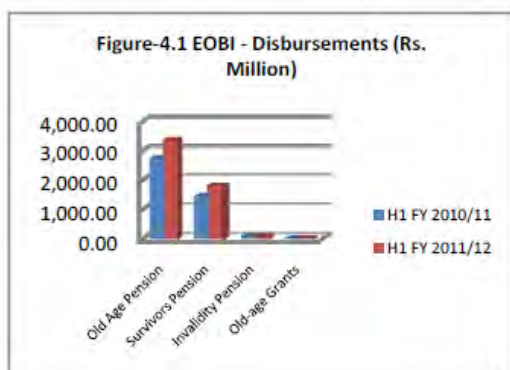
また、BISPの一環として、Waseela-Rozgarという職業訓練（受給者家族の1人が公共セクターで職業訓練を受けることができる制度）の実施や、BISP受給家庭の子どもを対象にしたWaseela-e-Taleem現金給付プログラム（初等教育支援）を計画している³⁶。

さらに、Employees Old Age Benefits Institutions (EOBI)³⁷では、高齢労働者への老齢年金、傷病年金、遺族年金、高齢者補助金等を実施する制度であり³⁸、図表 17はEOBIの2010/11年から2011/12年の受給者数と給付額の推移を表している。これによると、給付額は42億8,000万PKRから2億8,328万PKRと23.4%増加、受給者も63万4,449人から68万3,017人と約8%増加した。2010/11年、2011/12年ともに受給者数、給付額が大きかったのは老齢年金であり、2011/12年には43万2,860人が受給し約36億PKRが給付された³⁹（図表 17参照）。

図表 17 EOBI の受給者数と給付額の推移（2010/11年-2011/12年）

Programs	H1 FY 2010/11		H1 FY 2011/12	
	No. of Beneficiaries	Disbursement (Rs. Millions)	No. of Beneficiaries	Disbursement (Rs. Millions)
Old Age Pension	404,765	2,740.3	432,860	3,362.567
Survivors Pension	218,722	1457.790	238,284	1811.733
Invalidity Pension	10,058	67.621	10,732	82.726
Old-age Grants	904	14.405	1132	26.25
Total	634,449	4,280.00	683,017	5,283.28

Source: Employees' Old Age Benefits Institution (EOBI)



(出所) PRSP Secretariat, Finance Division, Government of Pakistan (2011) 'Poverty Reduction Strategy Paper: FY 2011-2012 Mid Year Progress Report' p.30

³⁶ Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, Chapter 15 Social Safety Nets, p. 230

³⁷ 詳細は EOBI ウェブサイト <http://www.eobi.gov.pk/> 参照。

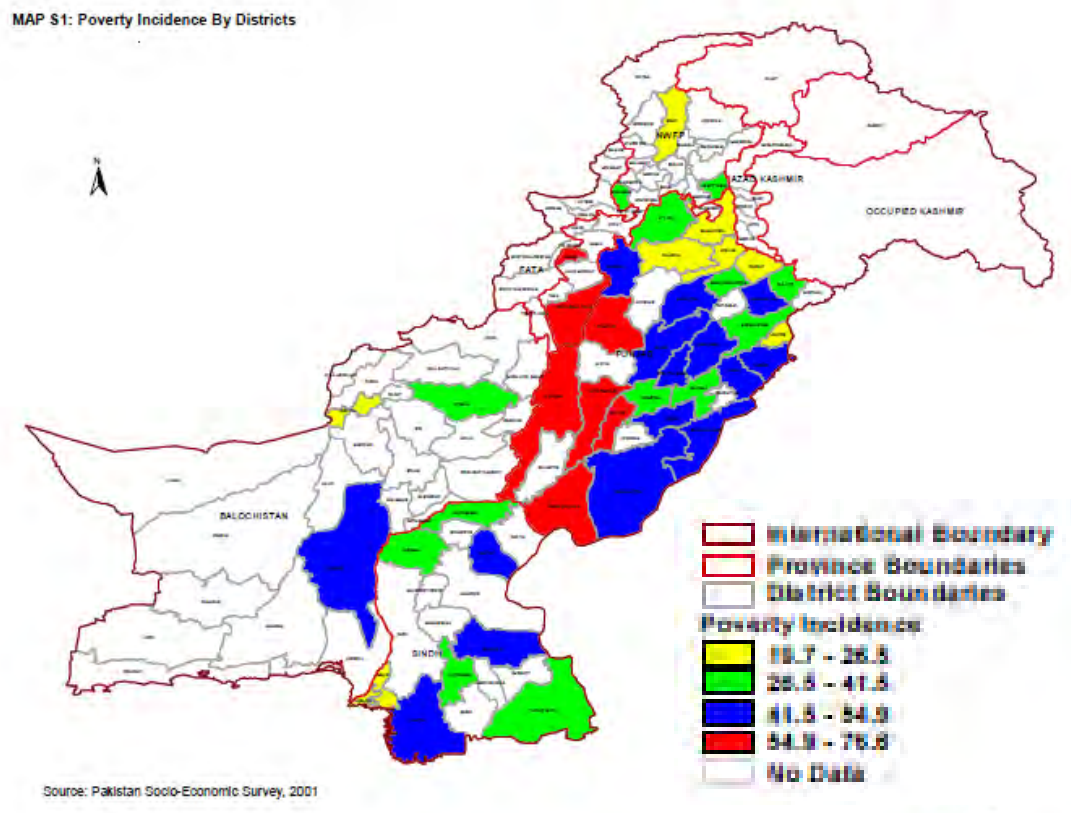
³⁸ Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, Chapter 15 Social Safety Nets, pp. 230-231

³⁹ PRSP Secretariat, Finance Division, Government of Pakistan (2011) 'Poverty Reduction Strategy Paper: FY 2011-2012 Mid Year Progress Report' pp.29-30
http://www.prsm.gov.pk/Documents/2QReport_FY%202011_12.pdf (2013/01/10 アクセス)

2. パキスタンの貧困地域

パキスタンでは、特に政府による貧困地域は指定されていない。地域別の貧困率を示す（地図 3 参照）。からは（2001 年時点）中部のパンジャブ州のほぼ全域で、高い貧困率が示されている他、最も高い貧困率を持つ 7 県全てもパンジャブ州内にある。また、南東に位置するシンド州にも高い貧困率を持つ県が見られ、この 2 州に貧困が集中していることがわかる。

地図 3 地域別貧困率（2001 年）（再掲）



(注) 貧困率：黄色：18.7 以上-26.5%未満、緑：26.5 以上-41.5%未満、青：41.5 以上-54.9%未満、赤：54.9 以上-76.6%未満、白：データなし

(出所) ADB (2005) GIS of poverty mapping analysis for Pakistan, Poverty Incidence by Districts, p. xxxi

III. 所得貧困による分析

1. 貧困線とデータ

パキスタン政府統計局は、1998-99年のPIHS (Pakistan Integrated Household Survey) を用いて、同国の絶対貧困線 (absolute poverty line) を定めた。カロリーベースアプローチで、大人1人1日あたり2,350カロリー相当の支出額である。この数値は、2002年8月、計画委員会の公式文書 (Letter No. 1 (41) Poverty/PC/2002) 及びPlanning Commission (2011)のAnnual Plan 2011-12の中で、同国の貧困線として正式に発表されており⁴⁰、下記のような特徴を有する。

- ・ カロリーベースアプローチでは、一世帯が1日に必要なカロリーを得るために消費された食糧の数量をカロリー単位で表す。
- ・ 目標とするカロリー量を、カロリー消費関数 (calorie-consumption function) を用いて、世帯の全支出額 (食糧支出+非食糧支出) として金銭表示する。
- ・ 消費総額の中には実際の支出額と帰属支出額 (imputed expenditure) の双方が含まれる。すなわち、実際に購入されたものだけでなく、自家生産したもの、贈与されたもの、賃金の代わりとして現物支給されたものなどが含まれる。したがって、この中には食品、光熱費、公共料金、家賃及び家屋修繕費、衣料費、教育費、保健医療費、その他雑費 (クリーニング代など) が含まれる。一方、税金、罰金、冠婚葬祭費、耐久消費財購入費などは含まれない。
- ・ 消費支出は世帯単位で記録されるため、個人単位になるように推計される必要がある。この推計は、18歳未満には0.8を、18歳以上には1.0を加重して求められる。

この公式貧困線は、都市部、農村部共に共通して適用される。インフレの影響を除去するために、公式貧困線の数値は、政府統計局から毎月発表される公式消費物価指数を用いて調整される⁴¹。1998-99年以降随時更新され、図表18のように推移している。パキスタンの公式貧困線は、1998/99年からの7年間で約275PKR上昇している。

⁴⁰ Planning Commission, Government of Pakistan (2011) Annual Plan 2011-12
https://docs.google.com/viewer?a=v&q=cache:n9zKdi5csw0J:www.pc.gov.pk/annual%2520plans/2011-12/chapter-14_poverty_reduction.pdf+Planning+Commission+pakistan+Poverty+line+calories&hl=ja&gl=jp&pid=bl&srcid=ADGEEShX-oFPdbf2VuZQAG65IG-RRCEPOdIZ0eVgRbS5K5wHwsGoiGwK84LDztcRqW53m6g5NI12NOgy2H3Zffw6U7Mlkn03Q-igNRXzGsuLvR9PGEe1XjZ55pWiTA71ThbKgCXMj2SI&sig=AHIEtbRh92DXIG1NS3023BTtoRFdFrGvbg (2013/3/11 アクセス)

⁴¹ JBIC (2007) 「貧困プロフィール」 パキスタン・イスラム共和国、p. 13

図表 18 パキスタンにおける貧困線の推移 (1998/99-2005/06 年)

(単位 : PKR)

Pakistan Poverty Line in Historical Perspective (Rs)	
Year	Poverty Line
1998-99	673.40
2000-01	723.40
2004-05	878.64
2005-06	948.47

(注) 本資料及び図表 19 の資料は公式のものであるが、2005/06 年の貧困線の値に相違がある。

(出所) Ministry of Finance, Government of Pakistan (2010) Pakistan Economic Survey 2009-10, 9 Poverty, p. 127 http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_10/09_Poverty.pdf (2012/10/30 アクセス)

図表 19 は、貧困線を基準とした各層で生活する人口の比率を示している。6 段階に分けられた貧困線 (4 群を基準とし、最も貧困とされる上から、1 群~6 群とする) のうち、1 群は、4 群の半分未満の消費を、6 群は、4 群の 2 倍以上の消費を行う人々を指している。2001/02 から 2005-06 年の間に、1 群の人口は 1.1% から 0.49% へと半分に減少し、2 群の人口も 10.8% から 5.43% へと、約半分まで減少している。3 群と 4 群の人口に関しても、緩やかながら減少傾向にある。

図表 19 貧困線を基準とした各層で生活する人口比率 (2001/02-2005/06 年) (単位 : %)

Table 2.5: Population under Various Poverty Bands
(% of Population)

2001-02		2004-05		2005-06	
Poverty Line = Rs. 723.40		Poverty Line = Rs. 878.64		Poverty Line = Rs. 944.47	
Extremely Poor <50% that is <Rs.361.7	1.1%	Extremely Poor <50% that is <Rs.439.32	1.02%	Extremely Poor <50% that is <Rs.472.23	0.49%
Ultra Poor >50%<75% that is Rs. 361.7 Rs.542.55	10.8%	Ultra Poor >50%<75% that is Rs. 439.32 Rs.658.98	6.50%	Ultra Poor >50%<75% that is Rs. 472.23 Rs.708.35	5.43%
Poor >75%<100% that is Rs.542.55 Rs.723.40	22.5%	Poor >75%<100% that is Rs.658.98 Rs.878.64	16.42%	Poor >75%<100% that is Rs.708.35 Rs.944.47	16.41%
Vulnerable >100%<125% that is Rs.723.40 Rs.904.25	22.5%	Vulnerable >100%<125% that is Rs.878.64 Rs.1098.30	20.55%	Vulnerable >100%<125% that is Rs. 944.47 Rs.1180.59	20.46%
Quasi Non-Poor >125%<200% that is Rs.904.25 Rs.1446.8	30.1%	Quasi Non-Poor >125%<200% that is Rs.1098.3 Rs.1757.28	34.97%	Quasi Non-Poor >125%<200% that is Rs.1180.59 Rs.1888.94	36.34%
Non-Poor >200% that is over Rs.1446.8	13.0%	Non-Poor >200% that is over Rs.1757.28	20.54%	Non-Poor >200% that is over Rs.1888.94	20.88%

Source: Pakistan Economic Survey, 2006-07

(注) 本資料及び図表 18 の資料は公式のものであるが、2005/06 年の貧困線の値に相違がある。

(出所) CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 21

2. 貧困状況

(1) パキスタンの貧困率・貧困ギャップ率・ジニ分析

貧困率 (Headcount Rate of Poverty) は、貧困線以下で暮らす人口の割合を示す。図表 20 は、パキスタンにおける貧困率及び貧困ギャップ率の推移を表しているが、1990 年代後半の財政破綻の影響から 2000/01 年には貧困率が 34.5%となっているが、その後 2005/06 年には 22.3%に減少している。ミレニアム開発目標では、貧困率を 2010 年 (MTDF目標年) までに 21%に、2015 年までに 13%に減少させることがターゲットの 1 つであるが、現在までのところ、2005/06 年以降の貧困についてのデータが公表されておらず、明確な数値は出ていない。しかし、2010 年のパキスタンミレニアム開発目標報告書では、2008 年から 2010 年にかけて、国内外の政治的、経済的要因により、改善がかなり減速している可能性が示唆されている⁴²。

貧困ギャップ率は、貧困線以下の人口の貧困度合いを示している。2005/06 年にはパキスタン全体で 4%であり、2001/02 年比で 3%削減した。都市と農村別に見ると、2005/06 年に都市部では 2.1%で 2001/02 年比で 3.5%削減している。同様に農村部では、5.0%で、2.6%の削減であった。

図表 20 貧困率・貧困ギャップ率の推移 (1998/99-2005/06 年) (単位: %) (再掲)

Table 2.4: Trends in Poverty Indicators

Quintile	Headcount			Poverty Gap			Severity of poverty		
	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan
1998-99	20.9	34.7	30.6	4.3	7.6	6.4	1.3	2.4	2.0
2001-02	22.7	39.3	34.5	4.6	8.0	7.0	1.4	2.4	2.1
2004-05	14.9	28.1	23.9	2.9	5.6	4.8	0.8	1.8	1.5
2005-06	13.0	27.0	22.3	2.1	5.0	4.0	0.5	1.4	1.1

Source: PSLM (various issues)

(出所) CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 20

図表 21 は、所得五分位階級別の大人 1 人当たりの 1 ヶ月の消費額の推移を表している。全階層平均の消費額は、2007/08 年から 2010/11 年にかけて 2 倍近く増加し、3,029PKR となった。どの階層もおよそ 6 割増加しているが、そのため、第一分位階級と第五分位階級の消費額の差は、年々拡大し、3,110PKR から 4,645 PKR となっている。

⁴² CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 13

図表 21 所得 5 分位階級別消費額の推移 (2007/08, 2010/11 年) (単位 : PKR)

TABLE 2.5.C PER CAPITA MONTHLY CONSUMPTION EXPENDITURE BY QUINTILES AND REGION 2010-11

QUINTILES	2007-08			2010-11		
	URBAN	RURAL	TOTAL	URBAN	RURAL	TOTAL
1 ST	906	868	874	1441	1426	1428
2 ND	1216	1208	1210	1985	1966	1970
3 RD	1547	1522	1529	2469	2468	2468
4 TH	2032	1998	2011	3217	3195	3203
5 TH	4334	3566	3984	6679	5312	6073
TOTAL	2472	1655	1923	3872	2608	3029

See table 22 in the main body of this report for further desegregation.

(出所) Statistic Division, Government of Pakistan (2011) Household Integrated Economic Survey (HIES) 2010-11, p. 7

http://www.pbs.gov.pk/sites/default/files/pslm/publications/hies10_11/complete_report.pdf (2012/11/09 アクセス)

図表 22 は、2001/02 年から 2007/08 年の、全国、都市部、農村部の不平等度 (ジニ係数) と所得五分位階級別の消費の割合の推移を示している。この期間のパキスタン全体のジニ係数は、0.27 から 0.29 に悪化している。農村部を見ると、2004/05 年の 0.25 から 2005/06 年の 0.24 と少し緩和したものの、2007/08 年には 0.25 と再度悪化している。一方、都市部では、2001/02 年の 0.32 から 2005/06 年の 0.34 へと悪化したが、2007/08 年に 0.32 改善している。所得五分位階級別の消費の割合では、各階級の消費の割合及び第一分位階級と第五分位階級の消費の差の割合を示している。第一分位階級と第五分位階級の格差は、2001/02 年の 3.76% から 2007/08 年には 4.0% となり、格差が拡大している。同期間に都市部では、12.0% から 10.9% に改善しているのに対し、農村部では 2.19% から 2.2% に悪化している。したがって、ジニ係数及び第一分位階級と第五分位階級の消費の差の割合は拡大しており、パキスタンにおいて不平等度は、悪化していると言える。

図表 22 ジニ係数と所得 5 分位階級別の消費の割合 (2001/02-2007/08 年) (単位 : %)
(再掲)

Table13.4: Gini-Coefficient and Consumption Shares by Quintiles

	PIHS 2001-02			HIES 2004-05			PSLM 2005-06			PSLM 2007-08		
	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan
Gini Coefficient	0.32	0.23	0.27	0.33	0.25	0.29	0.34	0.24	0.30	0.32	0.25	0.29
Consumption share by Quintile (%)												
Quintile 1	5.3	12.8	10.1	4.8	12.6	9.5	4.5	13.5	9.6	5.0	13.1	9.9
Quintile 2	8.1	16.9	13.7	7.6	17.1	13.2	8.2	16.8	13.1	9.1	16.1	13.3
Quintile 3	12.1	1	16.8	11.6	19.7	16.4	11.1	20.1	16.2	11.7	19.6	16.4
Quintile 4	19.4	22.4	21.3	18.3	23	21.4	17.8	23	20.8	19.6	22.1	21.1
Quintile 5	55.1	28.4	38	57.7	27.6	39.4	58.4	26.6	40.3	54.6	29.1	39.3
Ratio of Highest to Lowest Quintiles	10.4	2.22	3.76	12.0	2.19	4.15	13.0	1.97	4.2	10.9	2.2	4.0

Source: Calculations based on the data of PIHS 2001-02; HIES 2004-05; PSLM 2005-06, 2007-08

(出所) Ministry of Finance, Government of Pakistan (2011) Pakistan Economic Survey 2010-11, 13
Poverty, p. 168

(2) 州レベルの貧困率

パキスタンにおける県レベルの貧困調査は、公式データの不足により困難であり、近年のデータは限られている⁴³。ここでは、全国家計調査の結果を用いて推測された、州別の貧困状況について説明する⁴⁴。

図表 23～図表 26 はそれぞれ、パンジャブ州、ハイバル・パフトゥンハー州、バローチスターン州における貧困率の推移を表している。パンジャブ州の貧困率は、2001/02 年に州全体で 26%であったが、2005/06 年では、耕作する農作物の違いによって 5.5-25%の幅があるとの結果が示されている。カイバル・パクトゥンクマ州の貧困率は、2001/02 年に 29%、2005/06 年に 28.2%とあまり改善が見られない。一方、バローチスターン州の貧困率は、2001/02 年で 48%と全国平均を上回り、他の州と比較しても非常に高い貧困率であった。さらに、2005/06 年時には、その率は 50.9%にまで上昇し、全国平均の 2 倍以上に達し、貧困状況が悪化していることがわかる。

パンジャブ州は、パキスタンの人口の約 55.6%以上が暮らしている。パンジャブ州の貧困の特徴は大きく分けて 2 つあり、一つは都市部と農村部の格差が拡大していることである。例えば、都市部の貧困は 26% (国内平均は 22%) であるのに対し、農村部の貧困は 36%と 10 ポイントも農村部の方が高くなっている。また 2 つめの特徴は、スラムの改善が見られないことが都市部の貧困率が国内全体の貧困率を上回る原因とされている⁴⁵。

⁴³ UNDP (2011) Punjab Millennium Development Goals, Indicators for Poverty and Hunger, p. 11, <http://undp.org.pk/images/publications/Punjab%20Report.pdf> (2012/10/16 アクセス)

⁴⁴ データは 3 州のみ。UNDP により 2010 年に初めて、パンジャブ州、ハイバル・パフトゥンハー州、バローチスターン州政府が、ミレニアム開発目標の達成状況の分析を行った。

⁴⁵ Mumtaz K., Saleem N., (2010) 'Informal Economy Budget Analysis in Pakistan and Ravi Town, Lahore'

図表 23 パンジャブ州における貧困率の推移（2001/02-2008/09 年）（単位：％）

MDG Tracking Table 1: Indicators for Poverty and Hunger

Indicators	Region	2001/02	2004/05	2005/06	2006/07	2007/08	2008/09	2009/10	2011	MDG Target (2015)
Headcount Index (percent)	Pakistan	34.5	23.9	22.3	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	13
	Punjab	26.0	n/a	Ranging from 5.5 to 25% depending on agro-climatic zone	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a
Proportion of children under 5 years who are underweight for their age	Pakistan	41.5	38	38	38	38	38	n/a	n/a	<20
	Punjab	n/a	n/a	n/a	n/a	33.6	n/a	n/a	32.6	<20
Proportion of population below 2350 calories per day of food intake	Pakistan	30	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	13
	Punjab	36.34	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a

Source: For national level indicators, PMDGR 2010. Other data from various sources as explained below.

Headcount index figures for Punjab from SPDC 2004 and PMN 2010 respectively.

Proportion of underweight children from MICS 2007-8 & MICS 2011

Proportion of population falling below the caloric poverty line is a simple average calculated from WFP 2003.

（出所）UNDP (2011) Punjab Millennium Development Goals, Indicators for Poverty and Hunger, p. 11

地図 4 パンジャブ州地図



(出所) UNDP (2011) Punjab Millennium Development Goals, Indicators for Poverty and Hunger, p.VIII

図表 24 パンジャブ州一覧（アルファベット順）

Attock	Bahawalnager	Bahawalpur	Bhakhar	Chakwal
D.G.khan	Faisalabad	Gujranwala	Gujrat	Hafizabad
Jhelum	Jhang	Kasur	Khanewal	Khushab
Lahore	Layyah	Lodhran	Mandi Bahuddin	Mianwali
Multan	Muzaffar Ghar	Nankana Sahib	Narowal	Okara
Pakpatten	Rahim Yar Khan	Rajanpur	Rawalpindi	Sahiwal
Sargodha	Sheikhupura	Sialkot	T.T.Singh	Vehari

（出所）UNDP (2011) Punjab Millennium Development Goals, Indicators for Poverty and Hunger, pp.6-7

図表 25 ハイバル・パフトゥンハー州における貧困率の推移（2001/02-2008/09年）（単位：％）

MDGTrackingTable 1: Indicators for Poverty and Hunger

Indicators	Region	2001/02	2004/05	2005/06	2006/07	2007/08	2008/09	MDG Target (2015)
Headcount Index (percent)	Pakistan	34.5	23.9	22.3	n/a	n/a	n/a	13
	KP	29	n/a	28.2	n/a	n/a	39*	20
Proportion of children under 5 years who are underweight for their age	Pakistan	41.5	38	38	38	38	38	<20
	KP	38	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a
Proportion of population below 2350 calories per day of food intake	Pakistan	30	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	13
	KP	27.1	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a

Source: For national level indicators, PMDGR 2010. For KP indicators, MDG targets are from GoKP's CDS. Other data from various sources as explained below.

- Headcount index figures for KP from SPDC 2004 and PMN 2010.
- Proportion of underweight children from MICS 2002.
- Proportion of population falling below the caloric poverty line is a simple average calculated from WFP 2003.

*Figure for 2009/10 as given in the CDS.

（出所）UNDP (2011) Khyber Pakhtunkhwa Millennium Development Goals, Indicators for Poverty and Hunger, p. 11, <http://undp.org.pk/images/publications/UNDP%20Report%202011.pdf> (2012/10/16 アクセス)

図表 26 バローチスタン州における貧困率の推移（2001/02-2008/09 年）（単位：％）

MDG Tracking Table 1: Indicators for Poverty and Hunger

Indicators	Region	2001/02	2004/05	2005/06	2006/07	2007/08	2008/09	MDG Target (2015)
Headcount Index (percent)	Pakistan	34.5	23.9	22.3	n/a	n/a	n/a	13
	Balochistan	48	n/a	50.9	n/a	n/a	n/a	n/a
Proportion of children under 5 years who are underweight for their age	Pakistan	41.5	38	38	38	38	38	<20
	Balochistan	n/a	n/a	n/a	n/a	43	n/a	n/a
Proportion of population below 2350 calories per day of food intake	Pakistan	30	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	13
	Balochistan	49.7	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a

Source: For national level indicators, PMDGR 2010. Other data from various sources as explained below.
 Headcount index figures for Balochistan from SPDC 2004 and PMN 2010 respectively.
 Proportion of underweight children from MICS 2003/04.
 Proportion of population falling below the caloric poverty line is a simple average calculated from WFP 2003.

（出所） UNDP (2011) Balochistan Millennium Development Goals, Indicators for Poverty and Hunger, p. 9,
<http://undp.org.pk/images/publications/Balochistan-MDG-Report-2011.pdf> (2012/10/16 アクセス)

地図 5 シンド州地図



（出所） シンド州ウェブサイト <http://www.sindh.gov.pk/images/map.JPG> (2013/03/12 アクセス)

図表 27 シンド州の県名一覧（アルファベット順）

Badin	Benazirabad	Dadu	Ghotki	Hyderabad
Jacobabad	Jamshoro	Karachi	Kashmore	Khairpur
Larkana	Matiari	Mirpur Khas	Naushahro Feroze	Qambar Shahdadkot
Sanghar	Shikarpur	Sukkur	Tando Allahyar	Tando Muhammad Khan
Tharparkar	Thatta	Umerkot		

（出所）シンド州ウェブサイト <http://www.sindh.gov.pk/images/map.JPG> （2013/03/12 アクセス）

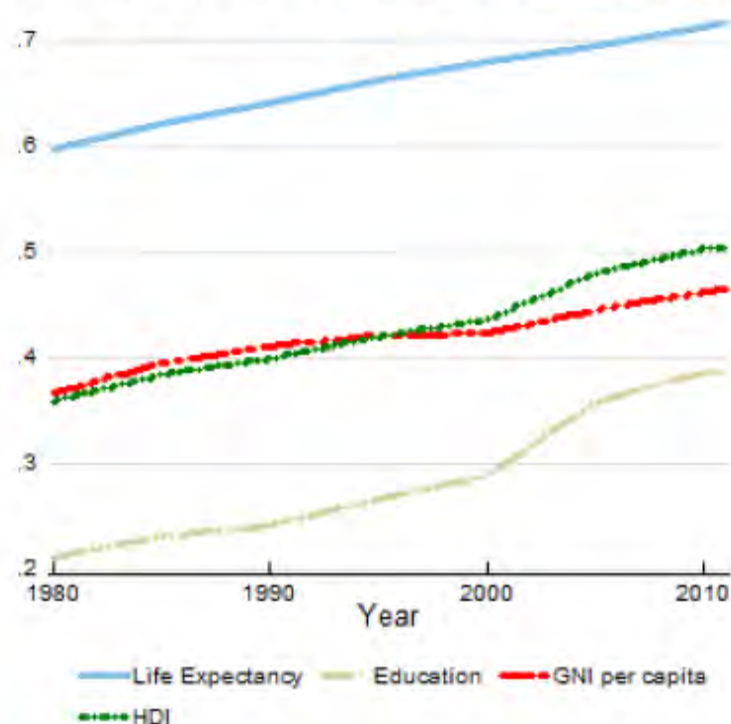
IV. 所得貧困以外による分析

1. 概況とトレンド、地域・国際比較

パキスタンの2011年のHDIは0.504と低く、HDIを測定する187ヶ国中145位で、低人間開発グループと位置づけられている。しかし、低人間開発グループの平均は0.456であり、パキスタンは1990年以降、同水準以上を保っている。一方で、南アジア諸国の平均は0.548で、1990年以降、パキスタンはこれを下回っている⁴⁶。図表28は、パキスタンにおけるHDIの動向を示している。パキスタンは、1980年から2011年の間に、HDIを0.359から0.504に改善し、41ポイントの改善を実現した。同期間に、平均余命は57.9歳から65.4歳と7.6歳延び、平均就学率は1.8年から4.9年に改善した。また、一人当たりのGNIは、1,288米ドルから2,550米ドルと、ほぼ倍増している（図表29参照）。

図表 28 パキスタンにおける HDI の動向（1980-2010 年）

Figure 1: Trends in Pakistan's HDI component indices 1980-2011



(出所) UNDP (2011) Human Development Report 2011, Explanatory note on 2011 HDR composite indices, Pakistan, p. 2 <http://hdrstats.undp.org/images/explanations/PAK.pdf> (2012/10/16 アクセス)

⁴⁶ UNDP (2011) Human Development Report 2011, Explanatory note on 2011 HDR composite indices, Pakistan, p. 3

図表 29 パキスタンにおける HDI の推移（1980-2011 年）（再掲）

Table A: Pakistan's HDI trends based on consistent time series data, new component indicators and new methodology

	Life expectancy at birth	Expected years of schooling	Means years of schooling	GNI per capita (2005 PPP\$)	HDI value
1980	57.9	5.7	1.8	1,288	0.359
1985	59.4	5.7	2.1	1,581	0.384
1990	60.7	5.7	2.3	1,758	0.399
1995	62.0	5.7	2.8	1,888	0.420
2000	63.1	5.7	3.3	1,920	0.436
2005	64.1	6.4	4.5	2,230	0.480
2010	65.2	6.9	4.9	2,523	0.503
2011	65.4	6.9	4.9	2,550	0.504

Figure 1 below shows the contribution of each component index to Pakistan's HDI since 1980.

(出所) UNDP (2011) Human Development Report 2011, Explanatory note on 2011 HDR composite indices, Pakistan, p. 2

図表 30 パキスタンの州別 HDI（1998, 2005 年）

TABLE 1 HUMAN DEVELOPMENT INDICES [Districts Average]			
	HDI 2005	HDI 1998	Annual Rate of Change [%]
Overall	.6196	.5156	2.7
Punjab	.6699	.5640	2.5
Sindh	.6282	.5116	2.9
NWFP	.6065	.4855	3.4
Balochistan	.5557	.4796	2.1

(注) 2005 年の HDI は UNDP の値とは異なっている。

(出所) Jamal, H. and Khan, A. J. (2007) Trends in Regional Human Development Indices, Research Report No. 73, p. 5 <http://www.spdc.org.pk/Publications/Research%20Reports/RR-73.pdf> (2012/10/16 アクセス)

2. MDG 達成状況（2005/06 年、2008/09 年と目標値の比較）

図表 32 は、2008/09 年の MDG の達成状況を示している。これは、達成状況の値が算出された 2005/06 年のデータを基に、パキスタン政府が達成状況を分析し、2010 年に「パキスタンミレニアム開発目標報告書」として、報告したものである。

(1) 目標 1：極度の貧困と飢餓の撲滅

貧困と飢餓の撲滅については、2000/01 年から 2005/06 年にかけて、貧困線以下の人口

割合は、34.5%から 22.3%へと 12.2%減少、平均体重を下回る子どもの割合は、41.5%から 38%へと 3.5%減少している⁴⁷。しかし、2008 年の世界的金融危機や、軍事費の増大といった国内外の要因により、経済成長の減退と雇用への悪影響のため、貧困状況は悪化し、特に貧富の差が拡大している。そのため、2008/09 年時点では、目標 1 の 3 項目ともに 2005/06 年から悪化している⁴⁸。

(2) 目標 2：初等教育の完全普及の達成

初等教育の完全普及については、「5-9 歳の純就学率」、「15-24 歳の識字率」の 2 項目で 2001/02 年から 2008/09 年にかけて改善が見られた。「5-9 歳の純就学率」については、15%ポイント改善し 57%に達している⁴⁹。「15-24 歳の識字率」については、12%ポイント改善し 57%に達したが、目標である 88%とはまだ乖離がある⁵⁰。

(3) 目標 3：ジェンダー平等推進と女性の地位向上

ジェンダー平等への取り組みとして、女子への教育の向上が重要視されている。「初等・中等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率」に関しては、2001/02 年から 2005/06 年で、初等・中等共に改善が見られるが、2008/09 年にはわずかな低下が見られる。「15-24 歳の男性識字率に対する女性識字率」は、2001/02 年から 2008/09 年にかけて、0.14 ポイント改善し、0.78 となっている。「非農業部門における女性賃金労働者の割合」は、2005/06 年から 2008/09 年で、0.29%の低下が見られる。女性の政治参加に関しては、いまだに課題が多く残るが、「国会における女性議員の割合」に関しては、1990/91 年に 1%に満たなかった数値が、2008/09 年に 22.2%と大きく改善している。

(4) 目標 4：乳幼児死亡率の削減

「1 歳児未満の乳児死亡率」については、2001/02 年から 2005/06 年で 0.1%ポイント減少し 7.6%と改善している。「予防接種拡大計画（Expanded Programme on Immunisation (EPI)）の予防接種を完全に受けた 1 歳児の割合」及び「はしかの予防接種を受けた 1 歳児の割合」については、2001/02 年から 2008/09 年に著しく改善し、それぞれ 78%、79%に達している。「過去 30 日以内に下痢をした 5 歳児未満の割合」は、同期間で 2%ポイントの改善が見られ、目標の 10%未満をほぼ達成した⁵¹。

(5) 目標 5：妊産婦の健康の改善

妊産婦の健康の改善に関しては、「医師・助産師の立会いによる出産の割合」は、2004/05 年と比べると 2008/09 年は 41%とその割合が減少している。MDGでの同項目での目標は

⁴⁷ カロリー消費量が必要最低限の水準の人口の割合に関するデータは欠如している。

⁴⁸ CRPSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, pp. 2-14

⁴⁹ 他方で「第 1 学年に入学した生徒が第 5 学年まで到達する割合」は、同期間で 7%ポイント後退しているが、この主な理由は貧困とは関連がなく、データが公立学校のみを対象としており、富裕層が公立校の教育の質の低下を懸念し、子どもを私立校に転入させたことが挙げられている（CRPSDP (2010)）。

⁵⁰ CRPSDP (2010), pp. 33-37

⁵¹ CRPSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, pp. 55-64

90%以上であり、目標との乖離が見られる。しかし、「妊産婦死亡件数（立会い件数 10 万件あたり）」では、2001/02 年から 2006/07 年の期間で 276 に改善し、これは、MTDF の目標の 300 を達成している⁵²。

(6) 目標 6 : HIV/AIDS、マラリア、その他の疾病の蔓延阻止

パキスタンでは、疾病の約 40% が伝染・感染症とされている。「マラリア予防及び治療処置を受けている人口の割合」については、2001/02 年から 2008/09 年で 30% まで改善したが、目標の 75% にはまだ十分でない。また、「結核の有病率及び結核による死亡率」については、全く改善が見られないが、「短期科学療法を用いた直接監視下治療（Direct Observed Treatment Short-course : DOTS）の下で発見され治療された結核患者の割合」は 2005/06 年時点で目標を達成し、2008/09 年も持続している。これは、政府が実施した「全国結核コントロールプログラム」の成果と考えられている⁵³。

(7) 目標 7 : 環境の持続可能性確保

パキスタンでは、他の途上国と同様に環境劣化が著しく、貧困層による資源への依存が深く関わっていると認識されている。「森林面積の割合」は、2008/09 年に 5.02% と MTDF 目標値の 5.2% に近づいているものの、2005/06 年から改善が見られない。「地表面積に対する、生物多様性の維持のための保護区域の面積の割合」については改善が見られ、2008/09 年に 11.5% と MTDF 目標の 11.6% に近づいている。車による大気汚染に関しては、パキスタンが世界でも有数の圧縮天然ガス（CNG）消費国であり、「圧縮天然ガス（CNG）を利用する車両数」については、MDG 目標である 920 台を過去 5 年で大きく上回り、2008/09 年に 2,200 台を達成している。衛生に関しては、「浄化された水源を継続して利用できる人口の割合」及び「適切な衛生施設を利用できる人口の割合」では、共に改善が見られず、目標の 90% 以上とは大きな隔りがある。

FBS（2012）によるとパキスタン全体では 51.92% の家庭が木材・石炭を、31.47% の家庭がガス・オイルを料理の熱源としていた。地域別に見てみると都市部においてはガス・オイルの割合が最も高く 77.84%、次いで木材・石炭が 19.55% であった。一方で農村部では木材・石炭による依存度が高く農村部全体では 68.71%、ガス・オイルは 7.41% であった。特に Khyber Pakhtunkhwa 農村部と Balochistan 農村部での木材・石炭への依存率は高くそれぞれ 90.87%、88.9% であった。この数値から、農村部の貧困層が、資源に依存した生活を営んでいることが分かる（図表 31）。

⁵² CRPSDP (2010), pp. 67-72

⁵³ CRPSDP (2010), pp. 75-80

図表 31 世帯における料理の熱源 2008/09 年（単位：％）

Region & Province	Fuel Used for Cooking				
	Electricity	Gas/Oil	Wood/Charcoal	Other	Total
PSLM 2008-09					
Pakistan	0.06	31.47	51.92	16.55	100.00
Punjab	0.01	29.13	45.80	25.06	100.00
Sindh	0.05	47.43	47.11	5.41	100.00
Khyber Pakhtunkhwa	0.33	16.87	80.67	2.14	100.00
Balochistan	0.09	18.13	77.62	4.16	100.00
Urban Areas	0.05	77.84	19.55	2.56	100.00
Punjab	0.01	75.01	21.22	3.76	100.00
Sindh	0.07	86.25	12.74	0.94	100.00
Khyber Pakhtunkhwa	0.24	65.37	33.62	0.78	100.00
Balochistan	0.14	57.36	39.08	3.42	100.00
Rural Areas	0.07	7.41	68.71	23.81	100.00
Punjab	0.02	7.53	57.37	35.08	100.00
Sindh	0.03	7.87	82.14	9.97	100.00
Khyber Pakhtunkhwa	0.35	6.35	90.87	2.44	100.00
Balochistan	0.07	7.47	88.09	4.36	100.00

（出所）FBS (2010) 'Compendium On Environment Statistics of Pakistan 2010' p.34

図表 32 MDG 指標達成状況（2000/01 年－2008/09 年）（再掲）

目標とターゲット	指標	実績			MTDF 目標値	MDG 目標値
		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ゴール 1：極度の貧困と飢餓の撲滅						
ターゲット 1	カロリー消費量及び非食糧消費量で算定した貧困線以下の人口の占める比率。1998-99 年価格で月額 673.54PKR が公的貧困線の水準。これは大人が一日に 2,350 カロリーを消費できるだけの金額。	34.5%	22.3%	n/a	21%	13%
ターゲット 2	平均体重を下回る 5 歳未満の子どもの割合	41.5%	38%	28%	28%	<20%
	カロリー消費が必要最低限のレベル（2,350cal/日）未満の人口の割合	30%	n/a	15%	15%	13%

目標とターゲット	指標	実績			MTDF 目標値	MDG 目標値
る。						
ゴール 2: 初等教育の完全普及の達成		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット 3	初等教育における純就学率	42%	53%	57%	77%	100%
2015 年までに、全ての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする。	第 1 学年に就学した生徒が第 5 学年まで到達する割合	57.3% (女:64.3%)	72.1% (女:72.8%)	54.6% (女: 54.6%)	80%	100%
	15~24 歳の識字率	45% (女:35%)	54% (女:42%)	57% (女: 45%)	77% (女:66%)	88% (女:87%)
ゴール 3: ジェンダー平等推進と女性の地位向上		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット 4	初等・中等・高等教育における男子生徒に対する女子生徒の比率	初:0.82 中:0.75	初:0.85 中:0.84	初: 0.84 中: 0.8	初:0.94 中:0.90	初:1.00 中:0.94
可能な限り 2005 年までに、初等・中等教育における男女格差を解消し、2015 年までに全ての教育レベルにおける男女格差を解消する。	15~24 歳の男性識字率に対する女性識字率	0.64	0.74	0.78	0.80	1.00
	非農業部門における女性賃金労働者の割合	9.7%	10.9%	10.6%	12%	14%
	国会における女性議員の割合	n/a	下:21% 上:17%	下: 22.2% 上: 17%	-	-
ゴール 4: 乳幼児死亡率の削減		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット 5	5 歳児未満の死亡率 (千人あたり)	n/a	n/a	n/a	77	52
2015 年までに 5 歳児未満の死亡率を 1990 年の水準の 3 分の 1 に削減する。	1 歳児未満の乳児死亡率 (千人あたり)	77	76	n/a	65	40
	予防接種拡大計画 (EPI)の予防接種を完全に受けた 1 歳児の割合	53%	71%	78%	90%	>90%
	はしかの予防接種を受けた 1 歳児の割合	57%	76%	79%	90%	>90%
	過去 30 日以内に下痢をした 5 歳児未満の割合	12%	12%	10%	16%	<10%
ゴール 5: 妊産婦の健康の改善		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット 6	妊産婦死亡率(出産件数 10 万件あたり)	350	380	n/a	300	140
2015 年までに妊産婦の死亡率を 1990 年の水準の 4 分	医師・助産師の立ち会いによる出産の割合	40%	35%	41%	60%	>90%
	家族計画のために何らかの避妊具を使用	28%	n/a	78%	51%	55%

目標とターゲット	指標	実績			MTDF 目標値	MDG 目標値
の1に削減する。	する男女の割合					
	出産適齢期の女性の平均出産人数	n/a	n/a	3.75%	2.7%	2.1%
	過去3年間、妊娠期に何らかの母子保健サービスを受けた15歳から49歳までの女性の割合	35%	52%	58%	70%	100%
ゴール6：HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット7 HIV/エイズの蔓延を2015年までに食い止め、その後減少させる。	15～24歳の妊婦のHIV感染率	n/a	n/a	<0.1	-	50%の削減
	危険性の高い集団（例：売春婦）のHIV感染率	n/a	IDU=10.8% FSW=<0.05% MSW=0.4% HSW=2.1%	IDU=20.8% FSW=- MSW=0.9% HSW=6.4%	-	50%の削減
ターゲット8 マラリア及びその他の主要な疾病の発生を2015年までに食い止め、その後発生率を減少させる。	マラリアに感染しやすい地域において、有効なマラリア予防及び治療処置を受けている人口の割合	20%	25%	30%	50%	75%
	結核の有病率及び結核による死亡率(10万人あたり)	181	181	181	130	45
	DOTS（短期科学療法を用いた直接監視下治療）の下で発見され、治療された結核患者の割合	79%	85%	85%	80%	85%
ゴール7：環境の持続可能性確保		2000-01	2005-06	2008-09	2009-10	2015
ターゲット9 持続可能な開発の原則を国家政策及びプログラムに反映させ、環境資源の損失を減少させる。	森林面積の割合	4.8%	5.02%	5.02%	5.2%	6.0%
	地表面積に対する、生物多様性の維持のための保護区域の面積の割合	11.25%	11.3%	11.5%	11.6%	12.0%
	石油及び同等燃料1トンあたりの付加価値額（1980/81年固定価格ルピー）	27,047	27,300	26,543	27,600	28,000
	圧縮天然ガス（CNG）を利用する車両数	280	1,250	2,200	800	920
ターゲット10 2015年までに、安全な飲料水及び	高速ディーゼルエンジン車両に用いられる燃料内の硫黄の割合（重量費）	1.0%	1.0%	1.0%	0.5%	0.5-0.25%
	浄化された水源を継続して利用できる人口の割合（都市部及び農村部）	64%	66%	65%	76%	93%
	適切な衛生施設を利	45%	60%	63%	70%	90%

目標とターゲット	指標	実績			MTDF 目標値	MDG 目標値
衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する。	用できる人口の割合					
ターゲット 11 2020 年までに、少なくとも 1 億人のスラム居住者の生活を大幅に改善する。	土地及び住居への安定したアクセスを有する世帯の割合	n/a	n/a	n/a	75%	95%

(注 1) 指標のうち網掛け部はパキスタンミレニアム目標に取り入れられた独自指標。

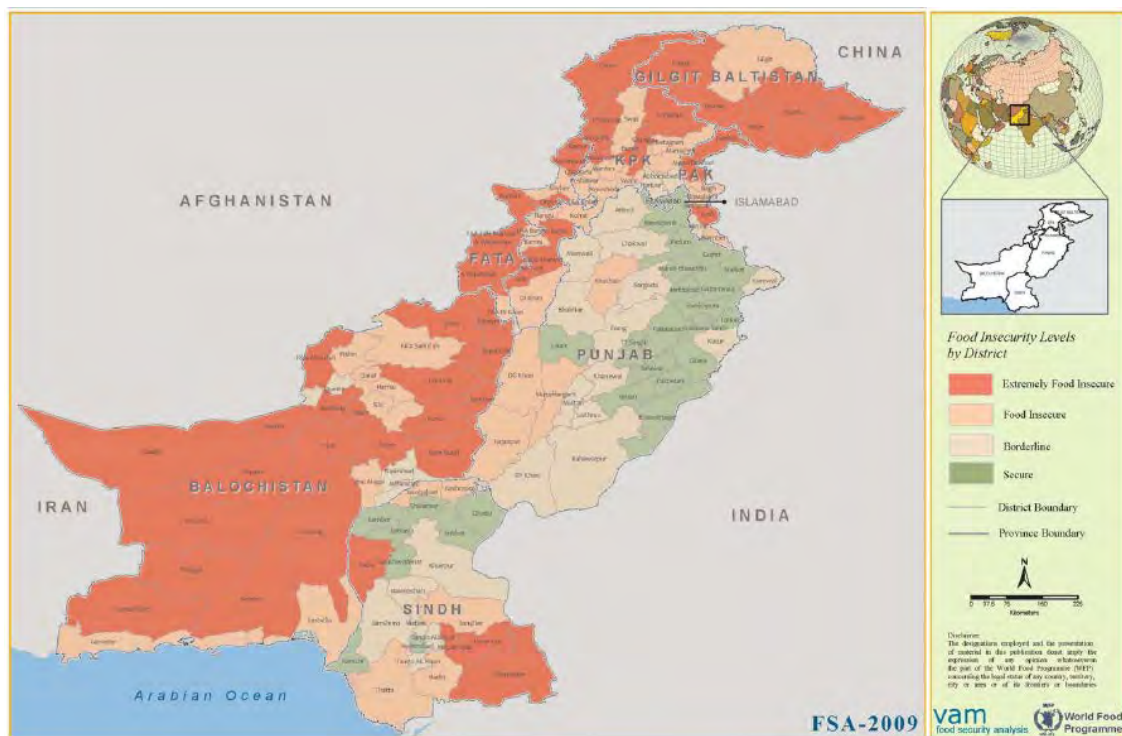
(注 2) ゴール 8 の「開発のためのグローバルなパートナーシップの推進」と付随するターゲットについては触れられていないため、本表ではターゲット 11 までの指標と実績のみを提示している。

(出所) CRPRID (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 20 及び JBIC (2007) 「貧困プロファイル—パキスタン・イスラム共和国」、p.10 を基に、MURC 作成。

3. 食糧安全保障・脆弱性による分析

隣国のアフガニスタンのタリバン政権は退いたものの、パキスタンの治安（特に西部地域）は依然として不安定な状況となっている。長期の戦争により、多くの難民が発生し、土地の生産性が低下しただけでなく、燃料及びエネルギー危機により、農業の生産性が下がり、パキスタンの食料供給に影響を与えている。地図 6 及び図表 33 は、パキスタンにおける地域別の食糧安全保障指数を表している。2009 年には、人口の 48.6% が食糧供給の不安定な状況にあり、その不安定性はバローチスタン州や FATA (Federally Administrated Tribal Areas : 連邦直轄部族地域) など西部の地域においてより高い傾向が見られる。

地図 6 パキスタンにおける食糧供給の不安定な地域（2009年）



(出所) SDC Pakistan (2009) Food insecurity in Pakistan, Food insecure Population in Pakistan 2009, p. 94

図表 33 地域別食糧非安全保障指数（2009年）（単位：％）

Province	% Food insecure
KPK	56.2
Punjab	38.5
Sindh	44.3
Balochistan	61.2
FATA	67.7
Pak Administered Kashmir	46.9
Gilgit Baltistan	52.4
Islamabad	23.6

(出所) SDC Pakistan (2009) Food insecurity in Pakistan, Food insecure Population in Pakistan 2009, p. 99

http://www.swiss-cooperation.admin.ch/pakistan//ressources/resource_en_195260.pdf (2012/10/16 アクセス)

図表 34 は、1990-92 年から 2006-08 年までの間の、パキスタンにおける栄養不足の人口の割合を示している。1990-92 年から 1995-97 年の間に、栄養不足の人口は 5%ポイント減少し 20%となったが、2006-08 年には再び 25%に増加している。パキスタンの人口自体の増加に伴い、栄養不足人口も増加しており、その数は 2006-08 年で 40 万人以上にも上る。栄養不足の人口の内訳は、女性、子ども、高齢者等のグループ、特に、所得の低い方から 30%以下に属する人口が影響を受けている⁵⁴。

図表 34 食糧安全保障に係る指標 (1990-92-2006-08 年)

Country Profile: Food Security Indicators		Country: Pakistan						
		1990-92	1995-97	2000-02	2006-08	1990-92 to 1995-97 (%)	1995-97 to 2000-02 (%)	2000-02 to 2006-08 (%)
		annual change						
I. FOOD DEPRIVATION AND CONSUMPTION INDICATORS								
Food Deprivation								
Proportion of undernourishment	percent	25	20	24	25	-4.3	3.6	0.5
Number of undernourished	millions	26.5	26.8	36.3	42.6	-2.0	6.1	2.8
Food deficit of undernourished population	kcal/person/day	280	280	280	280	-1.0	1.2	0.3
Food Needs								
Minimum dietary energy requirement (MDER)	kcal/person/day	1690	1700	1720	1740	0.2	0.2	0.2
Average dietary energy requirement (ADER)	kcal/person/day	2100	2120	2150	2190	0.2	0.3	0.2
Food Supply for Human Consumption								
Dietary energy supply (DES)	kcal/person/day	2210	2340	2270	2280	1.2	-0.6	0.0
Total protein consumption	g/person/day	55.8	60.1	58.6	57.4 *	1.5	-0.5	-0.4 *
Animal protein consumption	g/person/day	17.9	21.3	21.7	22.9 *	3.5	0.4	1.4 *
Fat consumption	g/person/day	55.7	62.6	63.2	67.4 *	2.3	0.2	1.3 *
Diet Composition (Share in DES):								
Carbohydrate	percent	67.1	65.6	64.7	62.9 *	-6.5	-0.3	-0.5 *
Total protein	percent	10.1	10.3	10.3	10.2 *	0.3	0.1	-0.2 *
Animal protein	percent	3.2	3.6	3.8	4.1 *	2.3	0.9	1.3 *
Fat	percent	22.7	24.1	25.0	26.9 *	1.2	0.8	1.5 *
Major food commodities consumed (share in DES) *								
1 - Flour of wheat	percent	44.9	41.5	39.7	36.7 *	-1.5	-0.9	-1.6 *
2 - Sugar, refined	percent	8.8	9.4	10.1	10.7 *	1.4	1.3	1.2 *
3 - Margarine and shortening	percent	6.4	6.8	6.5	7.3 *	1.0	-0.7	2.1 *
4 - Rice, milled	percent	6.1	5.9	6.1	6.1 *	-0.6	0.5	0.1 *
5 - Cow milk, whole (fresh)	percent	2.7	4.0	4.6	5.1 *	7.8	2.9	2.3 *
Share of cereals and roots & tubers in DES	percent	55.4	52.3	51.7	48.2 *	-1.1	-0.2	-1.4 *
Share of oils and fats in DES	percent	13.5	14.0	14.4	16.0 *	0.7	0.7	2.0 *
<small>*ranked on the latest 3-year period</small>								
II. FOOD PRODUCTION INDICATORS								
Role of production to consumption by major commodity**								
1 - Flour of wheat	percent	100.2	100.0	102.4	103.7 *	0.0	0.5	0.3 *
2 - Sugar, refined	percent	94.3	97.1	97.6	82.4 *	0.6	0.1	-3.4 *
3 - Margarine and shortening	percent	100.0	99.9	100.0	100.0 *	0.0	0.0	0.0 *
4 - Rice, milled	percent	162.9	219.3	202.8	229.7 *	2.6	-1.6	2.6 *
5 - Cow milk, whole (fresh)	percent	111.1	111.1	111.1	111.5 *	0.0	0.0	0.1 *
<small>**ratio of production to consumption by major commodity</small>								

(出所) FAO (2011) Country Profile: Food Security Indicators: Pakistan,

http://www.fao.org/fileadmin/templates/ess/documents/food_security_statistics/country_profiles/eng/Pakistan_E.pdf (2012/10/16)

⁵⁴ Government of Pakistan (2012) National Sustainable Development Strategy Pakistan's Pathway to a Sustainable & Resilient Future Draft, p. 28
<http://202.83.164.25/wps/wcm/connect/5a092c004bc47dd2968cfe707facb1d0/NSDS-Final-2012-Done+or+printing+and+converted+to+PDF+15+June+2012.pdf?MOD=AJPERES&CACHEID=5a092c004bc47dd2968cfe707facb1d0&CACHEID=5a092c004bc47dd2968cfe707facb1d0> (2012/10/16 アクセス)

V. 社会的属性・特性と貧困との関連の分析

1. 社会的に排除されているグループの存在と貧困指標との関連

(1) 女性と貧困

女性は貧困に対して男性と比べて脆弱な立場にある。パキスタンでは、教育水準や就業機会など女性は男性に比べて不利な立場にあることが多い。図表 35 は 2008-09 年から 2010-11 年における地域別の 10 歳以上の男女の識字率を表している。2010-11 年の都市部における識字率は男性が 81%、女性は 67%である一方で、同年の農村部における識字率は男性が 63%、女性が 35%であった。このように都市部・農村部ともに女性のほうが男性よりも識字率が低く、特に農村部における女性の識字率が著しく低いことがわかる。

図表 35 地域別 10 歳以上の男女識字率 (2008/09-2010/11 年) (単位 : %)

Table 7.1: Literacy- Population 10 Years and Older - By Region and Province

Region / Province	2008/09 PSLM		2010/11 PSLM			
	Male	Female	Male	Female	Total	
Urban Areas	81	67	74	81	67	74
Punjab	82	71	76	80	71	76
Sindh	81	65	73	82	68	75
KP	76	48	62	77	50	63
Balochistan	78	47	64	79	40	61
Rural Areas	63	33	48	63	35	49
Punjab	61	22	43	64	42	53
Sindh	67	27	47	60	22	42
KP	67	27	47	67	29	48
Balochistan	57	16	38	54	13	35
Overall	69	45	57	69	46	58
Punjab	69	50	59	70	51	60
Sindh	71	45	59	71	46	59
KP	69	31	50	68	33	50
Balochistan	62	23	45	60	19	41

Source: PSLM 2008/09, PSLM, 2010/11

(出所) Ministry of Finance, Government of Pakistan (2011) PRSP – II Period Progress Report FY 2008/09 – 2010/11, pp. 91-92

図表 36 は 2001 年の貧困度合い別の農業・非農業セクターにおける男女別の就業率を表している。女性の約 80.2%、男性の 53.6%が農業セクターに従事しているが、相対的に農業部門の賃金は他部門よりも平均所得が低いため、女性の農業部門以外の就業が限られていることが推測される。

図表 36 農業／非農業セクターでの男女別就業率（2001年）（単位：％）

	Extremely Poor		Poor		Non-Poor		Total	
	Agri	Non-Agri	Agri	Non-Agri	Agri	Non-Agri	Agri	Non-Agri
Total	62.0	38.0	59.1	40.9	48.2	50.8	57.3	42.7
Male	60.8	39.2	53.5	46.6	46.3	53.0	53.6	46.4
Female	72.1	27.9	85.5	14.5	72.9	27.1	80.2	19.8

Source: NHDR/PIDE Survey 2001.

（出所）UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan, p. 171,

http://hdr.undp.org/en/reports/nationalreports/asiathepacific/pakistan/pakistan_2003_en.pdf (2012/10/22
アクセス)

図表 37 は、2010/11 年の、地域別の就業状況を表している。パキスタン全体の男女の就業の割合を見ると、女性は全体の 20%ほどしか就業していないことがわかる。さらにその中でも、無賃労働の割合が最も高く、女性が賃金労働に従事することが困難な状況を示している。地域別に見ると、バローチスターン州における女性の就業の割合が全体の約 4%と極めて低い値を示している。

図表 37 地域別就業状況（2010/11 年年）（単位：％）

		雇用者	自営		無賃労働者	被雇用者	合計
			農業従事者	非農業従事者			
パキスタン全体	男性	0.6	11.9	10.9	10.3	47.2	80.9
	女性	0.0	1.4	0.7	9.7	7.3	19.1
	全体	0.6	13.2	11.7	20.0	54.5	100.0
パンジャブ州	男性	0.7	13.4	12.8	11.0	39.1	76.9
	女性	0.0	1.8	0.9	12.3	8.1	23.1
	全体	0.7	15.2	13.7	23.3	47.2	100.0
シンド州	男性	0.4	8.3	5.7	8.7	63.5	86.7
	女性	0.0	0.3	0.3	5.3	7.5	13.4
	全体	0.4	8.6	6.0	14.1	71.0	100.0
カイバル・パクトウンクワ州	男性	0.7	12.0	13.1	9.9	49.6	85.3
	女性	0.0	1.7	0.9	7.8	4.3	14.7
	全体	0.7	13.7	14.0	17.7	53.9	100.0
バローチスタン州	男性	0.4	10.2	8.4	9.9	66.8	95.6
	女性	0.0	0.1	0.0	2.1	2.2	4.4
	全体	0.4	10.4	8.4	11.9	68.9	100.0

（出所）Statistic Division, Government of Pakistan (2011) Household Integrated Economic Survey 2010-11,

Table03, http://www.pbs.gov.pk/sites/default/files/pslm/publications/hies10_11/tables/table03.pdf

（2012/11/09）を基に、MURC 作成。

図表 38 は 1990-91 年から 2008-09 年における非農業セクターに従事する女性の割合の推移と MDG の目標値を表している。基準年である 1990-91 年の 8.07%からはこの約 10 年で徐々に上昇傾向にあり 2008-09 年には 10.64%まで増加した。しかし、2015 年までの達成目標である 14%にはまだ大きな隔りがある。

図表 38 非農業セクターにおける女性賃金労働者率の推移（1990-2009年）



Source: Table 4

(出所) CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 46

図表 39 は 1990 年から 2009 年のパキスタンにおける女性議員数の推移を表している。基準年である 1990-91 年の女性議員数は総議員数 217 名に対しわずか 2 名 (0.9%) であったが、2004-05 年には 342 名中 73 名 (21%) に、2008-09 年には、342 名中 76 名 (22.2%) にまで増加した。これは、Devolution Plan 2001 によって女性議員の議席数が確保されたためである。

図表 39 女性の国会議員数とその割合の推移（1990-2009年）

Table: 4.2 Number of Women Parliamentarians (as share of the total)

Election Year	Total No of Seats	Number of Elected Members of National Assembly			
		No of Women	% of Total	No of Men	% of Total
1009-91	217	2	0.9	215	99.1
2004-05	342	73	21	269	79.0
2007-08	342	76	22.2	266	77.8
2008-09	342	76	22.2	266	77.8

Source: National Assembly Secretariat

(出所) CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 47

(2) 移民（出稼ぎ）労働者と貧困

パキスタン全体では、2010/11 年で 28.6%の人々が農村部から都市部へと移動している（図表 40）。州別に見ると、前述の通り、最も貧困率の高いバローチスターン州が最も多く 38.3%が都市部に移動している。男女別で見ると、男性労働者の 33.1%が都市部へ移動

していることから、出稼ぎ労働者の多くが貧困者層であることが想定される。また、移動の理由は家族の付き添いや帰郷を除くと、男性は就業のための移動の割合が最も多く、2010/11年では20%以上となっていることから、貧困世帯の男性が、送金のために出稼ぎを行っていることが想定される（図表41）。

図表 40 農村部から都市部への移動者の割合（2009/10, 2010/11年）

**Table 5.2
DISTRIBUTION OF RURAL TO URBAN MIGRATION**

Migration stream	2009-10			2010-11		
	Total	Male	Female	Total	Male	Female
Pakistan	28.9	33.3	25.7	28.6	33.1	25.4
Punjab	31.2	39.4	26.2	30.5	38.5	25.9
Sindh	27.0	28.7	25.4	27.8	30.8	25.0
KP	16.4	13.7	20.1	16.4	13.6	20.3
Balochistan	34.7	30.9	31.3	38.3	36.5	39.9

（出所） Statistics Division, Government of Pakistan (2011) Labour Force Survey 2010-11, p. 15,
[http://www.pbs.gov.pk/sites/default/files/Labour % 20Force/publications/lfs2010_11/results.pdf](http://www.pbs.gov.pk/sites/default/files/Labour%20Force/publications/lfs2010_11/results.pdf)
 (2012/11/09 アクセス)

図表 41 移動の理由（2009/10, 2010/11年）

**Table -6
MIGRANTS POPULATION BY MAIN REASONS OF MIGRATION**

Main Reasons of Migration	2009-10			2010-11		
	Total	Male	Female	Total	Male	Female
Total	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
Job transfer	2.1	4.4	0.3	1.6	3.3	0.2
Found a job	5.5	11.9	0.3	4.8	10.7	0.2
Searching for job	5.6	12.2	0.3	5.5	12.4	0.2
Searching for a better agriculture land	1.6	3.3	0.2	1.2	2.5	0.1
Education	0.9	1.4	0.5	1.0	1.7	0.4
Business	1.7	3.3	0.3	1.2	2.5	0.2
Health	0.1	0.2	-	0.1	0.1	-
Marriage	31.6	2.0	55.6	32.9	2.4	56.4
With parents	23.3	32.4	15.9	24.2	35.1	16.0
With spouse	11.7	0.8	20.5	12.1	1.0	20.6
With son/daughter	1.1	0.7	1.4	1.1	0.8	1.4
Return to his home	9.0	19.0	1.0	9.4	20.4	1.1
Other	5.8	8.4	3.7	4.9	7.1	3.2

Note: (-) stands for insignificant

（出所） Statistics Division, Government of Pakistan (2011) Labour Force Survey 2010-11, p. 16

また、図表 42 移民及び非移民世帯の貧困率（単位：％）に示した通り、パキスタン全体では、移民世帯は非移民世帯と比べて貧困率が低い傾向が見られる。この傾向は都市部、農村部でも同様であり、都市部の移民世帯に至っては、貧困率は 4％と非常に低い。移民の多くが仕送りや、職業的地位及び技術レベルを向上させる機会が多いため、所得が高い傾向があると考えられる⁵⁵。

図表 42 移民及び非移民世帯の貧困率（単位：％）

Table 20: Poor Households by Migration Status and Rural/Urban Area (%)

Area	Migrant Households	Nonmigrant Households	All Households
Rural Areas	28.1	47.5	46.4
Urban Areas	4.0	25.7	24.2
All Areas	18.4	39.8	38.5

Source: G. M. Arif. 2004. Effects of Overseas Migration on Household Consumption, Education, Health and Labour Supply in Pakistan.

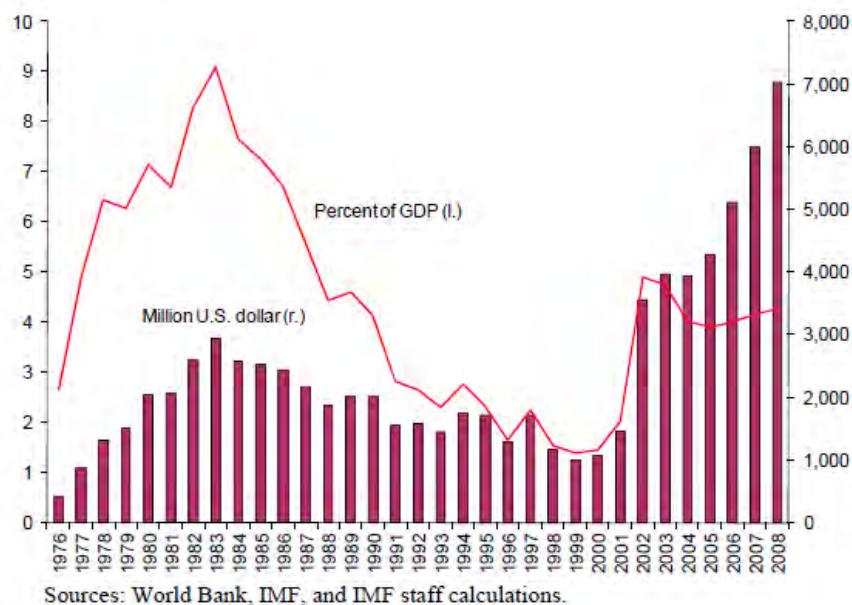
（出所）ADB (2006) Pakistan Poverty Assessment Update, Background Paper 1: Poverty, Economic Growth, and Inequality: A Review of Pakistan's Poverty Literature, p. 30

国内の移民労働に加えて、パキスタンでは国外への移民労働者も多く存在し、海外からの送金はパキスタンの外貨獲得の重要な要素となっている。実際、過去 8 年間で海外移民労働者からパキスタンへの送金は 4 倍となり 2008 年には 70 億米ドル以上、GDP の 4.2％が海外からの送金を占めていた⁵⁶（図表 43 参照）。

⁵⁵ ADB (2006) Pakistan Poverty Assessment Update, Background Paper 1: Poverty, Economic Growth, and Inequality: A Review of Pakistan's Poverty Literature, p. 30
<http://www2.adb.org/Documents/Reports/Consultant/37717-PAK/37717-PAK-TACR-BG1.pdf>
 (2012/10/16 アクセス)

⁵⁶ IMF (2011) 'IMF Working Paper: Remittance in Pakistan- Why have they gone up, and why aren't they coming down?' p.3 <http://www.imf.org/external/pubs/ft/wp/2011/wp11200.pdf> (2013/01/08 アクセス)

図表 43 1976 年から 2008 年の海外からの送金額と対 GDP 比の推移

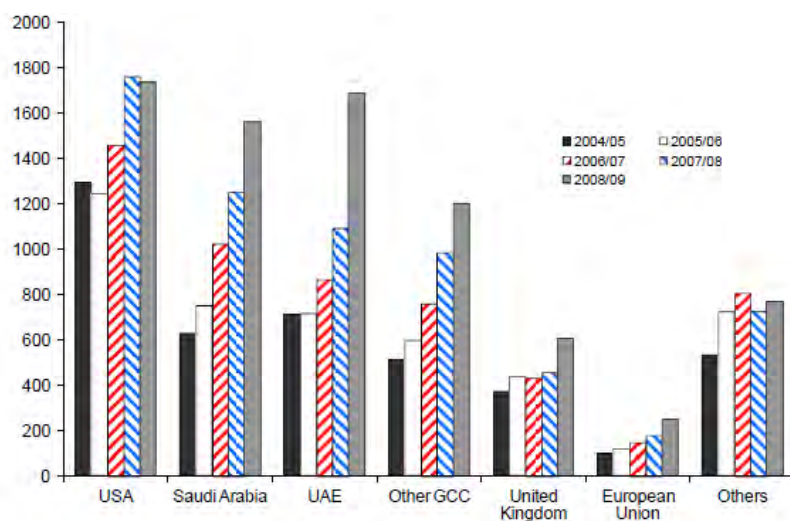


(出所) IMF (2011) 'IMF Working Paper: Remittance in Pakistan- Why have they gone up, and why aren't they coming down?' p.4

特に近年の送金額の増加は湾岸諸国からの送金の増加に起因している。特にアラブ首長国連邦からの送金額は 2006/07 年から 2008/09 年の間におよそ 2 倍に増加しており、それまで米国からの送金額が圧倒的であったのに対し、2008/09 年にはほぼ同額にまで増加した。また、サウジアラビアとその他の湾岸諸国からの送金も急増している⁵⁷ (図表 44 参照)。

⁵⁷ IMF (2011) 'IMF Working Paper: Remittance in Pakistan- Why have they gone up, and why aren't they coming down?' pp.3-4

図表 44 2004/05 年から 2008/09 年のパキスタンへの送金もとの国と金額
(単位：百万米ドル)



Sources: IMF, State Bank of Pakistan, and IMF staff calculations.

(出所) IMF (2011) 'IMF Working Paper: Remittance in Pakistan- Why have they gone up, and why aren't they coming down?' p.4

図表 45 は 1996/97 年から 2007/08 年の送金先別海外からの送金の分配の推移を表している。これによると 1996/97 年には都市部では 50.7%、農村部で 41.3%と都市部と農村部では大差はなかったが、2007/08 年には農村部が 72.4%、都市部では 27.6%と農村部への送金の割合が圧倒的に大きくなっていることから、海外出稼ぎ労働者の送金は農村部の貧困層の所得に大きな影響を与えていると考えられる。

図表 45 送金先別海外からの送金の分配の推移 (1996/97 年-2007/08 年 単位：%)

Year	Urban	Rural	Punjab	Sindh	KPK	Balochistan
1996-97	50.7	41.3	62.5	11.5	20.4	2.6
2001-02	40.8	59.2	61.8	7.3	28.1	2.7
2005-06	33.65	66.4	68.0	4.5	26.4	1.1
2007-08	27.6	72.4	67.6	2.5	28.6	1.3

Source: Estimate based on HIES.

(出所) PIDE (2012) 'Preliminary Study: Explaining the Ten-fold Increase in Remittances to Pakistan 2001-2012' p.5

図表 46 地域別（都市部/農村部）送金の分配推移（2001/02年-2007/08年 単位:%）

*Percentage Distribution of Remittance in Urban/
Rural Areas by Provinces*

Provinces	Urban Areas		Rural Areas	
	2001-02	2007-08	2001-02	2007-08
Punjab	27.81	20.77	34.01	46.80
Sindh	7.31	2.42	0.00	0.12
KPK	5.24	3.88	22.86	24.72
Balochistan	0.41	0.48	2.30	0.80
Total	40.83	27.55	59.17	72.45

Source: Estimate based on HIES 2001-02 and PSLMS 2007-08.

(出所) PIDE (2012) 'Preliminary Study: Explaining the Ten-fold Increase in Remittances to Pakistan 2001-2012' p.6

(3) 国内避難民 (Internal Displaced Persons: IDPs) と貧困

2009年よりパキスタン政府はタリバンの掃討作戦を開始し、約230万人の国内避難民が発生し⁵⁸、パキスタン政府 (FATA Disaster Management Authority: FDMA) の公式発表によると2011年11月時点で、85万人とされている。IVAP (Internally Displaced Persons Vulnerability Assessment & Profiling) によると、IDPs世帯は経済的に脆弱で、2011年時点で約7割が貧困線以下の生活を強いられ、家賃の支払い、食糧や水の確保に不安を抱えているという。2011年度のパキスタン国家栄養調査 (National Nutrition Survey) によると、パキスタンにおける食糧保全是悪化の傾向にあり、特にIDPs世帯は、食糧消費量が最低水準となっている。IDPsの多くは、国や国際機関による支援によって生活をしている。紛争の被害の少なかった、Karachi、Peshawar、Islamabadなど、パシュトゥーン人コミュニティが点在する都市部に避難したIDPsの多くは、その地で新たな職を見つけているが、彼らへの差別は社会問題となっている。また、都市のスラムなどに移住したIDPsは、雇用機会や水・衛生、保健、教育などの基礎サービスへのアクセスが制限された生活を送っている⁵⁹。

⁵⁸ Post Crisis Needs Assessment: KP&FATA

⁵⁹ IDMC (2011) Pakistan Displacement caused by conflict and natural disasters, achievements and challenges, pp. 5-6,

[http://www.internal-displacement.org/8025708F004BE3B1/\(httpInfoFiles\)/969C18AC44833F43C1257981002D7310/\\$file/pakistan-overview-jan2012.pdf](http://www.internal-displacement.org/8025708F004BE3B1/(httpInfoFiles)/969C18AC44833F43C1257981002D7310/$file/pakistan-overview-jan2012.pdf) (2012/10/24 アクセス)

地図 7 パキスタンにおける IDPs の分布状況



(出所) IDMC (2011) Internal displacement in South and South-East Asia, p. 90

2. その他の要因と貧困との関連

(1) 保健医療と貧困

図表 47 は、貧困層の疾病時の状況を表しているが、2001 年の National Human Development Report (NHDR)/Pakistan Institute of Development Economies (PIDE) の調査によると、最貧困層 (Extremely Poor) のうち 65%が、調査時に何らかの病気にかかっており、貧困層 (Poor) よりも割合が多い。罹患期間も貧困層と比べると 3 倍以上長く、そのために治療費も高くなっている。また、最貧困層の半数近くが、貧困層でも約 30%の人が、医療機関へのアクセスに 6km 以上の移動が必要と回答しており、貧困層は、より医療機関へのアクセスが困難であることがわかる。

一方、図表 48 は、所得別の医療機関の利用状況を表しているが、全ての層が、民間の医療機関を利用する傾向にある。これは、貧困層及び最貧困層も家族によりよい治療を受けさせたいという意識があると同時に、公的な医療機関の水準の低さを反映していると考えられる。しかし、UNDP によると、農村部の多くの民間医療機関は、適切な医療訓練を受けた医療従事者を配置しておらず、設備も不十分なため、治療期間が長く、結果的に民間の医療機関を利用することで医療費がかさむ傾向を指摘している。

図表 47 貧困層の疾病時の状況（2001 年）

Economic Status	Sick at the Time of Survey (%)	Number of Days in Current Sickness (Mean)	Treatment Expenses (Rs.)	Patients Travelling over 6 kms. (%)
Extremely Poor	65.1	94.9	1885	49.4
Poor	55.6	27.4	497	29.5

Source: NHDR/PIDE Survey 2001.

(注) 最貧困層：年間総所得（15, 350PKR）が食糧消費条件額（Food consumption requirement, 18, 497PKR）より大幅に低い世帯、貧困層：年間総所得（40, 566 PKR）が食糧消費条件額を十分に満たせるが、総消費条件額（Total consumption requirements, 41, 092 PKR）を満たしていない世帯、非貧困層：両条件を満たしている世帯

(出所) UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan, p. 69

図表 48 所得別医療機関の利用状況（2001 年）（単位：％）

Economic Status	Distribution of sick persons by type of Health Facility Used						ROW TOTAL
	Private Medical Practitioner (Allopathic)	Govt. Hospital	Govt. Dispensary	Compounder or Chemist	Community Health Worker	Homeopath, Hakim and others	
Extremely Poor	57.8	12.0	7.2	13.3	1.2	8.4	100
Poor	45.9	16.3	8.2	22.4	0.9	6.1	100
Non-Poor	64.4	8.9	8.9	15.6	—	2.2	100
Average	54.0	13.3	8.0	17.7	0.4	5.6	100

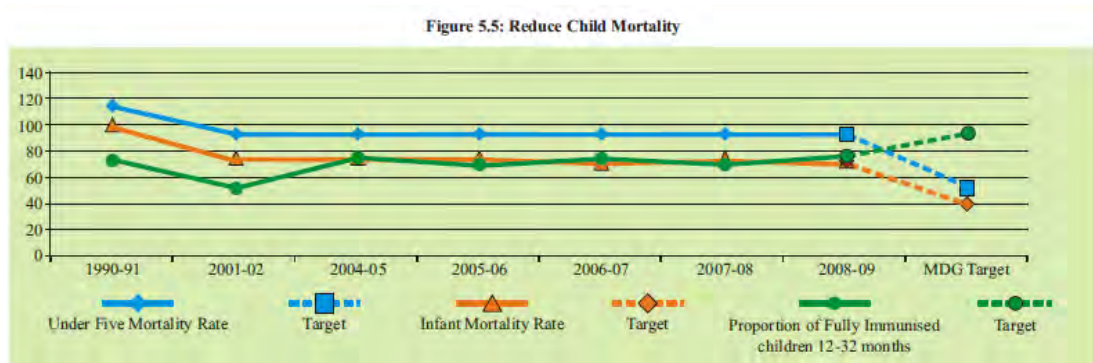
Source: NHDR/PIDE Survey 2001.

(注) 最貧困層：年間総所得（15, 350PKR）が食糧消費条件額（Food consumption requirement, 18, 497PKR）より大幅に低い世帯、貧困層：年間総所得（40, 566 PKR）が食糧消費条件額を十分に満たせるが、総消費条件額（Total consumption requirements, 41, 092 PKR）を満たしていない世帯、非貧困層：両条件を満たしている世帯

(出所) UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan, p. 70

乳児や幼児の保健アクセスも十分ではない。図表 49 では、パキスタンにおける 1000 人あたりの乳幼児に対する死亡者数の推移を表している。5 歳児以下の死亡者数は、MDG 目標設定後の 2001/02 年以降横ばいで、改善が見られていない。図表 50 の 5 歳未満の低体重児の割合についても、2001/02 年から 2004/05 年に 3.5% 改善されて以降変化はなく、38% に留まっている。

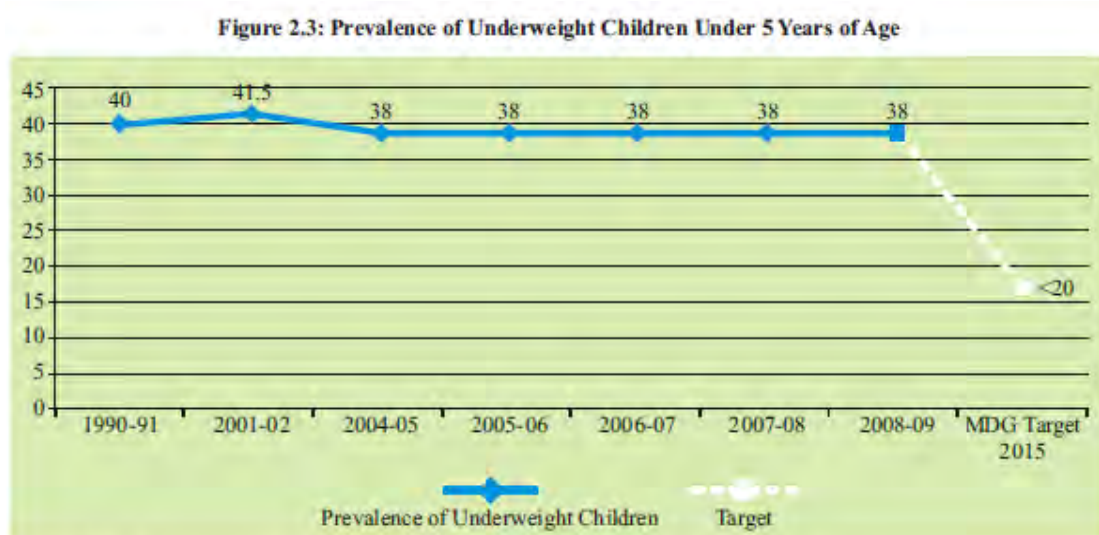
図表 49 1,000 人あたりの乳幼児に対する死亡者数の推移 (1990-2009 年) (単位 : 人)



Source: Table 5

(出所) CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 63

図表 50 5 歳未満の低体重児の割合の推移 (1990-2009 年) (単位 : %)



Source: Table 2

(出所) CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 25

図表 51 は、地域別の乳幼児の予防接種普及率と下痢発生率の推移を表している。パキスタン全体では、2004/05 年から 2008/09 年にかけて予防接種率が若干改善しているものの、地域別では、パンジャブ州を除いて、両項目とも低下している。2004/05 年から現在までの全ての政府で、新生児向けの予防接種普及を推進しているがこのような結果に終わっている⁶⁰。

⁶⁰ CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 57

図表 51 地域別乳幼児の予防接種普及率と下痢発生率の推移（2004/05-2008/09 年）（単位：％）

Table 5.1: Child Health Indicators (%)

	Full Immunization Coverage		Measles Immunization Coverage		Diarrhea Incidence	
	2004-05	2008-09	2004-05	2008-09	2004-05	2008-09
Total	77	78	78	79	16	10
Punjab	84	85	85	86	15	10
Sindh	73	69	73	70	18	12
Khyber Pakhtunkhwa	76	73	77	75	15	10
Balochistan	62	43	62	44	13	6

Source: Pakistan Social and Living Standard Measurement Survey 2004-05 and 2008-09.

（出所）CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 56

(2) 就業分野と貧困

図表 52 は、所得別の主な労働者の職業を表しているが、パキスタン全体の労働者の 57.5%にあたる最貧困層に属する人口は、未熟練労働者となっている。都市部・農村部別に見ると、農村部では 53.6%が未熟練労働者、30.4%が農業従事者と最貧困層に属する 84%がこの 2 つの職に就いていることがわかる。このことから未熟練労働もしくは農業に従事する労働者ほど、貧困率が高いことがわかる⁶¹。

⁶¹ UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan, p. 59

図表 52 所得別主な労働者の職業（2001年）（単位：％）

Table 8 The Occupation of the Major Earners				
Average of Sample	Extremely Poor	Poor	Non-Poor	Total
Pakistan				
Professional workers	2.4	2.4	4.8	2.8
Clerical & Service workers	6.4	12.6	13.9	10.4
Agriculture/Livestock workers	21.8	24.9	28.5	24.2
Business/salesmen/milkmen	3.4	6.5	13.6	6.4
Skilled workers	8.0	12.3	14.5	11.0
Unskilled workers	57.5	40.2	23.9	44.3
Miscellaneous	0.6	1.2	0.6	0.9
Urban				
Professional workers	1.7	0.7	1.4	1.2
Clerical & Service workers	14.2	20.8	15.7	17.6
Agriculture/Livestock workers	1.7	0.7	1.4	1.2
Business/salesmen/milkmen	5.0	6.1	11.4	6.3
Skilled workers	9.6	16.4	31.4	15.4
Unskilled workers	66.7	55.3	38.6	57.9
Miscellaneous	1.3	—	—	0.5
Rural				
Professional workers	2.7	3.1	5.8	3.4
Clerical & Service workers	3.0	9.0	13.5	7.6
Agriculture/Livestock workers	30.4	35.4	35.8	33.6
Business/salesmen/milkmen	2.7	6.7	14.2	6.5
Skilled workers	7.3	10.5	10.0	9.2
Unskilled workers	53.6	33.7	20.0	38.0
Miscellaneous	0.4	1.6	0.8	1.0

Source: NHDR/PIDE Survey 2001.

(注) 最貧困層：年間総所得（15, 350PKR）が食糧消費条件額（Food consumption requirement, 18, 497PKR）より大幅に低い世帯、貧困層：年間総所得（40, 566 PKR）が食糧消費条件額を十分に満たせるが、総消費条件額（Total consumption requirements, 41, 092 PKR）を満たしていない世帯、非貧困層：両条件を満たしている世帯

(出所) UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan, p. 60

この傾向は、図表 53 の産業別の平均賃金にも示した通りで、農業での平均所得が相対的に低いことが示されている。次いで小売業、レストラン・ホテル業などの賃金が、男女ともに低い傾向が示されている。

図表 53 主要産業別平均賃金（2009/10, 2010/11 年）（単位：PKR/月）

Table-30
AVERAGE MONTHLY WAGES OF EMPLOYEES BY MAJOR INDUSTRY DIVISIONS

Major Industry Divisions	2009-10			2010-11		
	Total	Male	Female	Total	Male	Female
Total	8623	9017	5821	9715	10211	6422
Agriculture, forestry, hunting and fishing	4968	5730	3358	5649	6673	3577
Mining & quarrying	6976	6963	9600	12000	12000	-
Manufacturing	7534	8080	3437	8472	9085	3600
Electricity, gas and water	14548	14398	25325	17235	17242	16896
Construction	7389	7397	6207	8272	8270	8869
Wholesale & retail trade and restaurants & hotels	6609	6660	4013	6862	6864	6684
Transport, storage and communication	9396	9328	13685	10378	10356	13838
Financing, insurance, real estate and business services	18174	17897	31240	20695	20705	20269
Community, social and personal services	10984	11771	7761	13120	14450	8912

（出所） Statistics Division, Government of Pakistan (2011) Labour Force Survey 2010-11, p. 37

(3) 土地所有と貧困

また、貧困層の土地所有面積は総じて小さく、図表 54 に示した通り、非貧困層が約 6 エーカーの土地を所有しているのに対して、最貧困層は約 1 エーカーとなっている。

図表 54 所得別土地保有状況（2001 年）（単位：エーカー）

Table 11 Land Owned and Operated by Economic Status (Rural Farm Households)				
	(in acres)			
	Extremely Poor	Poor	Non-Poor	Total
Land owned	1.07	2.06	6.09	2.72
Land rented out	0.11	0.37	1.19	0.49
Land rented-in on share-crop basis	1.85	0.99	0.92	1.22
Land rented-in on cash rent basis	0.04	0.14	0.71	0.25
Any other land	0.08	0.26	0.11	0.17
Total land	2.93	3.09	6.65	3.88

Note: There are non-farm households who own land and because of that total land exceeds the land owned.

Source: NHDR/PIDE Survey 2001.

（注）最貧困層：年間総所得（15, 350PKR）が食糧消費条件額（Food consumption requirement, 18, 497PKR）より大幅に低い世帯、貧困層：年間総所得（40, 566 PKR）が食糧消費条件額を十分に満たせるが、総消費条件額（Total consumption requirements, 41, 092 PKR）を満たしていない世帯、非貧困層：両条件を満たしている世帯

（出所） UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan, p. 61

図表 55 は、パキスタンにおける所得別土地の売買状況を表している。最貧困層の 76.5%、貧困層の 38.9%が、2001 年以前 10 年の間に、保有地を売却している。売却の理由は、結

婚資金、医療費といった急な出費の必要性が挙げられている。

図表 55 所得別土地の売買状況（2001年）（単位：％）

	Extremely Poor	Poor	Non-Poor	Total
Made any plan to buy land (Proportion)	1.7	4.6	7.5	3.9
If yes, reasons for not buying				
Too expensive	90.9	93.1	83.3	89.7
Land not available	9.1	6.9	—	5.2
Did you sell any land (Proportion)	2.5	5.0	10.4	4.9
Acres of land sold	2.0	4.3	13.6	7.03
Reasons for selling land				
Urgent consumption need	46.2	23.5	29.2	29.6
Marriage expenditure	30.8	26.5	12.5	22.5
Health expenditure	23.1	17.6	4.2	14.1
To purchase other property	—	11.8	20.8	12.7
To return debt	—	17.6	25.0	16.9
To establish business	—	2.9	8.3	4.2
Sold any land during last few years as well (Proportion)	76.5	38.9	42.3	48.1
Money received from land sale last year	1522	1458	6126	2261

Source: NHDR/PIDE Survey 2001.

(注) 最貧困層：年間総所得（15, 350PKR）が食糧消費条件額（Food consumption requirement, 18, 497PKR）より大幅に低い世帯、貧困層：年間総所得（40, 566 PKR）が食糧消費条件額を十分に満たせるが、総消費条件額（Total consumption requirements, 41, 092 PKR）を満たしていない世帯、非貧困層：両条件を満たしている世帯

(出所) UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan, p. 61

図表 56 は、貧困農民に対する、地主による融資及び労働搾取の状況を表している。最貧困層は、非貧困層と比べて、半分以上の賃金で労働に従事していることがわかる。また、貧困層の 50%以上、及び貧困層の約 30%が地主から融資を受けており、その結果、各層の 57.4%、38.3%が、賃金なしで農労働に従事している。

図表 56 貧困農民に対する地主による融資及び労働搾取状況（2001年）（単位：％）

	Extremely Poor	Poor	Non-Poor	Total
Loan from landlord (%)	50.8	29.4	11.7	34.4
Work for landlord against wages (%)	14.0	24.3	5.1	16.9
Daily wages (Rupees)	28.0	43.6	60.0	40.0
Work for landlord without wages (%)	57.4	38.5	25.4	43.5

Source: NHDR/PIDE Survey 2001.

(注) 最貧困層：年間総所得（15, 350PKR）が食糧消費条件額（Food consumption requirement, 18, 497PKR）より大幅に低い世帯、貧困層：年間総所得（40, 566 PKR）が食糧消費条件額を十分に満たせるが、総消費条件額（Total consumption requirements, 41, 092 PKR）を満たしていない世帯、非貧困層：両条件を満たしている世帯

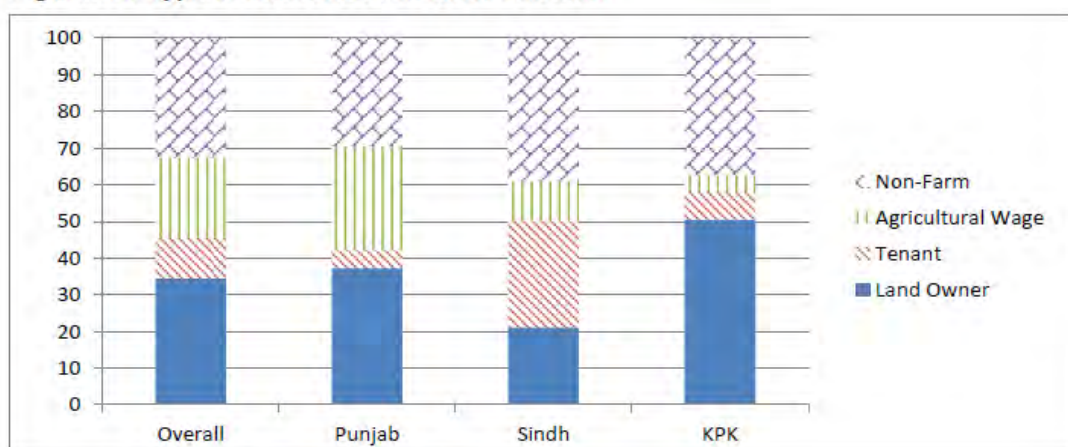
(出所) UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan, p. 63

図表 57 は農村部における世帯タイプを表している。これによると 3 州全体では 34%の世帯が土地を所有し農業に従事しており、11%が土地なし農家、22%が農業関連の賃金労働に従事していた。残りの 33%の世帯は非農業セクターに従事していた⁶²。

⁶² (出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics' p.13

図表 57 農村部における世帯のタイプ

Figure 3.1: Type of Households in Rural Pakistan



Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012)

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics' p.13

<http://pssp.ifpri.info/files/2011/12/008-Pakistan-Rural-Household-Panel-Survey-2012-Round-1-Household-Characteristics.pdf> (2013/01/08 アクセス)

図表 58 は農村部における土地所有の割合を表している。これによると 59.7% (パンジャブ州 58.3%、シンド州 67.3%、カイバル・パクトゥンクワ州 59.7%) が土地を所有していない。土地を所有している家庭のうち 5 エーカー以上所有しているのは 19%のみであった⁶³。

図表 58 農村部の農地所有の割合 (単位 : %)

Table 3.1: Percentage Distribution of Household by Agricultural Land Ownership (%)

	Landless	Up to 1 acre	1 to 2 acres	2 to 5 acre	More than 5 acres
Punjab	58.3	12.8	11.9	9.3	7.8
Sindh	67.3	8.7	8.5	7.2	8.3
KPK	49.9	25.3	10.0	8.5	6.4
Overall	59.7	13.0	10.8	8.7	7.8

Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012).

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.14

<http://pssp.ifpri.info/files/2011/12/007-Pakistan-Rural-Household-Panel-Survey-2012-Round-1-Methodology-and-Community-Characteristics.pdf> (2013/01/08 アクセス)

⁶³ IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.13

(4) 都市部と農村部の貧困

図表 59 は、パキスタンの都市部と農村部における貧困率を示している。パキスタンでは都市部よりも農村部の方が貧困率、貧困ギャップ率、貧困の深度ともに高い。その理由は、前述の通り、農村部での主要産業である農業の平均賃金が低いことや、農業以外での就業機会が限られていること、またパキスタンで頻繁に起きている洪水などの自然災害の影響を受けやすいといった要因が挙げられる。また、都市と農村部の貧困率の差は 1998/98 年から 2005/06 年にかけて縮小する傾向は見られない。

図表 59 貧困率・貧困ギャップ率の推移 (2001/02-2005/06 年) (単位: %) (再掲)

Table 2.4: Trends in Poverty Indicators

Quintile	Headcount			Poverty Gap			Severity of poverty		
	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan	Urban	Rural	Pakistan
1998-99	20.9	34.7	30.6	4.3	7.6	6.4	1.3	2.4	2.0
2001-02	22.7	39.3	34.5	4.6	8.0	7.0	1.4	2.4	2.1
2004-05	14.9	28.1	23.9	2.9	5.6	4.8	0.8	1.8	1.5
2005-06	13.0	27.0	22.3	2.1	5.0	4.0	0.5	1.4	1.1

Source: PSLM (various issues)

(出所) CPRSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010, p. 20

VI. 貧困に影響を与えている国内外の要因

1. 特に貧困層・社会的弱者に影響を与えている短期的・長期的要因、リスクとショック

(1) 洪水・自然災害

パキスタンは地震や洪水をはじめとする自然災害が多く発生する国である（図表 60 参照）。特に洪水による被害は甚大で、南アジア 5 カ国の中でも最も洪水による被害を受ける人口が多い国とされている。実際、1950 年、1973 年、1976 年、1988 年、1992 年、1997 年と立て続けに大きな洪水の被害があり、特に 2010 年の洪水は世界の自然災害と比較してもその被害と影響が大きかった（図表 61 参照）。

図表 60 パキスタンで頻繁に起こる自然災害

No	Disaster	People Homeless	Deaths	Injured	People Affected	Total Affected	Total Loss (000\$)	%	Ranks
1.	Wind Storm	22,597	11,654	1,183	1,057,000	1,080,780	4,100	2	4
2.	Earthquake	2,853,585	142,812	88,096	1,294,429	4,236,110	5,019,255	8	2
3.	Flood	8,927,685	11,702	1,262	38,669,447	47,598,394	2,746,030	86	1
4.	Land Slides	3,100	384	114	200	3,414	-	0	5
5.	Drought	-	223	-	2,269,300	2,269,300	247,000	4	3
	Total	11,806,967	166,775	90,655	43,290,376	55,187,998	8,016,385		

Table 1.1

Source: Internal Study NDMA & WFP

(出所) NDMA (2011) 'Annual Report 2011' p.2

[http://www.ndma.gov.pk/Documents/Annual % 20Report/NDMA % 20Annual % 20Report % 202010.pdf](http://www.ndma.gov.pk/Documents/Annual%20Report/NDMA%20Annual%20Report%202010.pdf)

(2013/01/07 アクセス)

図表 61 2010 年の洪水と主な世界での自然災害の比較

Table 2.2: Comparison of Flood 2010 with other Major Disasters in the World

	Pakistan Floods 2010	Pakistan Earthquake 2005	Katrina Cyclone USA 2005	Nargis Cyclone Myanmar 2008	Indian Ocean Tsunami 2004	Haiti Earthquake 2010
Population Affected (No.)	20,251,550	3,500,000	500,000	2,420,000	2,273,723	3,200,000
Area affected (Sq Km)	132,000	30,000	N.A.	23,500	N.A.	13,226
Deaths (No.)	1,985	73,338	1,836	84,537	238,000	230,000
Injured (No.)	2,946	128,309	N.A.	19,359	125,000	300,000
House Hold Damaged (No.)	1,894,530	600,152	200,000	450,000	N.A.	250,000

Source: Internal Study by DRR Wing, NDMA

(出所) NDMA (2011) 'Annual Report 2011' p.13

2010 年のパキスタン建国史上最大規模の洪水によりおよそ 2 千万人もが被害を受けた後も、2011 年、2012 年と度重なる洪水被害が貧困層に大きな影響を与えた。図表 62 は、2010

年の洪水によるセクター別の被害とその費用を表している。これによると、この洪水による被害は 8,550 億PKRと推測されており、これは 2009/10 年のGDPの 5.8%を占めていた。セクター別に見ると特に農業セクターへの被害が甚大であり費用は 50 億 4,500 万米ドルと予測されている⁶⁴。

図表 62 2010 年の洪水によるセクター別の被害とその被害額

S.No.	Name of Sectors	Damages	Cost (US \$ Millions)
1.	Housing	1.6 Million	1,588
2.	Education Facilities	10,436 No	311
3.	Health Facilities	515 No	50
4.	Communication	25,088 Km	1,328
5.	Water & Sanitation Schemes	6,841	109
6.	Energy	92 Plants, 32 Grids, 3000 km line	309
7.	Irrigation Channels	Irrigation Channels	278
8.	Agriculture Land & Livestock	2.1 m Hector Land, 1.5 m livestock	5,045
9.	Private Sector	146 industries, 0.1 m Hotels / Shops	282
10.	Financial Sector	90 Banks, 10 ATMs	674
11.	Governance & Environment	1457 Structures	82

Source: Pakistan Flood 2010, DNA Report of WB
total cost of damage: US \$ 10.056 billions

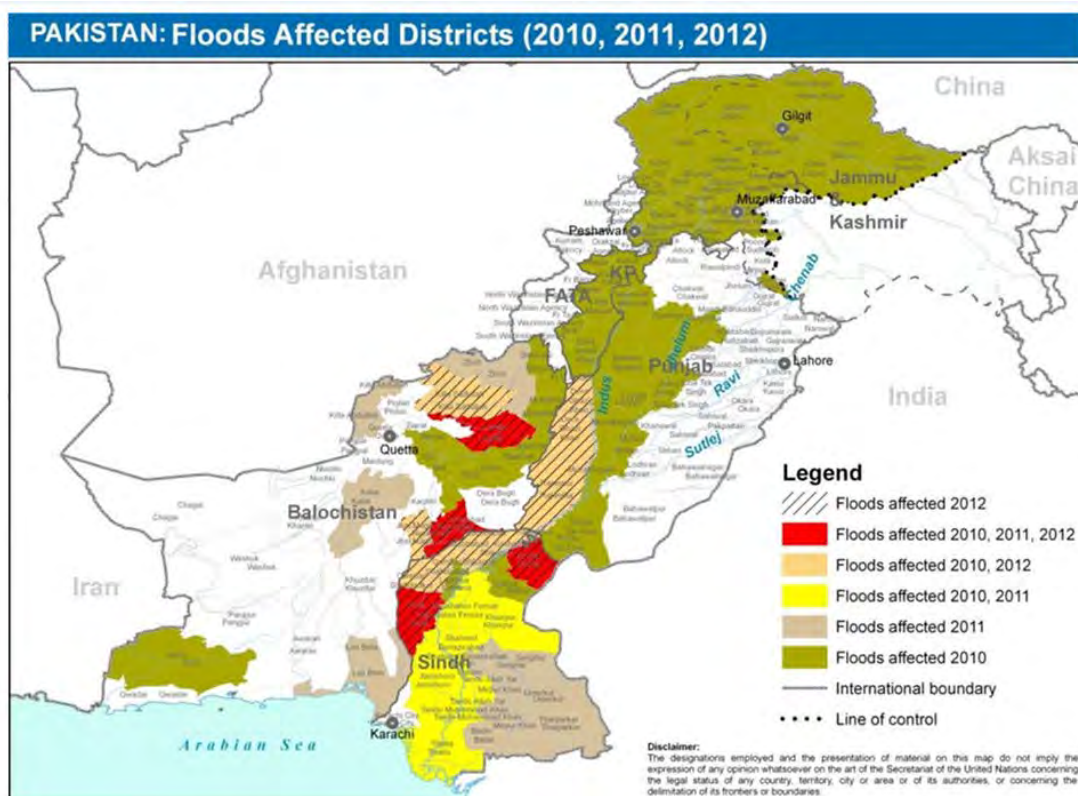
(出所) NDMA (2011) 'Annual Report 2011' p.14

地図 8 は、パキスタンにおける近年の洪水被害地域を示しているが、バローチスターン州やシンド州では、毎年の洪水被害を受けている。多くの洪水避難民は、農村部の農民であり農業分野での被害が甚大で、特に家計の重要な資産である家畜を失うことによる所得減少に直面している。また、最も被害が大きな地域では、洪水による道路や橋の損傷により、援助の配給にも影響が出ている⁶⁵。

⁶⁴ NDMA (2011) 'Annual Report 2011' p.15

⁶⁵ Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, Special Section Pakistan: Flood Impact Assessment, pp. 247-248
http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_12/SplSection.pdf (2012/10/30 アクセス)

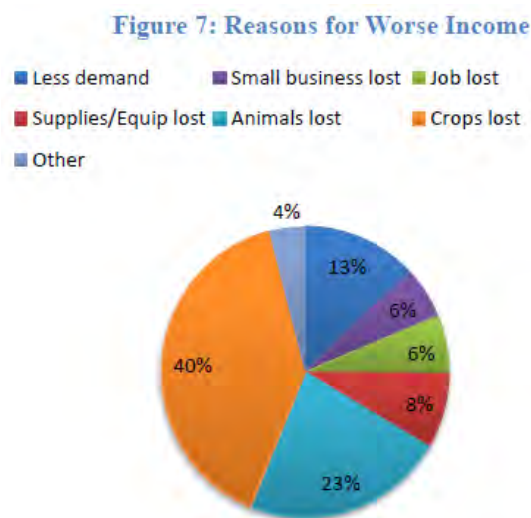
地図 8 パキスタンにおける洪水被害地域 (2010, 2011, 2012 年)



(出所) UNOCHA (2012) Donor Brief Presentation, 2012 Monsoon Floods, p. 4,

<http://pakresponse.info/LinkClick.aspx?fileticket=rk898BHiFUQ%3d&tabid=41&mid=597#326,4>, スライド 4 (2012/11/07 アクセス)

図表 63 洪水による所得減少の要因



(出所) WHO and Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health (2011) "Pakistan Floods 2010 Impact Assessment", p.16.

http://floods2010.pakresponse.info/LinkClick.aspx?fileticket=JoeGLfkJvcg_%3d&tabid=86&mid=548

(2012/11/17 アクセス)

2010年の洪水の3ヶ月後の家計調査の結果によると、約66%の世帯が食料や医薬品、燃料などを購入する資金が不足していると回答しており、特にその影響は農村部(69.5%、都市部は33.3%)で大きくなっている。また農村・都市部にかかわらず、88.1%が洪水による所得減少の影響を受け、そのうちの大半が穀物と家畜の損失によるもの(63%)と回答している。また、洪水前の平均所得が1万900PKR(約131米ドル)、5,000PKR以下の所得の世帯割合は全体の23%であったのに対し、洪水後の平均所得は2,600PKR(約31米ドル)、5,000PKR以下の所得の世帯割合は、75%となり、洪水の結果、所得が約75%減少していることが示されている⁶⁶。

図表64は、近年の主要農作物の収穫高を表している。洪水によって、カリフ(秋収穫)の作物の約4分の1は被害を受けた。2009/10年には、綿花以外の農作物が前年比で減少しており、2010/2011年も前年比で綿花、米、小麦で減少が見込まれており、特に米は30%以上の減少が見込まれている⁶⁷。

⁶⁶ WHO and Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health (2011) "Pakistan Floods 2010 Impact Assessment", p.5.

<http://floods2010.pakresponse.info/LinkClick.aspx?fileticket=JoeGLfkJvcg%3d&tabid=86&mid=548>

(2012/11/17 アクセス)

⁶⁷ World Bank (2011) Pakistan Economic Update, pp. 2-3,

図表 64 主要農作物の収穫高（2009/10, 2010/11 年）

Table 1: Performance of Major Crops						
Production ('000 tons; cotton '000 bales of 170.09 kg each)						
	2009/10	% over 2008/09	2010/11 ^T	% over 2009/10	2010/11 ^P	% over 2009/10
Cotton	12,705	7.7	14,010	10.3	11,556	-9.0
Sugarcane	49,373	-1.3	53,665	8.7	53,740	8.8
Rice	6,883	-1.0	6,048	-12.1	4,700	-31.7
Wheat	23,864	-0.7	25,000	4.8	23,500 - 24,500	-1.5
Gram	571	-22.9	619	8.4	623.3	9.2
Maize	3,477	-2.0	3,452	-0.7	3,501	0.7

Source: MINFAL
Note: T: Target, P: Highly provisional estimates

（出所） World Bank (2011) Pakistan Economic Update, p. 2,

http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2012/08/14/000333037_20120814000342/Rendered/PDF/718430WP00PUBL0nomicupdateJune2011.pdf（2012/11/07 アクセス）

このような洪水をはじめとする自然災害を予防・対応するために 2006 年に国家災害管理庁（National Disaster Management Agency : NDMA）が設立された。また地州レベルでも地方災害管理庁（Provisional Disaster Management Authorities : PDMAs）が各州（Punjab, Sindh, Balochistan, AJK）に設立された。2010 年の洪水の際には、NDMA がコーディネーターの役割を果たし、食料、シェルター、保健、水・衛生（Water Sanitation and Hygiene: WASH）の 4 セクターにおいて重点的な支援を行った。Base Chaklala を Main Operating Base (MOB)、その他 9 つ（Gilgit, Quetta, Subb 意、Karachi, Sukkur, Hyderabad, Lahore, Multan, Peshawar）の Base を Forward Operating Bases (FOBs) と位置づけ、ここから各県へ物資の供給や保健サービスの提供を行い、災害被害でもっとも脆弱な貧困層への支援が実施されている。

図表 65 洪水被害への支援内訳

Food	
Food items (Tons)	.41 m
Meal Ready to Eat (No)	10.76 m
Shelter	
Tents	489,177
Tarpaulin	931,317
Blankets	1,918,483
Plastic mats	129,537
Mosquito nets	290,262
Kitchen sets	412,401
Health	
Medicines (Tons)	428
Hygiene kits	160,470
Water purification tablets	250 m
Medical consultations	20.11 m
WASH	
Water purification kits/buckets	11,341
Water purification plants/units	3,896
De-watering pumps	45

Source: NDMA

(出所) NDMA (2011) 'Annual Report 2011' p.18

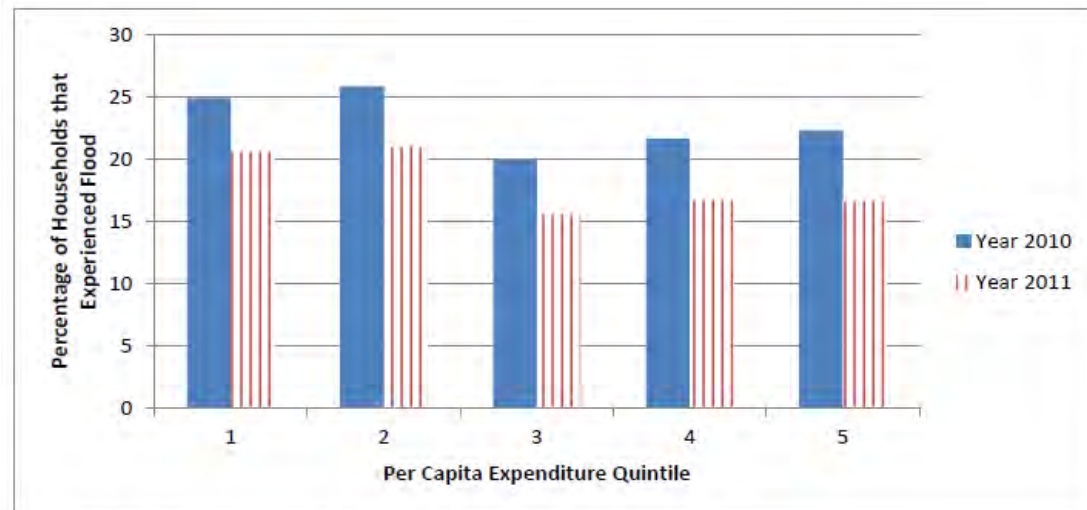
また、International Food Policy Research Institute (IFPRI) ではパキスタンの農村部の家計調査 (Rural Household Panel Survey : RHPS) を行っており⁶⁸、その中で2010年と2011年に起きた洪水の影響を受けた世帯についても調査を行っている。前述の通り2010年の洪水では2,000万人以上の人々が被害に遭い、その被害額は8,850億PKRと推測されている。2011年の洪水はこれに比べると規模は小さいものの960万人以上が被害を受け被害額は2,240億PKRと推測されている。その被害は農村部でも甚大であった。IFPRI (2012)によると農村部世帯のうち、2010年には23%の2011年には18%のが洪水の被害に遭っていた。特にその被害はパンジャブ州に比べシンド州とカイバル・パクトゥンクワ州の方が甚大であり、パンジャブ州ではわずか8%の家庭が被害に遭ったのに対し、2010年の洪水ではシンド州では51%、カイバル・パクトゥンクワ州では56%の世帯が被害に遭っていた。一方で2011年の洪水ではシンド州の被害は63%と大きかったのに対し、パンジャブ州は4%、カイバル・パクトゥンクワ州は0%であった。また、被害の大きさにもかかわらず、洪水による死亡者は少なく2010年には0人、2011年には4人のみが報告されていた⁶⁹。

図表 66 は、五分位階層別2010年と2011年の洪水の影響を受けた家庭の割合を表している。これによると、所得の低い2階層の方が上位3階層よりも被害が大きかったことがわかる。

⁶⁸ RHPS では、パキスタンの3州 (パンジャブ、シンド、カイバル・パクトゥンクワ) の19県内にある76の村 (mouzas) を対象に調査を行っている。パンジャブからは48、シンドからは20、カイバル・パクトゥンクワからは8の村が調査の対象となった。

⁶⁹ IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics' p.52

図表 66 2010年・2011年の洪水を経験した家庭の割合



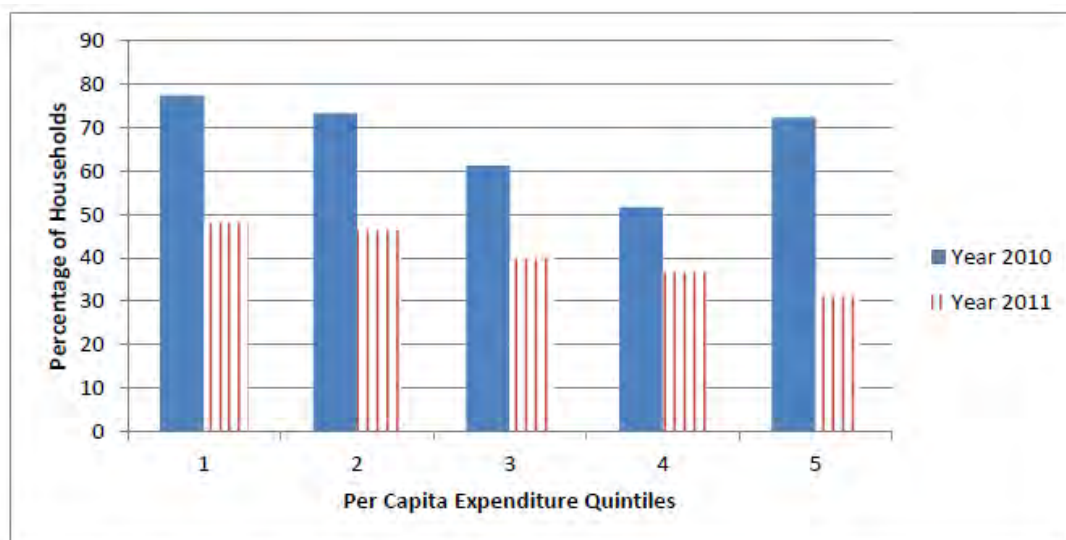
Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012)

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics' p.53

洪水の被害に遭った多くの村では一時的に村を離れなければならない世帯が増加した。洪水によって多くの家屋が被害にあった他、多くの地域で水や食料へのアクセスが困難となった。特に、低消費階層の人々がより村を離れざるを得ない傾向が見られた。村を移動した世帯の率は、第5階層で2010年に72%、2011年が31%であったのに対し、2低階層グループでは2010年77%、2011年が48%であった。地域別に見ると、2010年はシンド州(82%)とカイバル・パクトウンクワ州(60%)がパンジャブ州(42%)に比べて村を離れる世帯の割合が大きかった。また2011年はカイバル・パクトウンクワ州では洪水による被害が少なかったため村を離れた世帯はなく、シンド州では41%、パンジャブ州では39%の世帯が村を移住している⁷⁰。

⁷⁰ IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics' p.55

図表 67 2010年・2011年の洪水後村を去った世帯の割合（単位：％）



Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012)

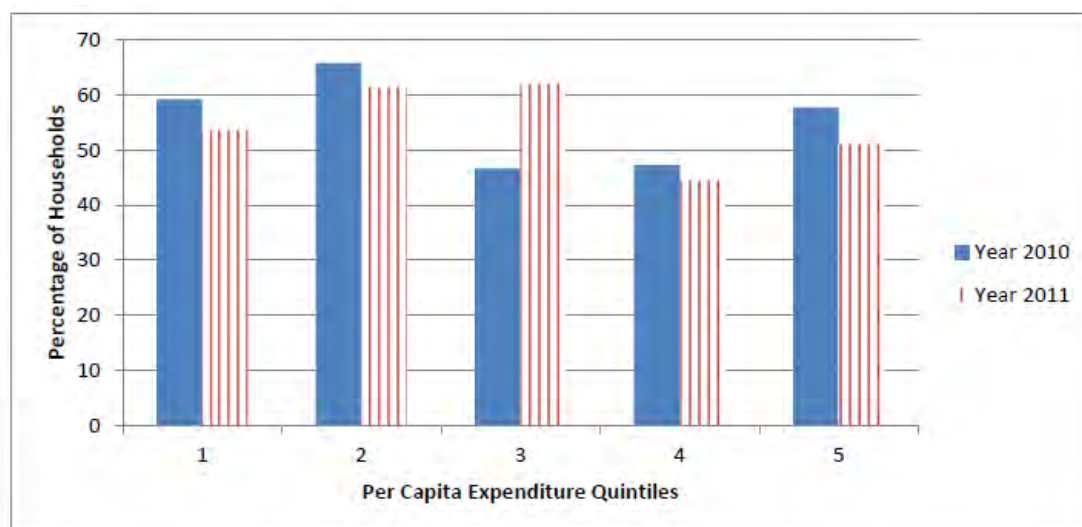
Note: percentage calculated out of the households that experienced the flood.

（出所）IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics' p.55

洪水後、食料や水へのアクセスに問題を抱える世帯は増加した。2010年には55%、2011年には54%の農村世帯において食料へのアクセスに何らかの問題があった。5分階層別に見ると、低階層の世帯方が上位階層に比べて問題を抱える割合が大きい傾向があった⁷¹。

⁷¹ IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics' p.56

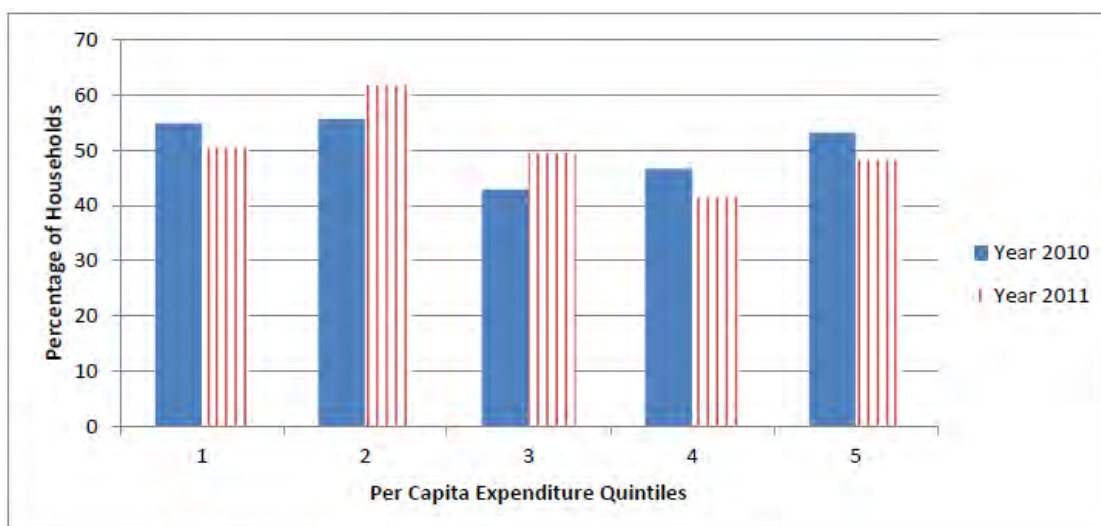
図表 68 2010年・2011年の洪水後食料へのアクセスに問題があった世帯の割合
(単位：%)



Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012)
Note: percentage calculated out of the households that experienced the flood.

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics'
p.56

図表 69 2010年・2011年の洪水後に水へのアクセスに問題があった家庭の割合
(単位：%)



Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012)
Note: percentage calculated out of the households that experienced the flood.

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics'
p.57

(2) 不平等

V.2(3)で説明の通り、土地を保有する貧困層は少なく、耕作面積を増やしたり、生産性を上げたりすることができない。そのため、収入を増加させる機会が少なく、貧困から抜け出せないという現状があると考えられる。また、前述の通り、パキスタンの都市部と農村部では、雇用機会に差がある。農村部では失業率が高く、収入を得る機会が都市部と比べて少ないため、農村部では貧困が根強く残ると考えられる。

図表 70 は 2001 年の土地所有と貧困の関係について、貧困率・貧困ギャップ・貧困の深度の 3 点についてまとめたものである。これによると、土地を所有していない世帯の貧困率が 54.55%（農村部 54.89%、都市部 48.79%）と最も高く、次いで非農業世帯における貧困率が 38.38%（農村部 42.93%、都市部 25.69%）であった。一方で土地所有面積が広くなっていくにつれて貧困率は減少し、1 ヘクタール以下の土地所有をしている世帯の貧困率は 31.83%（農村部 32.08%、都市部 24.84%）と高いものの、1 ヘクタール以上を所有している世帯の貧困率は 0%であった。貧困ギャップと貧困の深度についても同様の傾向が見られた⁷²。

⁷² PIDE (xxxx) 'Landless and rural poverty in Pakistan' p.6

図表 70 土地所有と貧困の関係 (2001 年)

Table 3: Head Count By land holding using official poverty line

Pakistan	Urban	Rural	Total
Landless	48.79	54.89	54.55
Under 1 hectare	24.84	32.08	31.83
1 to under 2 hectares	.00	.00	.00
2 to under 3 hectares	.00	.00	.00
5 & above hectares	.00	.00	.00
Non agriculture	25.69	47.76	38.38
Total	26.04	42.93	38.04
Poverty gap by land holdings			
Pakistan	Urban	Rural	Total
Landless	10.47	12.15	12.05
Under 1 hectare	4.83	6.03	5.99
1 to under 2 hectares	.00	.00	.00
2 to under 3 hectares	.00	.00	.00
5 & above hectares	.00	.00	.00
Non agriculture	5.17	10.58	8.28
Total	5.25	9.13	8.01
Severity of poverty by land holdings			
Pakistan	Urban	Rural	Total
Landless	3.06	3.83	3.79
Under 1 hectare	1.44	1.70	1.70
1 to under 2 hectares	.00	1.62	1.52
2 to under 3 hectares	.00	.00	.00
5 & above hectares		.00	.00
Non agriculture	1.58	3.41	2.63
Total	1.60	2.84	2.48

Source: Authors' computation from primary data of HIES 2001-02

(出所) PIDE (2004) 'Landless and rural poverty in Pakistan' p.6

[http://www.pide.org.pk/pdf/psde20AGM/Landlessness % 20and % 20Rural % 20Poverty % 20in % 20Pakistan.pdf](http://www.pide.org.pk/pdf/psde20AGM/Landlessness%20and%20Rural%20Poverty%20in%20Pakistan.pdf) (2013/01/11 アクセス)

VII. 重点支援分野と貧困の関わり

1. 経済基盤の改善

パキスタンは、貧困削減を達成するための経済成長として、Vision 2030 及び Framework for Economic Growth 戦略 において、年間の GDP 達成率を、2030 年まで少なくとも 6-7% 確保することを明示している。我が国は、事業展開計画にて、インフラ（電力、交通）や産業育成、特に農業の発展、テロ・紛争リスクへの支援を、重点支援セクターとしている。

(1) 電力へのアクセス

図表 71 に示された通り、パキスタンでの電力へのアクセス率は、2005 年に約 53% (7,400 万人)、2009 年では 62.4% となっている⁷³。州別では、バローチスタン州における電力消費量が突出して少ない一方、同州では農業分野で多く電力を消費している（図表 72）。

図表 71 電気へのアクセス率（2005 年）

TABLE 10: ACCESS TO ELECTRICITY RATES AND POPULATION FIGURES

[World Development Indicators Database, September 2005]

	Household electrification rates (%)	Total Population (2005 est., millions)	Population with electricity (millions)	Population without electricity (millions)
Central Asia				
Kazakhstan	100%	14.8	14.8	0.0
Kyrgyzstan	100%	5.3	5.3	0.0
Tajikistan	97%	6.5	6.3	0.2
Turkmenistan	100%	4.8	4.8	0.0
Uzbekistan	100%	26.6	26.6	0.0
Central Asia total		58	57.8 (99.7%)	0.2 (0.3%)
South Asia				
Afghanistan	2.0	29.9	0.6	29.3
Bangladesh	26.3	141.8	37.3	104.5
Bhutan	30.0	2.2	0.7	1.5
India	44.4	1103.4	489.9	613.5
Maldives	100.0	0.3	0.3	0.0
Nepal	25.9	27.1	7.0	20.1
Pakistan	53.0	157.9	83.7	74.2
Sri Lanka	65.3	20.7	13.6	7.1
South Asia total		1483.3	633.0 (40%)	850.3 (60%)

(出所) USAID (2007) Energy Sector Assessment for USAID/Pakistan, p. 12,

<http://www1.usaid.gov/pk/downloads/eg/PEDP.pdf> (2012/11/07 アクセス)

⁷³ WB Website (b) <http://data.worldbank.org/indicator/EG.ELC.ACCS.ZS> (2012/11/07 アクセス)

図表 72 州別電力消費量

TABLE 11: PROVINCE-WIDE ELECTRICITY CONSUMPTION
(IN GWH OR MILLIONS OF KWH) BY ECONOMIC GROUP

Consumer	Punjab*	Sindh	NWFP**	Balochistan	KESC	Total	%
Domestic	16664	1858	5081	378	3508	27489	44.9
Commercial	2483	269	361	81	888	4082	6.7
Industrial	13169	1027	1276	95	3023	18590	30.3
Agriculture	3054	587	444	2840	66	6991	11.4
Public Lights	146	61	17	4	78	306	0.5
Bulk Supply	1319	192	436	93	694	2734	4.5
Others	862	8	14	0	159	1043	1.7
Total	37697	4002	7629	3491	8416	61235	100
% of Total	61.56	6.54	12.46	5.70	13.74	100	

* Includes Islamabad Capital Territory

** Includes FATA

(出所) USAID (2007) Energy Sector Assessment for USAID/Pakistan, p. 13

バローチスターン州の貧困率は、前述の通り突出して高く、貧困率と電力アクセスや消費量との正比例の関係が示された。

図表 73 と図表 31 は、地域別の 2008/09 年の世帯における照明と料理の熱源を表している。これによると、照明についてはパキスタン全体では 90.73%の世帯において、照明は電力により供給されており、その他は代替として 8.25%がガス・オイル、0.26%がろうそくによって供給されていた。地域別に見ると都市部では 97%の家庭が電力によって照明が供給されている。一方で、農村部では地域によっては電力へのアクセスが不十分であり、例えばバローチスターン州農村部では 66.58%、シンド州農村部では 76.26%の世帯において電力により明かりが供給されており、それぞれ 25.72%、20.73%の世帯はガス・オイルに依存していた。

図表 73 世帯における照明の熱源 2008/09 年（単位：％）

Region & Province	Fuel Used for Lighting				Total
	Electricity	Gas/ Oil	Candle	Other	
PSLM 2008-09					
Pakistan	90.73	8.25	0.26	0.75	100.00
Punjab	93.01	6.56	0.16	0.27	100.00
Sindh	87.04	11.32	0.29	1.35	100.00
Khyber Pakhtunkhwa	93.59	5.79	0.07	0.56	100.00
Balochistan	73.17	20.62	1.89	4.32	100.00
Urban Areas	97.73	2.01	0.09	0.17	100.00
Punjab	97.74	2.03	0.07	0.15	100.00
Sindh	97.62	2.09	0.09	0.20	100.00
Khyber Pakhtunkhwa	98.36	1.40	0.13	0.12	100.00
Balochistan	97.43	1.85	0.40	0.32	100.00
Rural Areas	87.10	11.49	0.35	1.05	100.00
Punjab	90.78	8.69	0.21	0.33	100.00
Sindh	76.26	20.73	0.49	2.53	100.00
Khyber Pakhtunkhwa	92.56	6.74	0.05	0.65	100.00
Balochistan	66.58	25.72	2.30	5.40	100.00

（出所）FBS (2010) 'Compendium On Environment Statistics of Pakistan 2010' p.33

http://www.pbs.gov.pk/sites/default/files/crops_and_climates/compendium_environment/compendium_environment_2010.pdf （2013/01/07 アクセス）

(2) 交通インフラ

図表 74 では、農村部における交通アクセス状況を表しているが、2001/02 年では農村人口の 30%以上が舗装された道路へのアクセスがないことが示されている。州別に見ると、バローチスタン州は他州に比べて、舗装された道路へのアクセス率が非常に低く、人口の 27%にとどまっている。また、同州は最寄りのバス停留所までの距離も、平均で 30.9 キロメートルと他の州と比べて突出して遠いことが示されている。

図表 74 パキスタン農村部における交通アクセス状況（2001/02 年）

Table 2. Transport Access and Service Availability in Rural Pakistan.					
	Proportion of rural population with all-weather motorable access	Proportion of rural population with motorable access	Proportion of rural population with paved access	Proportion of rural population with bus/wagon stop within village	Average distance to bus/wagon stop for rural population without stops within village (km)
Punjab	91% (92%)	95% (95%)	76% (78%)	66% (66%)	3.8
Sindh	84% (85%)	86% (86%)	63% (63%)	83% (83%)	4.1
NWFP	80% (82%)	86% (88%)	68% (70%)	62% (63%)	5.7
Balochistan	72% (64%)	86% (84%)	27% (23%)	74% (69%)	30.9
Other regions	57% (58%)	84% (80%)	31% (29%)	69% (73%)	4.9
Pakistan	85% (81%)	91% (89%)	68% (62%)	69% (70%)	8.2

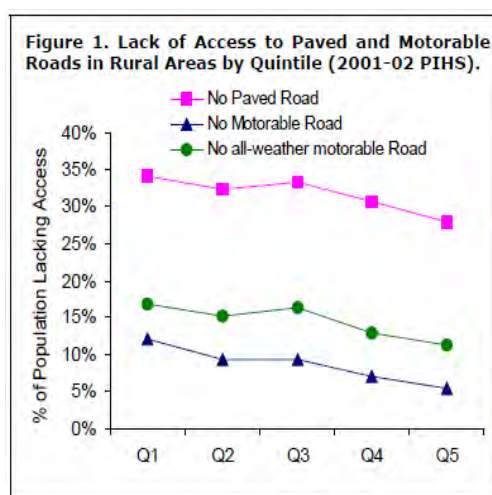
Source. PIHS 2001-02. Numbers in () show data for communities or villages instead of population.

(出所) WB (2005) Transport Notes, Rural Access and Mobility in Pakistan: A Policy Note, p. 3

<http://www4.worldbank.org/afr/ssatp/Resources/HTML/Gender-RG/Source%20%20documents/Issue%20and%20Strategy%20Papers/G&T%20Rationale/ISGT15%20%20Rural%20Access%20and%20MobilityPakistanWB%2005.pdf> (2012/10/30 アクセス)

図表 75 は、所得 5 分位階級別の農村部での道路へのアクセスがない人々の割合を表している。舗装道路、車で走行可能な道路、天候に関係なく車で走行可能な道路のいずれについても、第 5 分位階級のアクセス率が最も高く、第 1 分位階級のアクセスが最も低い結果が示されている。

図表 75 所得 5 分位階級別農村部における道路へのアクセスがない人口割合（2001/02 年）（単位：％）



(出所) WB (2005) Transport Notes, Rural Access and Mobility in Pakistan: A Policy Note, p. 4

図表 76 は農村部における道路の整備状況を表している。農村部につながる道路の内、全

体の 57.1% (パンジャブ州 52.2%、シンド州 75%、カイバル・パクトゥンクワ州 50.0%) が未舗装の道路となっている。一方でパンジャブ州では舗装道路 (soling/brick) が 34.8%、シンド州ではアスファルトとコンクリート舗装がそれぞれ 12.2%、またカイバル・パクトゥンクワ州ではアスファルトが 25.0% を占めていた。農村部以外の道路では、3 州ともアスファルト舗装が最も一般的であり 61.8% (パンジャブ州 70.8%、シンド州 55.0%、カイバル・パクトゥンクワ州 25.0%) を占めていた⁷⁴。

図表 76 農村部の道路の整備状況

Table 3.2: Structure of Internal and External Roads by Province (percent of villages)

	Structure of internal roads				Structure of external roads			
	Punjab	Sindh	KPK	Overall	Punjab	Sindh	KPK	Overall
Mud	52.2	75.0	50.0	57.1	16.7	30.0	12.5	19.7
Asphalt	2.2	12.5	25.0	7.1	70.8	55.0	25.0	61.8
Concrete	8.7	12.5	12.5	10.0	10.4	10.0	25.0	11.8
Gravel	2.2	-	-	1.4	0.0	5.0	37.5	5.3
Soling/brick	34.8	-	12.5	24.3	2.1	0.0	0.0	1.3
All roads	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012).

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.14

図表 77 は 2007 年と 2012 年における農村部における主要な交通手段を表している。総じて、オートバイ、三輪車、四輪車、バスが 3 州において近隣の都市部へ出る際の最も一般的な交通手段となっていた。地域別に見ると、カイバル・パクトゥンクワ州では四輪車が最も一般的であるのに対し、貧困層の多いパンジャブ州ではオートバイ、三輪車、バスがよく利用されていた⁷⁵。

⁷⁴ IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.14

⁷⁵ IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.14

図表 77 農村部における主要な交通手段（2007年・2012年 単位:%）

Table 3.3: Common Mode of Transport Within and Outside the Village (percent of villages)

	Mode of transport to go to nearest city in 2007				Mode of transport to go to nearest city in 2012			
	Punjab	Sindh	KPK	Overall	Punjab	Sindh	KPK	Overall
Foot	6.3	20.0	0.0	9.2	6.3	15.0	12.5	9.2
Bullock Cart	4.2	15.0	0.0	6.6				
Bicycle Three Wheeler	18.8	5.0	0.0	13.2	2.1	0.0	0.0	1.3
Wheeler Four Wheeler	25.0	10.0	12.5	19.7	29.2	15.0	12.5	23.7
Bus	16.7	25.0	87.5	26.3	14.6	20.0	75.0	22.4
Motor Cycle	18.8	15.0	0.0	15.8	16.7	20.0	0.0	15.8
All modes	10.4	10.0	0.0	9.2	31.3	30.0	0.0	27.6
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012).

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.15

図表 78 は、農村部から最も近い保健施設までの距離を表している。3州全体では平均して 7km から 14km はなれたところに施設が存在する。特に 3州の中でもカイバル・パクトゥンクワ州では他の 2州に比べて保健関連施設への距離が遠く、病院は 16.6km、助産婦は 14.3km、保健所は 13.3km はなれた場所に位置していた。

図表 78 農村外の最も近い保健施設までの距離（単位: km）

Table 3.4: Average Distance (in kilometer) to Health Facilities Outside Village by Province

	Punjab		Sindh		KPK		Overall	
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD
Basic Health Unit	7.0	5.7	7.8	5.3	8.4	7.4	7.4	5.7
Rural Health Center	9.5	6.6	11.6	7.3	12.3	13.0	10.3	7.7
Clinic/Dispensary	6.5	4.7	7.1	4.6	9.2	9.0	6.9	5.1
Midwife service (private)	5.9	4.7	9.2	8.9	14.3	7.1	8.1	7.2
Hospital	13.3	12.2	14.6	8.7	16.6	7.1	13.9	10.9
Lady health visitor/supervisor	6.5	4.2	8.2	6.2	4.5	2.1	7.1	5.0
Hakeem/quack doctor	4.7	3.1	9.6	11.0	11.0	8.4	7.5	8.2

Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012).

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.16

次に図表 79 は農村外の最も近い金融施設までの距離を表している。3州全体では、金貸しや地主等は比較的近く（平均で 10km 程度）に位置していた。しかし、ZTBL (Zarai Taraqiati Bank Ltd) などの正規機関や、商業銀行、協同組合、NGOs 等は 15km 以上はなれたところに位置していた。

図表 79 農村外の最も近い金融施設までの距離 (単位: km)

Table 3.5: Average Distance (in kilometer) to Credit Facilities Outside Village by Province

	Punjab		Sindh		KPK		Overall	
	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD	Mean	SD
ZTBL	18.6	9.5	16.5	7.7	19.6	10.6	18.2	9.1
Commercial bank	15.0	11.9	15.3	7.4	11.1	8.4	14.7	10.5
Cooperatives (registered)	17.3	12.6	16.1	7.9	27.4	22.3	18.3	13.4
NGO	25.2	19.6	15.3	7.4	26.9	21.2	22.4	17.5
Input Suppliers	14.3	12.7	12.8	8.8	9.4	7.9	13.4	11.4
Large landlord	14.8	12.1	9.9	5.7	25.4	25.4	15.7	14.8
Money Lender	11.7	8.5	10.5	5.6	25.1	22.6	12.9	11.1
Shopkeeper	9.9	10.8	11.2	6.7	11.3	9.0	10.5	9.0
Factory/Mill	18.5	13.6	13.9	8.0	31.1	26.4	18.9	15.4
Commission Agent /Beopari	12.0	8.1	12.7	8.9	15.3	9.3	12.6	8.4

Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012).

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.17

(3) 農業と産業育成

前述の通り、パキスタンでは、農業での平均所得が相対的に低いことが示されている (図表 80)。その要因のひとつには、総労働人口に占める農業従事者の割合が 40%を占めるにもかかわらず、農業の GDP が 20%程度にとどまるという農業の低生産性が挙げられる。

図表 80 主要産業別平均賃金 (2009/10, 2010/11 年) (単位: PKR/月) (再掲)

Table-30
AVERAGE MONTHLY WAGES OF EMPLOYEES BY MAJOR INDUSTRY DIVISIONS

Major Industry Divisions	2009-10			2010-11		
	Total	Male	Female	Total	Male	Female
Total	8623	9017	5821	9715	10211	6422
Agriculture, forestry, hunting and fishing	4968	5730	3358	5649	6673	3577
Mining & quarrying	6976	6963	9600	12000	12000	-
Manufacturing	7534	8080	3437	8472	9085	3600
Electricity, gas and water	14548	14398	25325	17235	17242	16896
Construction	7389	7397	6207	8272	8270	8869
Wholesale & retail trade and restaurants & hotels	6609	6660	4013	6862	6864	6684
Transport, storage and communication	9396	9328	13685	10378	10356	13838
Financing, insurance, real estate and business services	18174	17897	31240	20695	20705	20269
Community, social and personal services	10984	11771	7761	13120	14450	8912

(出所) Statistics Division, Government of Pakistan (2011) Labour Force Survey 2010-11, p. 37

パキスタンにおいては、推計によると、1960年代には 30%以下だったGDPに占めるイン

フォーマル⁷⁶経済の割合が、1990年代には33%にまで発展し、2000年代には平均して23%程度の規模となっていることが示されている⁷⁷。これらのインフォーマル経済が貧困層の雇用を吸収していると考えられている。

貧困者層が多く従事する農業や小売業、インフォーマルセクターではそれほど高い教育水準が要求されない。図表 81 では、家庭内就業者の教育レベルと貧困の関係を表しているが、最貧困層の83.4%及び貧困層の73.5%は、読み書きができない。教育レベルが低いことによって、スキルが低く、雇用も生産レベルに留まるため、結果的に農業やインフォーマルセクターなど低賃金や低収入を招いていることが考えられる⁷⁸。

⁷⁶ ここではインフォーマル経済はパキスタンで行われる「測定できず税金の対象とならない経済活動」と定義される。それゆえ、インフォーマル経済は正規の国の所得や生産に関する統計には反映されていない (State Bank of Pakistan (2010) : p.1)。

⁷⁷ State Bank of Pakistan (2010) "The Size of Informal Economy in Pakistan", p.12.
<http://www.sbp.org.pk/publications/wpapers/2010/wp33.pdf> (2012/11/18 アクセス)

⁷⁸ UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan, pp. 57-59

図表 81 家庭内就業者の教育レベルと貧困の関係（2001年）（単位：％）

Average of Sample	Extremely Poor	Poor	Non-Poor	Total
All Pakistan				
Education Level of Major Earner	(%)	(%)	(%)	(%)
No education	83.4	73.5	50.3	73.6
Primary	7.6	13.9	14.6	11.6
Middle	3.6	4.2	10.7	5.0
Matric	3.1	5.0	11.0	5.2
Higher education	2.3	3.5	13.4	4.6
Education Level of Second Earner				
No education	84.0	78.5	51.4	70.9
Primary	10.6	11.4	15.7	12.6
Middle	2.1	4.5	9.5	5.7
Matric	1.1	3.5	11.4	5.6
Higher education	2.1	2.1	11.9	5.1
Pakistan (Urban)				
Education Level of Major Earner				
No education	83.2	82.8	68.1	81.2
Primary	7.0	8.1	16.7	8.6
Middle	3.7	5.4	5.6	4.7
Matric	2.0	1.7	2.8	2.0
Higher education	4.1	2.0	6.9	3.4
Education Level of Second Earner				
No education	94.7	88.9	71.2	86.0
Primary	2.6	6.5	9.6	6.6
Middle	2.6	3.3	5.8	3.7
Matric	—	1.3	5.8	2.1
Higher education	—	—	7.7	1.6
Pakistan (Rural)				
Education Level of Major Earner				
No education	83.4	69.4	45.5	70.5
Primary	7.9	16.4	14.0	12.8
Middle	3.5	3.7	12.1	5.1
Matric	3.5	6.4	13.3	6.5
Higher education	1.6	4.1	15.2	5.1
Education Level of Second Earner				
No education	76.8	71.3	44.9	62.5
Primary	16.1	14.8	17.7	16.0
Middle	1.8	5.4	10.8	6.9
Matric	1.8	4.9	13.3	7.6
Higher education	3.6	3.6	13.3	7.1

Source: NHDR/PIDE Survey 2001.

(注) 最貧困層：年間総所得（15, 350PKR）が食糧消費条件額（Food consumption requirement, 18, 497PKR）より大幅に低い世帯、貧困層：年間総所得（40, 566 PKR）が食糧消費条件額を十分に満たせるが、総消費条件額（Total consumption requirements, 41, 092 PKR）を満たしていない世帯、非貧困層：両条件を満たしている世帯

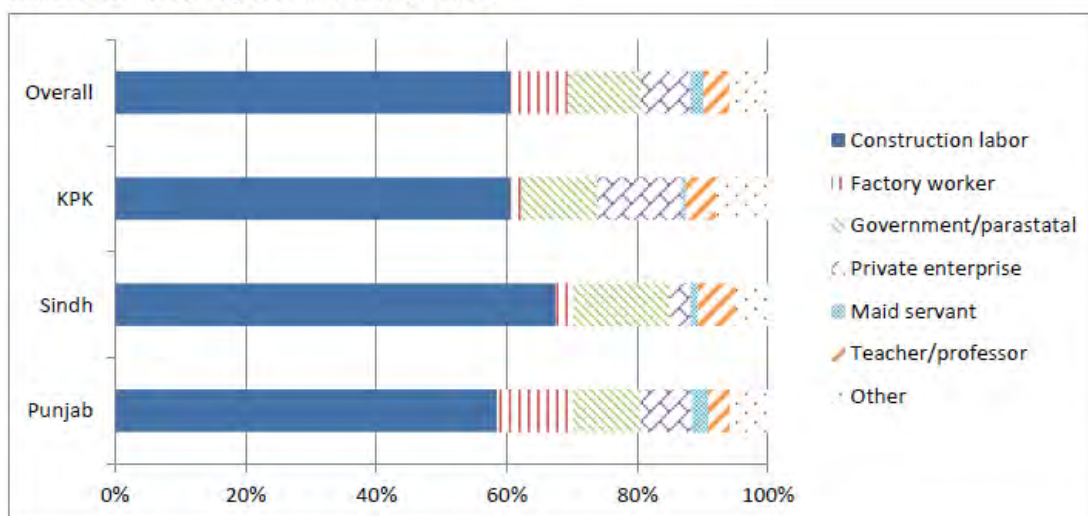
(出所) UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan, p. 58

また前述の通り、農村部では主要産業の農業以外の産業と雇用機会に乏しく、農業以外の雇用吸収率の高い製造業の育成が急務となっている。そのため、MTDFのPart IVにおいても、農業開発のみならず、産業開発、中小企業育成などが重点課題として挙げられている。

図表 82 は農村部における非農業賃金労働の内訳を表している。3州を平均して最も割合の大きい職業は建設労働従事者（61%）、次いで公務員（11%）、工場労働者（9%）、民間セクター従事者（7%）、教師その他専門職（4%）となっている。このことから、農村部では農業以外の収入として日雇いの建設業に携わる農民が多いことが分かる。地域別に見ると、シンド州では建築労働者の割合が67%とパンジャブ州の58%、カイバル・パクトウンクワ州の60%に比べて高かった。また、シンド州での民間セクター従事者はわずか2%でありパンジャブ州の8%、カイバル・パクトウンクワ州の13%と比較して大きく下回っていた。パンジャブ州は他の2州と比べて、工場労働者の割合が大きい。なお、RHPS-2012によると、調査対象となった農村部の18歳から60歳の労働人口のうち1,642人が非農業従事者であり内男性が96%、女性が4%となっている⁷⁹。

図表 82 農村部における非農業賃金労働の内訳

Figure 3.7: Non-Agricultural Wage Work



Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012)

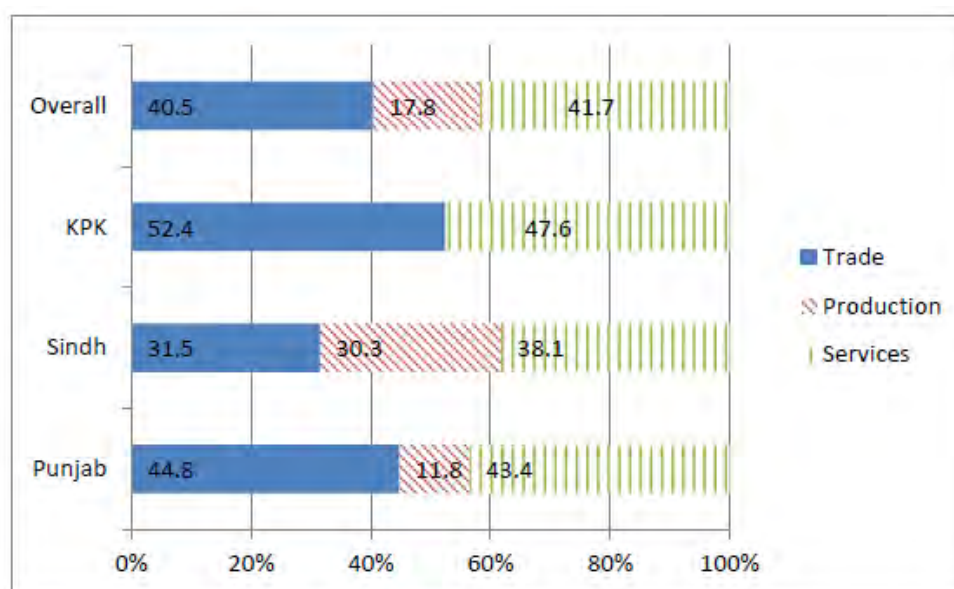
(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics' p.19

また、図表 83 農村部における農業以外の経済活動の割合（単位：%）において、3州の農業従事世帯の34%が何らかの非農業活動に携わり、世帯所得を補填していることが示されている。地域別に見ると、シンド州では非農業従事世帯の54%、パンジャブ州では29%、

⁷⁹ IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Household Characteristics' p.19

カイバル・パクトゥンクワ州では 19%の世帯で農業以外の経済活動を行っていた。それらの活動は、商業（商店・レストラン等）、製造業、サービス（保健、教育、交通サービス等）の 3 種類に大きく分けられる。3 州全体で見ると、サービス業が 41.7%と最も高く次いで商業が 40.5%、製造業が 17.8%となっている。地域別に見てみると、カイバル・パクトゥンクワ州では商業とサービス業で占められておりそれぞれ 52.4%、サービス業は 47.6%であった。特にカイバル・パクトゥンクワ州では仕立屋や靴（修理）屋など様々なサービスが存在していた。また、パンジャブ州も商業が最も盛んで 44.8%、次いでサービス業が 43.4%、製造業が 11.8%であった。一方で、シンド州ではこの 3 事業の割合がよくサービス業が 38.1%、商業が 31.5%、製造業が 30.3%であった。シンド州では多くの世帯が手工芸生産に従事していた⁸⁰。

図表 83 農村部における農業以外の経済活動の割合（単位：%）



Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012)

（出所）IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.21

また、図表 84 は、過去 5 年間の農業以外の経済活動の環境の変化を表している。調査対象者に対して、農業以外の経済活動の環境について聞き取りを行った結果をまとめている。これによると、3 州全体では、約 50%が環境は「良くなっている」と回答した。次いで「変わらない」が 21.9%、「悪くなっている」が 29.7%であった。州別で見ると、カイバル・パクトゥンクワ州は 85.7%が環境が「良くなっている」と回答し、これは他の 2 州（パンジャブ州 44.4%、シンド州 41.7%）と高かった。

⁸⁰ IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.20

図表 84 農村部における過去 5 年間の農業以外の経済活動環境の変化

Table 3.8: Change in Nonfarm Business Environment During Last Five Years (percent of respondents)

	Punjab	Sindh	KPK	Overall
Better/more/higher	44.4	41.7	85.7	48.4
Same	22.2	33.3	0.0	21.9
Worse/less/lower	33.3	25.0	14.3	29.7
Total	100.0	100.0	100.0	100.0

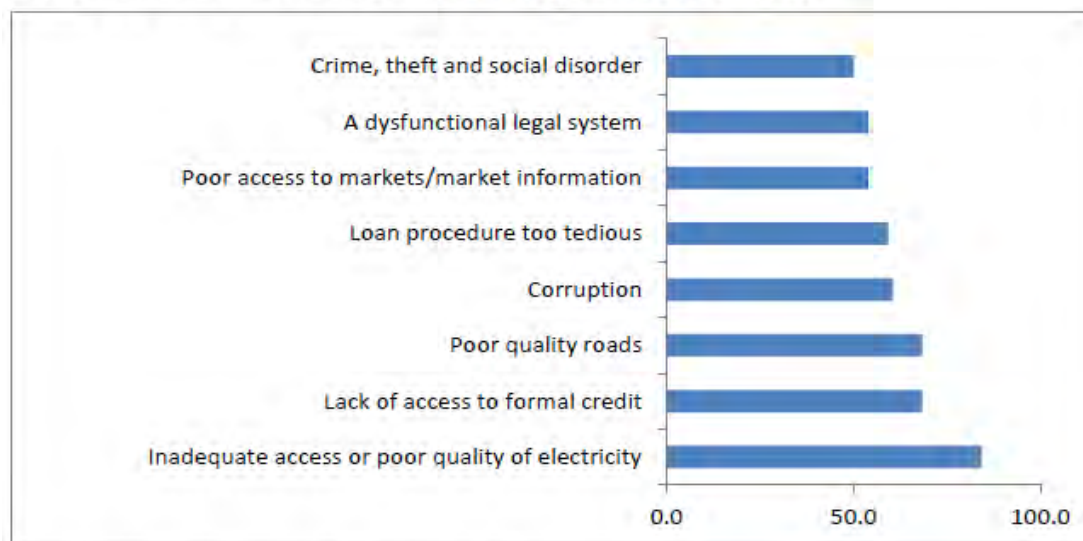
Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012).

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.18

現在、多くの農村において経済活動を開始するにあたっての問題点について、80%近くが「電力への十分なアクセスがないこと」を問題として挙げた。その他、「正規信用 (formal credit) へのアクセス不足」、「道路の不整備」、「汚職」、「煩雑なローン手続き」、「市場及び市場システムの不足」、「法制度の不備」、「犯罪」等が問題として挙げられている⁸¹。

図表 85 農村部でのビジネス展開を行う上での主な課題

Figure 3.3: Major Business Constraints (percent of villages)



Source: Authors' calculation based on IFPRI/IDS (2012).

(出所) IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.19

農村部でのレベルでもビジネスをサポートする様々なサービスも存在する。例えば 50 以上の農村で保険、法、市場に関するサービスが実施されている。その他情報技術、マネジ

⁸¹ IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.19

メント・コンサルティング、会計、エンジニアリング等のサービスも存在する。しかし、このようなサービスは 1 時間以上の移動を要する場所に位置しているため、農村の人々がアクセスするのは簡単ではない。また、多くの農村部のビジネスは小規模であるためこのようなサービスが必要ないのも実情である⁸²。

2. 国境地域などの安定・バランスの取れた発展

(1) テロ・紛争リスク

パキスタン政府軍と武力勢力との戦闘激化に伴う治安の悪化も、パキスタンにおける持続的な開発に大きな影響を与えている。例えば、外国直接投資の減少及びFATAやNWFP⁸³（North-West Frontier Province: 北西辺境州）などの被災地における失業率増加等である。政府は、国際テロリズム運動の撲滅のため、莫大な支出を割り当てている他、洪水の被災地への支援や再定住への支出もかさみ、開発への投資を削減せざるを得ない状況である。洪水被災地で、戦争やテロの被害を受ける前に開始されていたいくつかの開発プロジェクトも遅延に追い込まれ、財政支出を圧迫する要因となっている。

図表 86 は、パキスタンにおける戦争とテロによる支出の推移を表している。直接的な費用は年々増加し、2008/09 年には、2004/05 年比で 2 倍近い約 1,140 億 PKR、間接費用は約 3 倍の 5,630 億 PKR にも上っている。

図表 86 パキスタンにおける戦争とテロによる支出の推移（2004/05-2008/09 年）（単位：十億 PKR）

	2004/05	2005/06	2006/07	2007/08	2008/09
Direct Cost	67.103	78.060	82.499	108.527	114.033
Indirect Cost*	192.000	222.720	278.400	375.840	563.760
Total	259.103	300.780	360.899	484.367	677.793

* On account of loss of exports, foreign investment, privatization, industrial output, tax collection, etc.
Source: Finance Division, Government of Pakistan, September, 2008.

（出所）IMF (2010) Pakistan: Poverty Reduction Strategy Paper, p. 3

図表 87 は、パキスタンにおけるIDPsの概要を表している。2011 年現在、少なくとも 90 万人のIDPsが存在すると推定されている。政府の統計によれば、IDPsの多くは若年層で、約 60%は子ども、男女の割合はほぼ半数ずつとされる。V.1(3)でも述べた通り、IDPs世帯は経済的に脆弱で、2011 年時点で約 7 割が貧困線以下の生活をしている。食糧や現金支給等の支援は登録された男性世帯主を通して行われるため、女性の世帯主の家計が疎外され

⁸² IFPRI (2012) 'Pakistan Rural Household Panel Survey 2012 (Round1): Methodology and Community Characteristics' p.20

⁸³ 2010 年に州名変更。現在のカイバル・パクトゥンクワ州にあたる。
<http://www.khyberpakhtunkhwa.gov.pk/> (2012/11/08 アクセス)

る傾向にある。また、第二夫人の世帯なども 1 人の男性に付随すると考えられ、支援やサービスへのアクセスが十分でない。政府は国際機関の支援を受け、食糧や日用品の配給を行ってきたが、2007 年以降、人道支援へのアクセスが困難となり、被災地支援、特に農村部の貧困層への支援は、アクセスが非常に制限されている⁸⁴。

図表 87 パキスタンの IDPs の概要

Quick facts	
Number of IDPs	At least 900,000
Percentage of total population	At least 0.5%
Start of current displacement situation	2006
Peak number of IDPs (Year)	3,000,000 (2009)
New displacement	About 190,000
Causes of displacement	Armed conflict, deliberate policy or practice of arbitrary displacement, generalised violence, human rights violations
Human development index	145

(出所) UNHCR (2011) Internal Displacement in South and South-East Asia, Pakistan, p. 90

⁸⁴ UNHCR (2011) Internal Displacement in South and South-East Asia, Pakistan, p. 90
[http://www.internal-displacement.org/8025708F004BE3B1/\(httpInfoFiles\)/0E27234251BE6E48C12579E400369AA9/\\$file/global-overview-asia-2011.pdf](http://www.internal-displacement.org/8025708F004BE3B1/(httpInfoFiles)/0E27234251BE6E48C12579E400369AA9/$file/global-overview-asia-2011.pdf) (2012/10/22 アクセス)

添付 1. 参考文献リスト

- ADB (2005) GIS of poverty mapping analysis for Pakistan, Poverty Incidence by Districts,
http://milute.mcgill.ca/Research/Senior/GIS_PIDE.pdf (2012/10/16 アクセス)
- ADB (2006) Pakistan Poverty Assessment Update, Background Paper 1: Poverty, Economic Growth, and Inequality: A Review of Pakistan's Poverty Literature,
<http://www2.adb.org/Documents/Reports/Consultant/37717-PAK/37717-PAK-TACR-BG1.pdf> (2012/10/16 アクセス)
- ADB and World Bank (2010) "Pakistan Floods 2010 Preliminary Damage and Needs Assessment"
<http://web.worldbank.org/WBSITE/EXTERNAL/COUNTRIES/SOUTHASIAEXT/EXTSAREGTOPPRISECDEV/0,,contentMDK:22797764~menuPK:496677~pagePK:2865114~piPK:2865167~theSitePK:496671,00.html> (2012/11/18 アクセス)
- CIA (2012) The World Factbook: Pakistan,
<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/geos/pk.html> (2012/10/16 アクセス)
- CRPSDP (2010) Pakistan Millennium Development Goals Report 2010,
<http://www.undp.org.pk/images/publications/mdgr2010.pdf> (2012/10/10 アクセス)
- FAO Country Profile: Food Security Indicators: Pakistan,
http://www.fao.org/fileadmin/templates/ess/documents/food_security_statistics/country_profiles/eng/Pakistan_E.pdf (2012/10/16 アクセス)
- Finance Division, Government of Pakistan (2011) 'PRSP-II Period Progress Report FY 2008/2009-FY2010/2011'
http://www.prsm.gov.pk/Documents/PRSP_II_ProgressReport_2008_09_2010_11.pdf
(2013/01/10 アクセス)
- GDNet Website
http://cloud2.gdnet.org/cms.php?id=organization_details&organization_id=4365
(2012/10/30 アクセス)

- Government of Pakistan (2012) National Sustainable Development Strategy Pakistan's Pathway to a Sustainable & Resilient Future Draft, Food Availability per capita
<http://202.83.164.25/wps/wcm/connect/5a092c004bc47dd2968cfe707facb1d0/NSDS-Final-2012-Done+for+printing+and+converted+to+PDF+15+June+2012.pdf?MOD=AJPERES&CACHEID=5a092c004bc47dd2968cfe707facb1d0&CACHEID=5a092c004bc47dd2968cfe707facb1d0> (2012/10/16 アクセス)
- Government of Pakistan (2007) Pakistan in the 21st Century
<http://www.pc.gov.pk/chapterwise.html> (2012/10/18 アクセス)
- IDMC (2011) Pakistan Displacement caused by conflict and natural disasters, achievements and challenges,
[http://www.internal-displacement.org/8025708F004BE3B1/\(httpInfoFiles\)/969C18AC44833F43C1257981002D7310/\\$file/pakistan-overview-jan2012.pdf](http://www.internal-displacement.org/8025708F004BE3B1/(httpInfoFiles)/969C18AC44833F43C1257981002D7310/$file/pakistan-overview-jan2012.pdf) (2012/10/24 アクセス)
- IMF (2010) Pakistan: Poverty Reduction Strategy Paper,
<http://www.imf.org/external/pubs/ft/scr/2010/cr10183.pdf> (2012/10/15 アクセス)
- IMF (2010) Pakistan: Poverty Reduction Strategy Paper – Joint Staff Advisory Note,
<http://www.imf.org/external/pubs/ft/scr/2010/cr10182.pdf> (2012/10/29 アクセス)
- Jamal, H. and Khan, A. J. (2007) Trends in Regional Human Development Indices, Research Report No. 73
<http://www.spdc.org.pk/Publications/Research%20Reports/RR-73.pdf> (2012/10/16 アクセス)
- JBIC (2007) 「貧困プロフィール—パキスタン・イスラム共和国」
http://www.jica.go.jp/activities/issues/poverty/profile/pdf/pakistan_fr.pdf (2012/10/16 アクセス)
- JICA 研究所 (2012) 国別主要指標パキスタン
<https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html> (2012/10/04 アクセス)

- Ministry of Finance, Government of Pakistan (2003) Accelerating Economic Growth and Reducing Poverty: The Road Ahead (Poverty Reduction Strategy Paper)
http://siteresources.worldbank.org/INTPRS1/Resources/Country-Papers-and-JSAs/15020_Pakistan_PRSP.pdf (2010/10/16 アクセス)
- Ministry of Finance, Government of Pakistan (2007) Poverty Reduction Strategy Paper (PRSP) – II <http://www.finance.gov.pk/poverty/PRSP-II.pdf> (2012/10/16 アクセス)
- Ministry of Finance, Government of Pakistan (2011) PRSP – II Period Progress Report FY 2008/09 – 2010/11
http://www.prsm.gov.pk/Documents/PRSP_II_ProgressReport_2008_09_2010_11.pdf
 (2012/10/29 アクセス)
- Ministry of Finance, Government of Pakistan (2010) Pakistan Economic Survey 2009-10, 9 Poverty, http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_10/09_Poverty.pdf
 (2012/10/30 アクセス)
- Ministry of Finance, Government of Pakistan (2011) Pakistan Economic Survey 2010-11, 13 Poverty, http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_11/13-Poverty.pdf
 (2012/10/30 アクセス)
- Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, Special Section Pakistan: Flood Impact Assessment,
http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_12/SplSection.pdf (2012/10/30 アクセス)
- Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, 1 Growth and Stabilization,
http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_12/01-GrowthAndStabilization.pdf
 (2012/10/30 アクセス)
- Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, 12 Population Labour Force and Employment,
http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_12/12-PopulationLabourForceAndEmployment.pdf (2012/10/30 アクセス)

- Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, 13 Transport and Communication,
http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_12/13-TransportAndCommunications.pdf
(2012/10/30 アクセス)
- Ministry of Finance, Government of Pakistan (2012) Pakistan Economic Survey 2011-12, 15 Social Safety Nets,
http://www.finance.gov.pk/survey/chapter_12/15-SocialSafetyNets.pdf (2012/10/30 アクセス)
- Ministry of Finance Website, http://www.finance.gov.pk/poverty_main.html (2012/10/24 アクセス)
- PIDE (2004) 'Landless and rural poverty in Pakistan'
http://www.pide.org.pk/pdf/psde20AGM/Landlessness_%20and_%20Rural_%20Poverty%20in%20Pakistan.pdf (2013/01/11 アクセス)
- Planning Commission, Government of Pakistan (2005) Medium Term Development Framework 2005-10, The MTDf 2005-10: An Overview
<http://www.pc.gov.pk/mtdf/Foreword,%20Preface%20and%20President%20Message/Overview.pdf>
- Planning and Development Department, Government of Pakistan (2005) M. T. D. F., Poverty Reduction,
<http://www.pndajk.gov.pk/Planning%20Documents/MTDF/5-Poverty%20Reduction.pdf> (2012/10/29 アクセス)
- Planning Commission, Government of Pakistan (2006) Approach Paper: Strategic Directions to Achieve Vision 2030,
<http://www.pc.gov.pk/vision2030/approach%20paper/Approach%20Paper.pdf>
(2012/10/30 アクセス)
- Planning Commission, Government of Pakistan (2007) Vision 2030
<http://www.pc.gov.pk/vision2030/Pak21stcentury/vision%202030-Full.pdf> (2012/10/16 アクセス)

- Planning Commission, Government of Pakistan (2008) Mid Term Review of Medium Term Development Framework 2005-2010
<http://www.pc.gov.pk/MTDF%20Review%202007-08/MTR.pdf> (2012/10/16 アクセス)
- Planning and Development Department Website, Poverty Reduction
<http://www.pndajk.gov.pk/Planning%20Documents/MTDF/5-Poverty%20Reduction.pdf> (2012/10/29 アクセス)
- PRSP Secretariat, Finance Division, Government of Pakistan (2011) 'Poverty Reduction Strategy Paper: FY 2011-2012 Mid Year Progress Report'
http://www.prsm.gov.pk/Documents/2QReport_FY%202011_12.pdf (2013/01/10 アクセス)
- SDC Pakistan (2009) Food insecurity in Pakistan, Food insecure Population in Pakistan 2009
http://www.swiss-cooperation.admin.ch/pakistan//ressources/resource_en_195260.pdf
(2012/10/16 アクセス)
- State Bank of Pakistan (2010) "The Size of Informal Economy in Pakistan"
<http://www.sbp.org.pk/publications/wpapers/2010/wp33.pdf> (2012/11/18 アクセス)
- Statistic Division, Government of Pakistan (2011) Household Integrated Economic Survey (HIES) 2010-11
http://www.pbs.gov.pk/sites/default/files/pslm/publications/hies10_11/complete_report.pdf (2012/11/09 アクセス)
- Statistics Division, Government of Pakistan (2011) Labour Force Survey 2010-11,
http://www.pbs.gov.pk/sites/default/files/Labour%20Force/publications/lfs2010_11/results.pdf (2012/11/09 アクセス)
- The University of Texas at Austin (2002) Country maps, Pakistan
http://www.lib.utexas.edu/maps/middle_east_and_asia/pakistan_pol_2002.pdf
(2012/10/18 アクセス)

- UNDP (2003) National Human Development Report 2003, Pakistan,
http://hdr.undp.org/en/reports/nationalreports/asiathepacific/pakistan/pakistan_2003_en.pdf (2012/10/22 アクセス)
- UNDP (2010) Human Development Report 2010 20th Anniversary Edition, The Real Wealth of Nations: Pathways to Human Development, Human Development index trends, 1980-2010 http://hdr.undp.org/en/media/HDR_2010_EN_Complete_reprint.pdf (2012/10/16 アクセス)
- UNDP (2011) Balochistan Millennium Development Goals, Indicators for Poverty and Hunger,
<http://undp.org.pk/images/publications/Balochistan-MDG-Report-2011.pdf> (2012/10/16 アクセス)
- UNDP (2011) Human Development Report 2011, Explanatory note on 2011 HDR composite indices, Pakistan <http://hdrstats.undp.org/images/explanations/PAK.pdf> (2012/10/16 アクセス)
- UNDP (2011) Khyber Pakhtunkhwa Millennium Development Goals, Indicators for Poverty and Hunger,
<http://undp.org.pk/images/publications/UNDP%20Report%202011.pdf> (2012/10/16 アクセス)
- UNDP (2011) Punjab Millennium Development Goals, Indicators for Poverty and Hunger,
<http://undp.org.pk/images/publications/Punjab%20Report.pdf> (2012/10/16 アクセス)
- UNDP ウェブサイト <http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/PAK.html> (2012/10/15 アクセス)
- UNHCR (2011) Internal Displacement in South and South-East Asia, Pakistan
[http://www.internal-displacement.org/8025708F004BE3B1/\(httpInfoFiles\)/0E27234251BE6E48C12579E400369AA9/\\$file/global-overview-asia-2011.pdf](http://www.internal-displacement.org/8025708F004BE3B1/(httpInfoFiles)/0E27234251BE6E48C12579E400369AA9/$file/global-overview-asia-2011.pdf) (2012/10/22 アクセス)
- UNOCHA (2011) http://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/pak_ocha_0.pdf (2012/10/15 アクセス)

- UNOCHA (2012) Donor Brief Presentation, 2012 Monsoon Floods
[http://pakresponse.info/LinkClick.aspx?fileticket=rk898BHiFUQ%3d&tabid=41&mid=597#326,4,スライド 4](http://pakresponse.info/LinkClick.aspx?fileticket=rk898BHiFUQ%3d&tabid=41&mid=597#326,4,スライド%204) (2012/11/07 アクセス)
- USAID (2007) Energy Sector Assessment for USAID/Pakistan,
<http://www1.usaid.gov/pk/downloads/eg/PEDP.pdf> (2012/11/07 アクセス)
- USAID (2011) <http://www.bisp.gov.pk/ShowRecord.aspx> (2013/01/10 アクセス)
- World Bank (2011) Pakistan Economic Update,
http://www-wds.worldbank.org/external/default/WDSContentServer/WDSP/IB/2012/08/14/000333037_20120814000342/Rendered/PDF/718430WP00PUBL0nomicupdateJune2011.pdf (2012/11/07 アクセス)
- World Bank (2005) Transport Notes, Rural Access and Mobility in Pakistan: A Policy Note,
[http://www4.worldbank.org/afr/ssatp/Resources/HTML/Gender-RG/Source % 20 % 20documents/Issue % 20and % 20Strategy % 20Papers/G&T % 20Rationale/ISGT15 % 20%20Rural%20Access%20and%20MobilityPakistanWB%2005.pdf](http://www4.worldbank.org/afr/ssatp/Resources/HTML/Gender-RG/Source%20%20documents/Issue%20and%20Strategy%20Papers/G&T%20Rationale/ISGT15%20%20Rural%20Access%20and%20MobilityPakistanWB%2005.pdf) (2012/10/30 アクセス)
- World Bank Website (a)
<http://data.worldbank.org/indicator/NY.GNP.PCAP.CD/countries/PK-8S-XN?display=graph> (2012/10/16 アクセス)
- World Bank Website (b) <http://data.worldbank.org/indicator/EG.ELC.ACCS.ZS>
(2012/11/07 アクセス)
- WHO and Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health (2011) "Pakistan Floods 2010 Impact Assessment"
<http://floods2010.pakresponse.info/LinkClick.aspx?fileticket=JoeGLfkJvcg%3d&tabid=86&mid=548> (2012/11/17 アクセス)

添付 2. 主要な情報源リスト

- ・ JICA 研究所 <https://libportal.jica.go.jp/fmi/xsl/library/public/data/shihyo-p.html>
- ・ IDE/JETRO
<http://www.ide.go.jp/Japanese/Research/Region/Asia/Pakistan/index.html>

パキスタン国官庁

- ・ パキスタン政府 <http://pakistan.gov.pk/>
- ・ 財務省 <http://www.finance.gov.pk/>
- ・ 中央銀行 <http://www.sbp.org.pk/>
- ・ 中央統計局 <http://www.pbs.gov.pk/>
- ・ 国家開発計画省 <http://www.planningcommission.gov.pk/>

国際機関

- ・ 国連開発グループ 国別チーム パキスタン
<http://www.undg.org/unct.cfm?module=CoordinationProfile&page=Country&CountryID=PK>
- ・ 世界銀行 (WB) パキスタン国 <http://www.worldbank.org/en/country/pakistan>
- ・ 国連開発計画 (UNDP) パキスタン国 <http://undp.org.pk/>
- ・ アジア開発銀行 (ADB) パキスタン国
<http://beta.adb.org/countries/pakistan/main>
- ・ 国際移住機構 (IOM) パキスタン国
<http://www.iom.int/cms/en/sites/iom/home/where-we-work/asia-and-the-pacific/pakistan.html>
- ・ 国際連合食糧農業機関 (FAO) Country Profile: Food Security Indicators: Pakistan
http://www.fao.org/fileadmin/templates/ess/documents/food_security_statistics/country_profiles/eng/Pakistan_E.pdf
- ・ 国際連合人道問題調整事務所 (OCHA)
<http://www.unocha.org/pakistan/>

貧困データ

- ・ 世界銀行データ <http://data.worldbank.org/country/pakistan>
- ・ 国連公式 MDG データ パキスタン国 <http://undp.org.pk/mdgs-in-pakistan.html>
 - ・ UNDP 人間開発指標 パキスタン国
<http://hdrstats.undp.org/en/countries/profiles/pak.html>